第２層出土土器

《口縁部資料》

深鉢(第 147 図～第 152 図 5)

ａ、第 147 図 1～4：頚部が「く」字状にくびれる器形と思われる。突起部の破片である。

ｂ、第 147 図 5～13、第 148 図 1：口縁部・胴部が直線的に外傾する器形である。第 147 図 5、第 148 図 1 は口縁端部が削がれたように三角を呈し、口縁部は無文、胴部に蕨手文が施文されている。第 148 図 1 ではさらに破線文が加わる。6～13 は口縁端部が肥厚して内面に段、外面に沈線が巡る。7～10・12 は突起がつく。口縁部から胴部にかけて文様がみられ、6・10・12 は多条沈線文様で、10 では刻目の入った下垂する隆線を中心にして文様が描かれている。11 は横位に展開する文様で、他は不明である。

ｃ、第 148 図 2～第 152 図 5：口縁部・胴部がわずかな脹みをもって立ち上がる器形である。低い山形突起をもつものが多い。

第 148 図 2～第 150 図 10 は胴部に文様をもち、口縁部にも突起下部に限って盲孔・下垂・弧状沈線のみられるものもある。胴部文様は第 148 図 3～6 が幅広い単位の文様がみられ、他は幅の狭い縦長の単位で、第 148 図 2 は単に下垂する破線文、第 148 図 7～10、第 149 図、第 150 図 1～5 は平行線の上部が肥大した蕨手文、「U」字文、楕円文、蕨手文類似の文様であり、第 149 図 2 では蕨手文類似の文様と破線文とが交互に繰り返されて、合計 8 単位が描かれている。さらに第 150 図 5～10 は多条沈線文様である。

第 150 図 11～第 152 図 4 は口縁部・胴部が地文あるいは無文で、第 150 図 11～18 では隆線、沈線によって頚部が画されている。第 152 図 1 の突起部にはボタン状隆線が、同図 5 には窓がついている。

鉢(第 152 図 6～第 153 図 1)

いずれも頚部が「く」字状を呈する器形である。口縁部は外反・外傾して端部に段のつくものが多いが、第 152 図 6 のように角ばるだけのものもある。第 152 図 8 には大小一対の突起とその対面に小突起がつき、突起下の口縁部に隆線が下垂する。口縁部は無文のものが多く、胴部に入組渦文、渦付三角文などが施文されている。

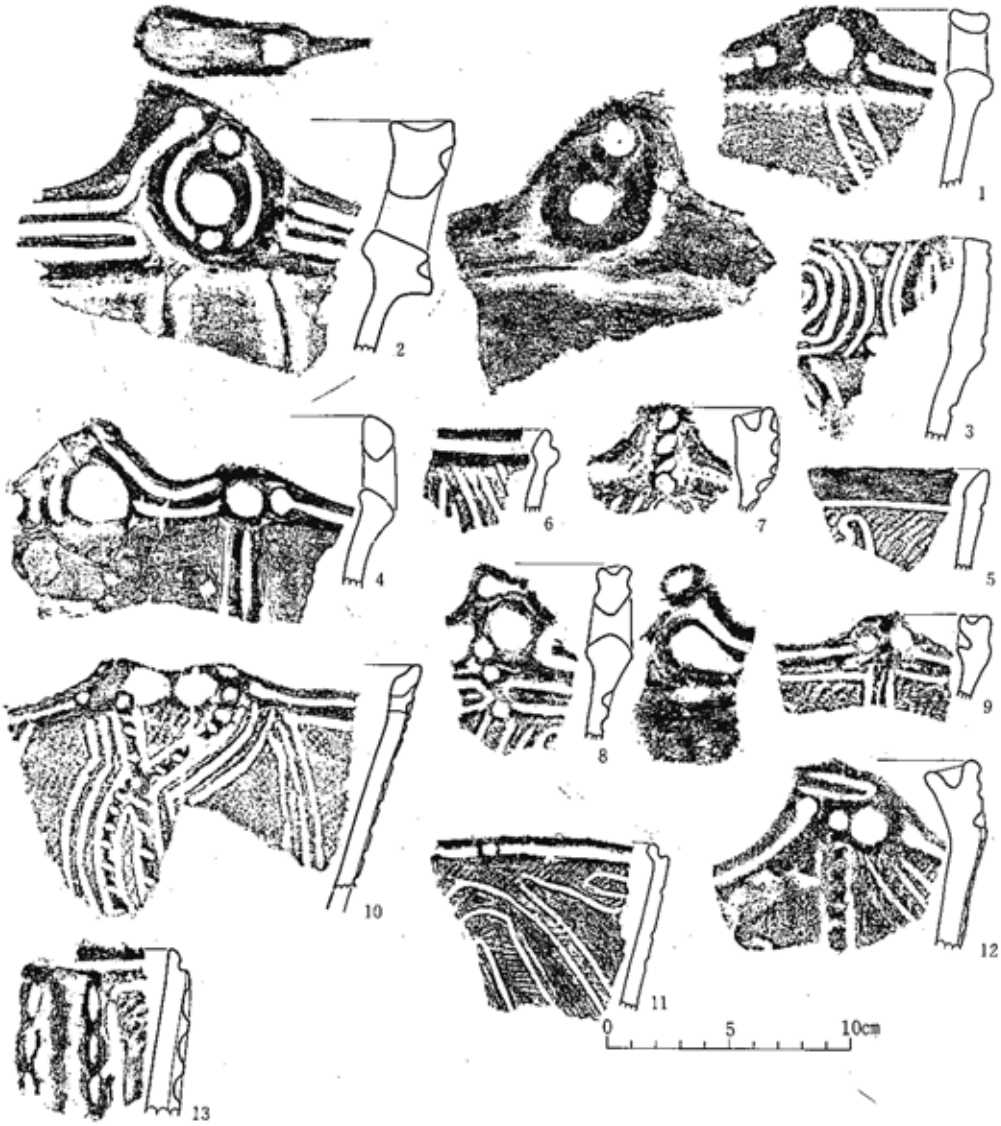
壺(第 153 図 2)

いわゆる無頚の壺と思われるが、小破片のため詳細は不明である。

《胴部資料》

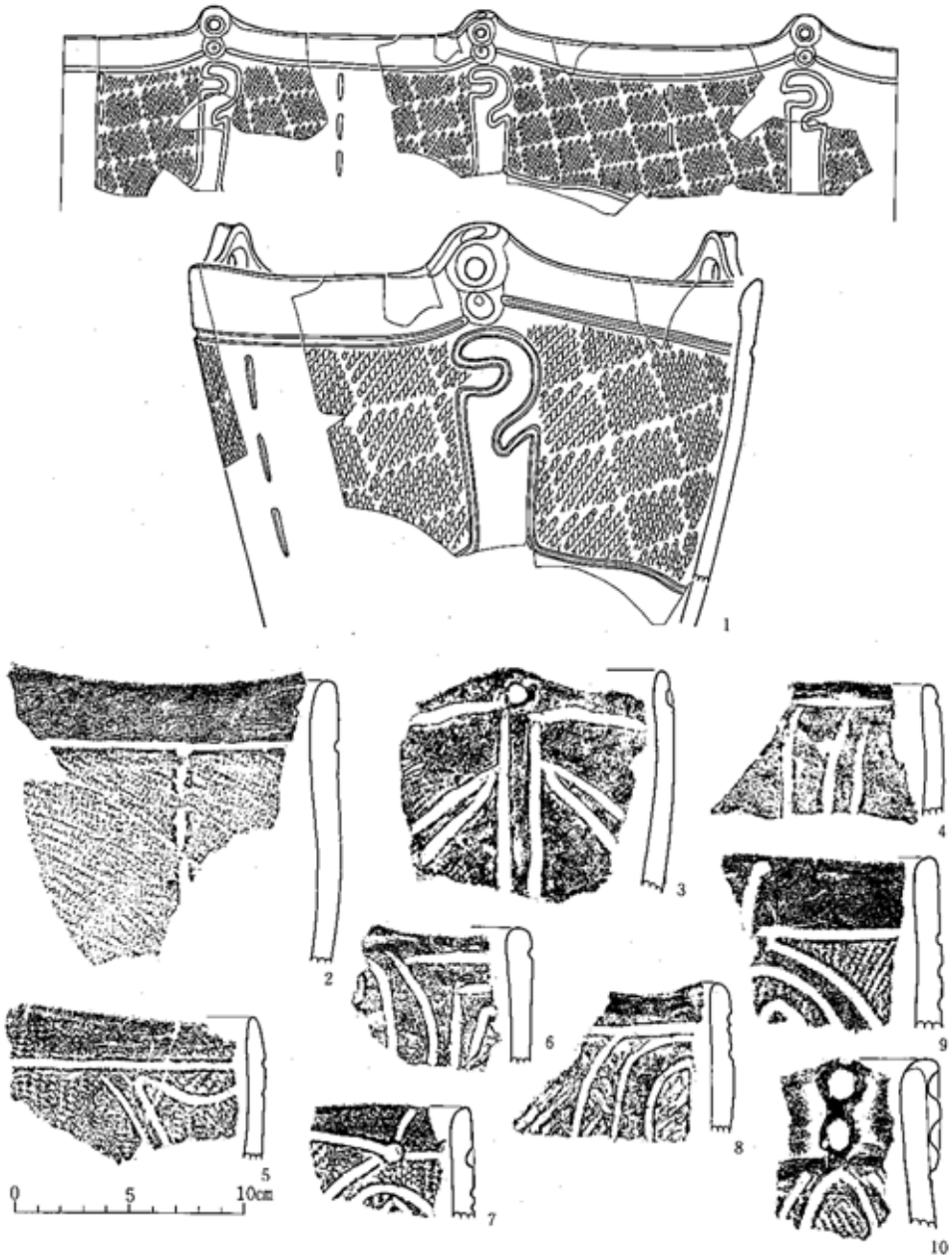
深鉢(第 153 図 3～第 155 図 3)

ａ、第 153 図 3～6：胴部中位がくびれてそれ以上が外反する器形と思われる。多条沈線による下垂線と矩形、渦状の文様などが描かれている。



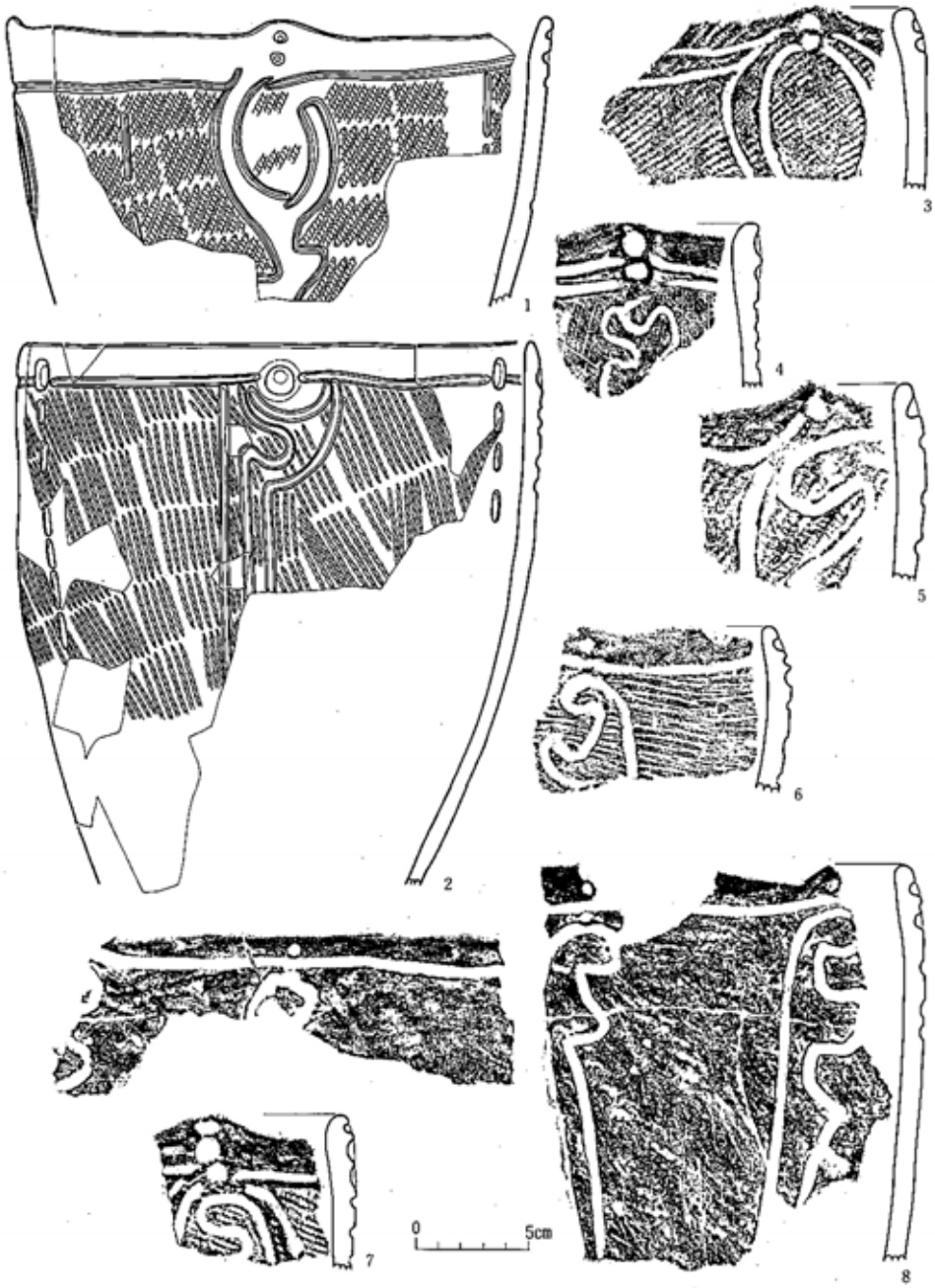
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GL51区，第2層	深鉢 HⅡ	（口縁部）	横位沈線，斜行区画沈線，縄文（ＬＲ）充填	Po. 1415	97－7
2	GL51区，第2層	〃 HⅡ	（口縁部）	横位平行沈線，縦位隆線	Po. 1737	97－11
3	GL56区，第2層	〃 HⅡ	（口縁部）	弧状沈線	Po. 1667	97－12
4	GL51，52区，第2層	〃 HⅡ	（口縁部）	横位沈線，沈線入隆・沈線下垂	Po. 1447	97－13
5	GL56区，第2層	〃 MⅡ	胴部	蕨手文？，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1656	97－10
6	GL55区，第2層	〃 MⅠc	口縁部から胴部	多条沈線文，縄文（ＬＲ）	Po. 1589	97－14
7	GL53区，第2層	〃 MⅠ	（口縁部）	沈線，縄文（ＬＲ）	Po. 1831	97－15
8	GL55，56区，第2層	〃 MⅠ	口縁部から胴部	区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1645	97－19
9	GL，GM53区，第2層	〃 MⅠ	口縁部から胴部	区画沈線，磨消縄文（ＲＬ）	Po. 1835	97－17
10	GL53，54区，第2層	〃 MⅠc_2	口縁部から胴部	下垂・弧状隆線（刻目付），多条沈線蕨状文，縄文（ＬＲ）	Po. 1521 Po. 1526	97－20
11	GL57区，第2下層	〃 MⅠb	口縁部から胴部	指or楕円文，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 1702	97－16
12	GL56区，第2層	〃 MⅠ	口縁部から胴部	刻目付下垂隆線，多条沈線文，縄文（原体不明）	Po. 1664	97－21
13	GL55区，第2層	〃 MⅠ？	口縁部から胴部	連続状隆線，沈線，縄文（ＬＲ）	Po. 1591	97－18

第147図　南側遺物包含層出土土器（ＧＬ区第２層）



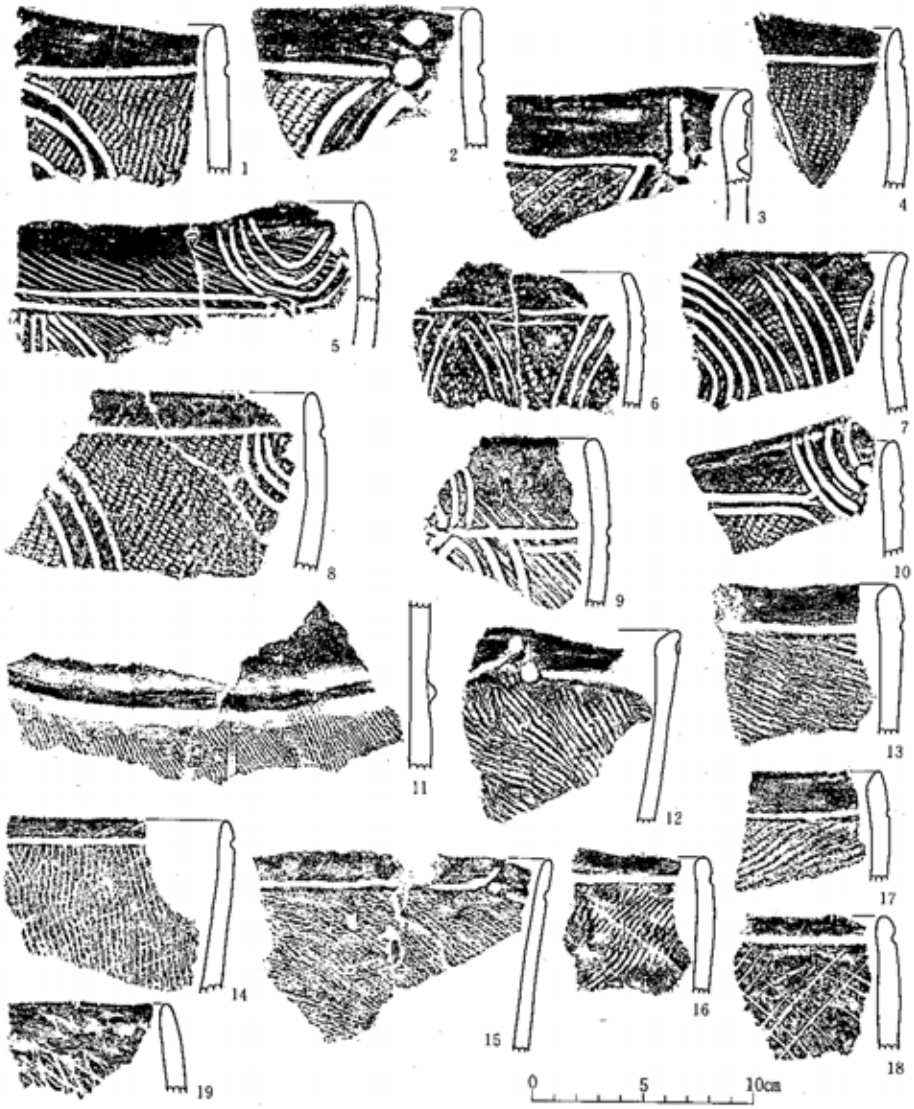
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GL57区，第2層	深鉢 MII	胴部	鎖手文，磨消縄文（ＬＲ）	Pa. 200	97-22
2	GL57区，第2層	〃 OIIb₂	胴部	吸線文，縄文（ＲＬ）	Pa. 1699	97-23
3	GL，GM53区，第2層	〃 OIIIc	胴部	下垂・斜行沈線，縄文（ＬＲ）	Pa. 1834	97-24
4	GL55区，第2層	〃 OIIc	胴部	下垂沈線	Pa. 1582	96-25
5	GL56区，第2層	〃 OIIc	胴部	沈線，縄文（ＬＲ）	Pa. 1662	97-26
6	GL54区，第2層	〃 OIIc	胴部	区画沈線	Pa. 1539	97-27
7	GL，GM52区，第2層	〃 OIIb	口縁部・胴部	口縁部：下垂沈線，胴部：区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Pa. 1828	97-28
8	GL55区，第2層	〃 OIIb	胴部	区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Pa. 1588	97-29
9	GL，GM52区，第2層	〃 OIIb	口縁部・胴部	口縁部：弧状沈線，胴部：区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Pa. 1829	97-30
10	GL51，52区，第2層	〃 OIIb	口縁部・胴部	口縁部：連鎖状隆線，胴部：区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Pa. 1445	97-31

第148図　南側遺物包含層出土土器（ＧＬ区第２層）



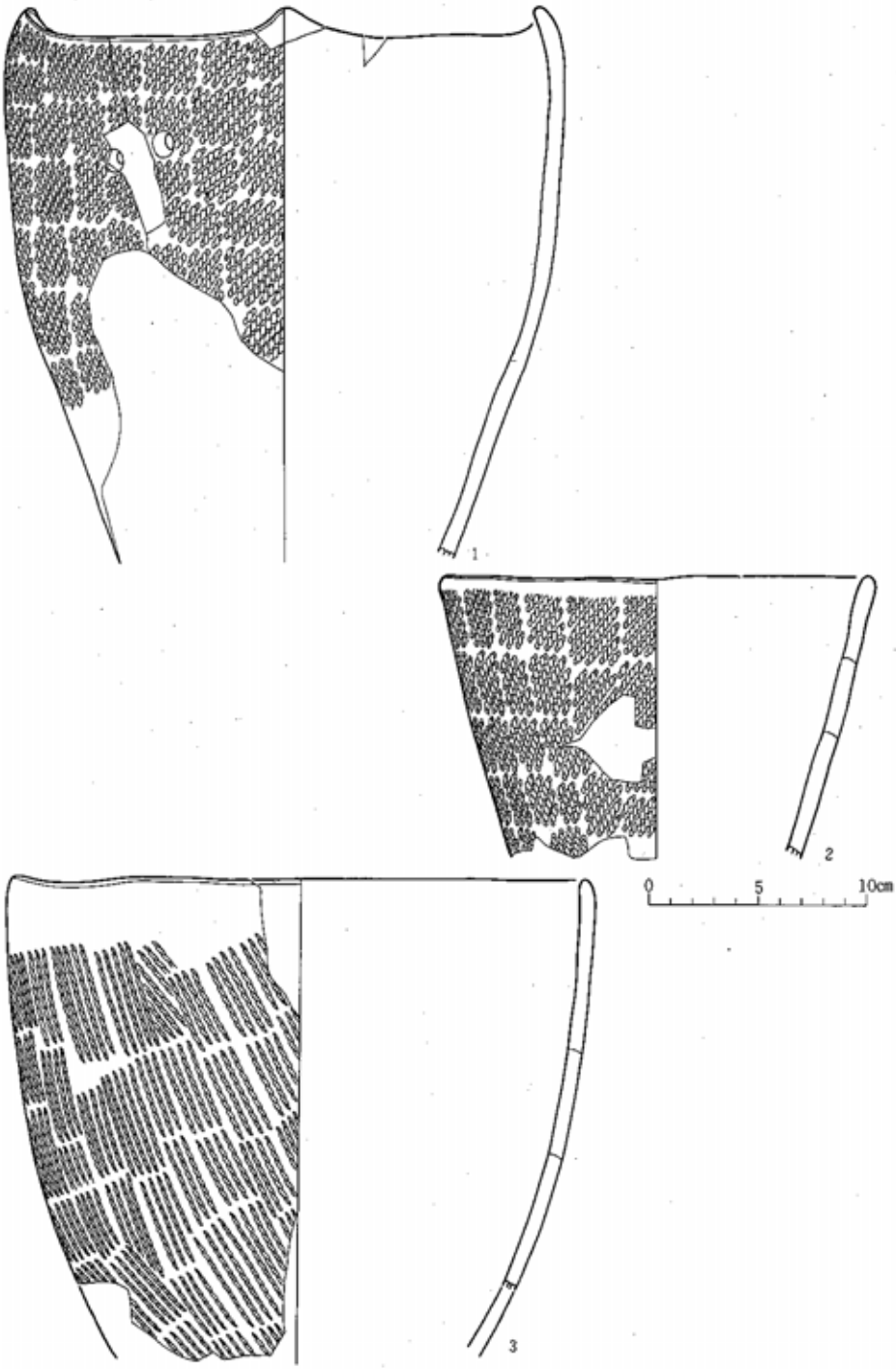
番号	地区・層位	器形・分部	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GL57区，第2層	深鉢 Oⅱb₂	胴部	「U」字文，斜線文，磨消縄文（LR）	Pa 199	97-32
2	GL57区，第2層	〃 Oⅱb₂	胴部	蕨手状似文，斜線文，磨消縄文（燃糸文R）	Pa 198	98-1
3	GL57区，第2層	〃 Oⅱb₂	胴部	楕円文，磨消縄文（LR）	Pa 1688	97-33
4	GL57区，第2層	〃 Oⅱb₂	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：蕨手状似文，条線文	Pa 1694	98-2
5	GL55，56区，第2層	〃 Oⅱb₂	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：蕨手文，縄文（LR）	Pa 1646	98-3
6	GL52区，第2層	〃 Oⅱb₂	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：蕨手文，燃糸文（L）	Pa 1451	98-6
7	GL53区，第2層	〃 Oⅱb₂	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：蕨手文，磨消縄文（RL）	Pa 1811	98-4
8	GL51区，第2層	〃 Oⅱb₂	胴部	蕨手文，磨消縄文（RL）	Pa 1799	98-5・6

第149図　南側遺物包含層出土土器（ＧＬ区第２層）



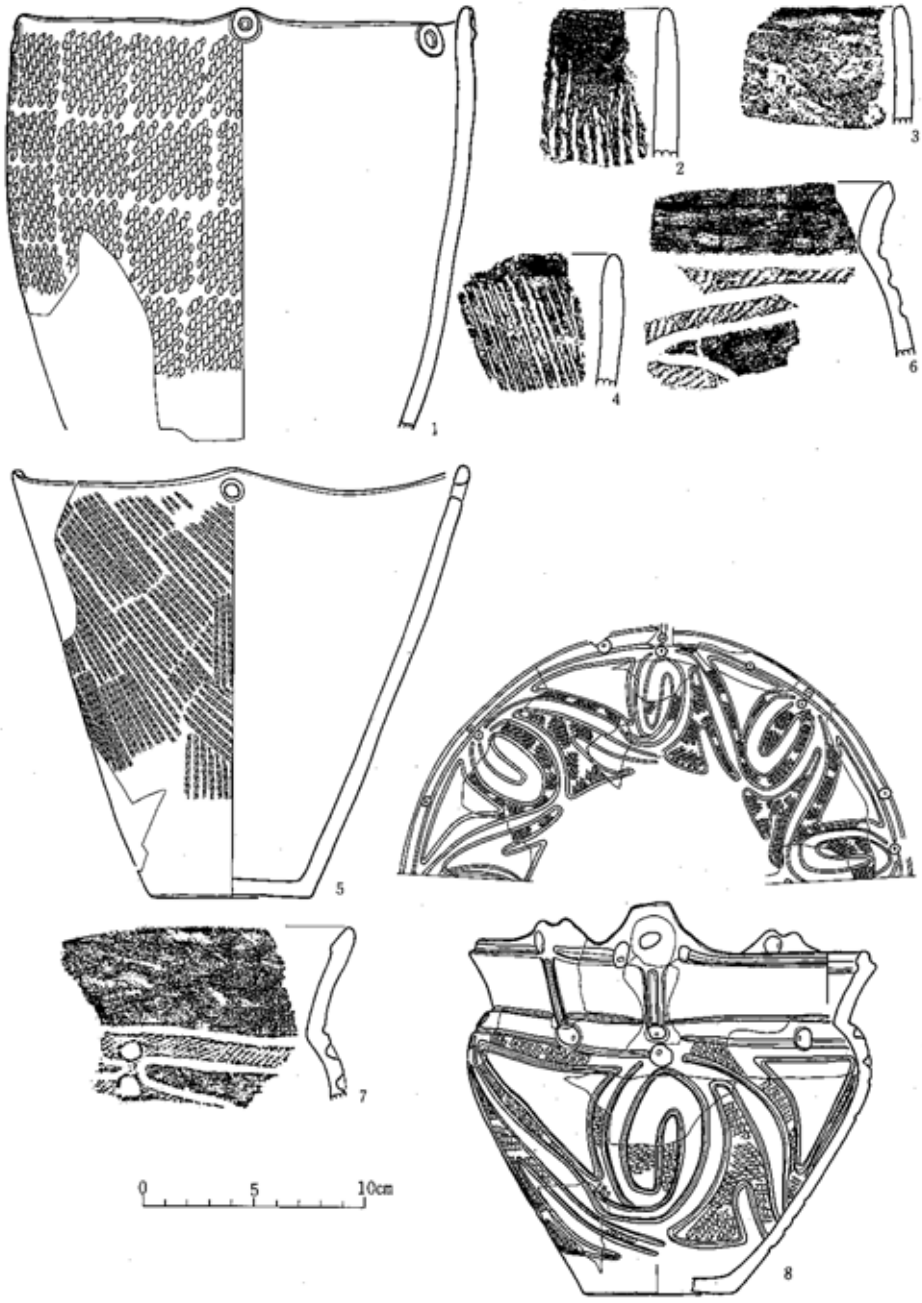
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GL51,52区，第2層	深鉢 Ob$_1$	胴部	斜平文？，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1448	98- 8
2	GL56区，第2層	〃 Ob$_1$	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1668	98-12
3	GL,GM50区，第2層	〃 Ob$_1$	口縁部・胴部	区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1622	98- 9
4	GL55区，第2層	〃 Ob$_1$	胴部	沈線，縄文（ＬＲ）	Po. 1581	98-13
5	GL51区，第2層	〃 Obd	口縁部・胴部	多条沈線文，結束文（Ｒ）	Po. 1736	98- 7
6	GL51区，第2層	〃 Obd	胴部	多条沈線文，縄文（ＬＲ）	Po. 1420	98-10
7	GL,GM52区，第2層	〃 Obd	口縁部・胴部	多条沈線文，縄文（ＬＲ）	Po. 1630	98-14
8	GL54区，第2層	〃 Obd	胴部	多条沈線文，縄文（ＬＲ）	Po. 1533	98-15
9	GL55区，第2層	〃 Obd	口縁部・胴部	多条沈線文，結束文（Ｒ）	Po. 1579	98-19
10	GL53区，第2層	〃 Obd	（口縁部）	多条沈線文，縄文（ＬＲ）	Po. 1596	98-16
11	GL57区，第2層	〃 OVa		頸部：隆線，胴部：結束文（Ｒ）	Po. 1703	98-17
12	GL57区，第2層	〃 OVa		頸部：沈線，盲孔，胴部：結束文（Ｒ）	Po. 1704	98-20
13	GL57区，第2層	〃 OVa		頸部：沈線，胴部：条線文	Po. 1665	98-21
14	GL52区，第2層	〃 OVa		頸部：沈線，胴部：結束文（Ｒ）	Po. 1454	98-22
15	GL57区，第2層	〃 OVa		頸部：沈線，胴部：結束文（Ｒ）	Po. 1731	98-23
16	GL57区，第2層	〃 OVa		頸部：沈線，胴部：結束文（Ｒ）	Po. 1695	98-18
17	GL55区，第2層	〃 OVa		頸部：沈線，胴部：縄文（ＬＲ）	Po. 1587	98-24
18	GL54区，第2層	〃 OVa		頸部：沈線，胴部：格子状条線	Po. 1532	98-25
19	GL55区，第2層	〃 OVb		結束文（Ｒ）	Po. 1585	98-26

第150図　南側遺物包含層出土土器（ＧＬ区第２層）



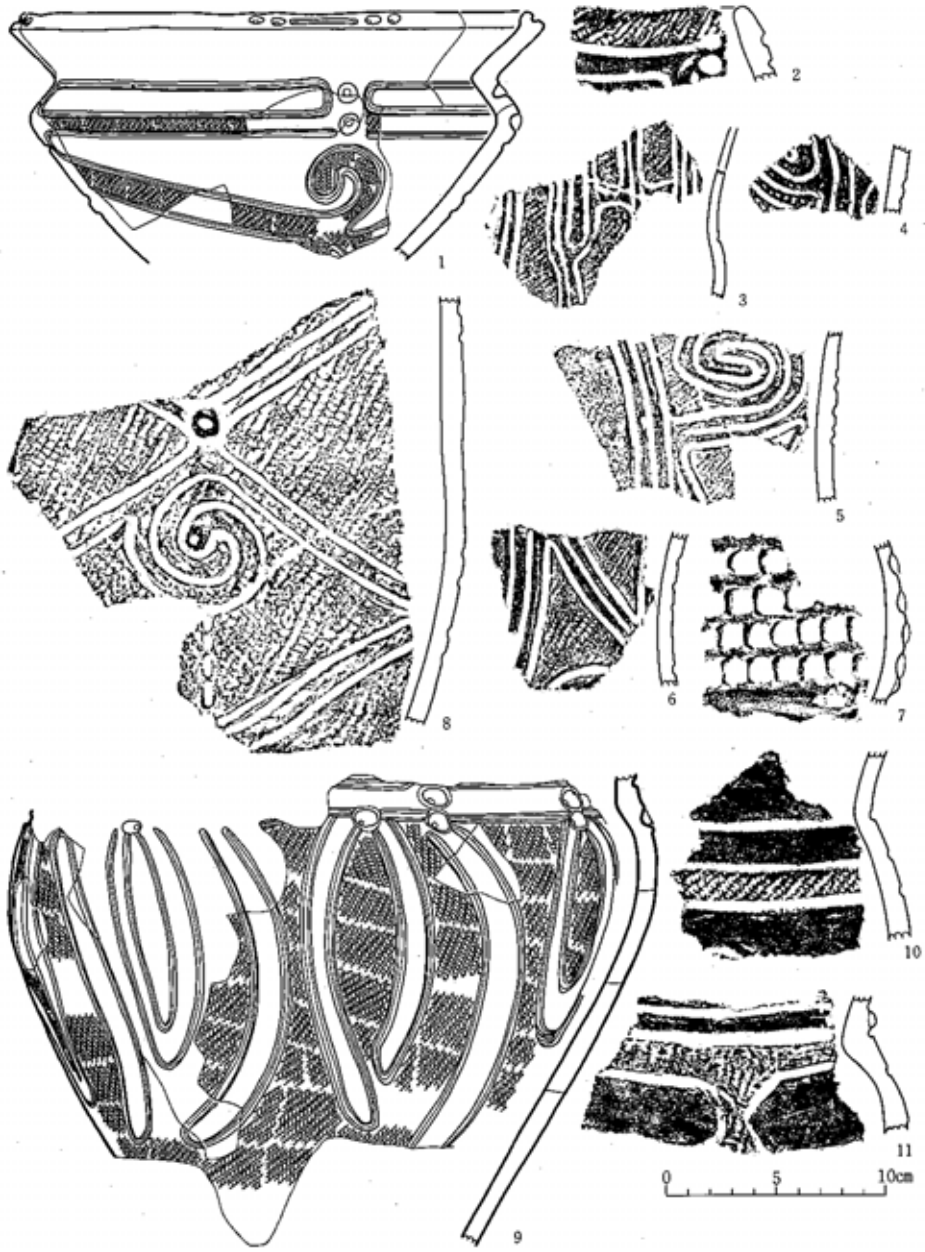
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GL54区，第2層	深鉢 OVb		縄文（LR）（補修孔）	Po. 201	99- 1
2	GL53区，第2層	〃 OVb		縄文（LR）	Po. 202	99- 2
3	GL54,55区，第2層	〃 OVb		撚糸文（R）	Po. 203	99- 6

第151図　南側遺物包含層出土土器（ＧＬ区第２層）



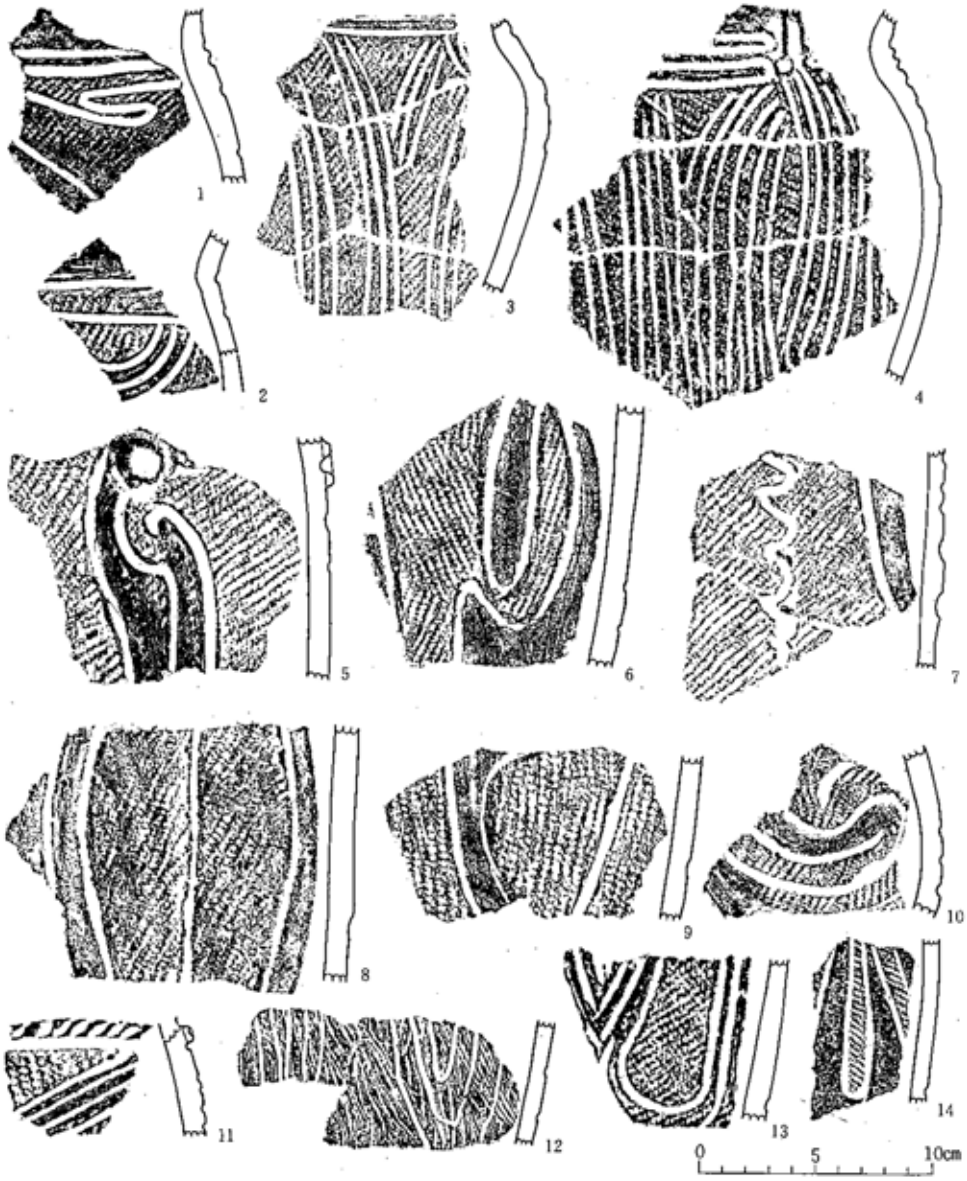
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GL56区，第2層	深鉢 OVb		縄文（LR）	Po. 204	99－4
2	GL54区，第2層	〃 OVb		結糸文（R）	Po. 1536	99－3
3	GL55区，第2層	〃 OVb		無文	Po. 1585	—
4	GL54区，第2層	〃 OVb		条線文	Po. 1535	99－5
5	GL,GM53区，第2層	〃 OVb		結糸文（R）	Po. 205	99－9
6	GL57区，第2層	鉢 CI	胴部	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 1590	99－7
7	GL57区，第2層	〃 CI	胴部	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 1698	99－8
8	GL56区，第2層	〃 CIa	口縁部・胴部	口縁部：沈線入下垂隆線，胴部：入組渦文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 206	99－10

第152図　南側遺物包含層出土土器（ＧＬ区第２層）



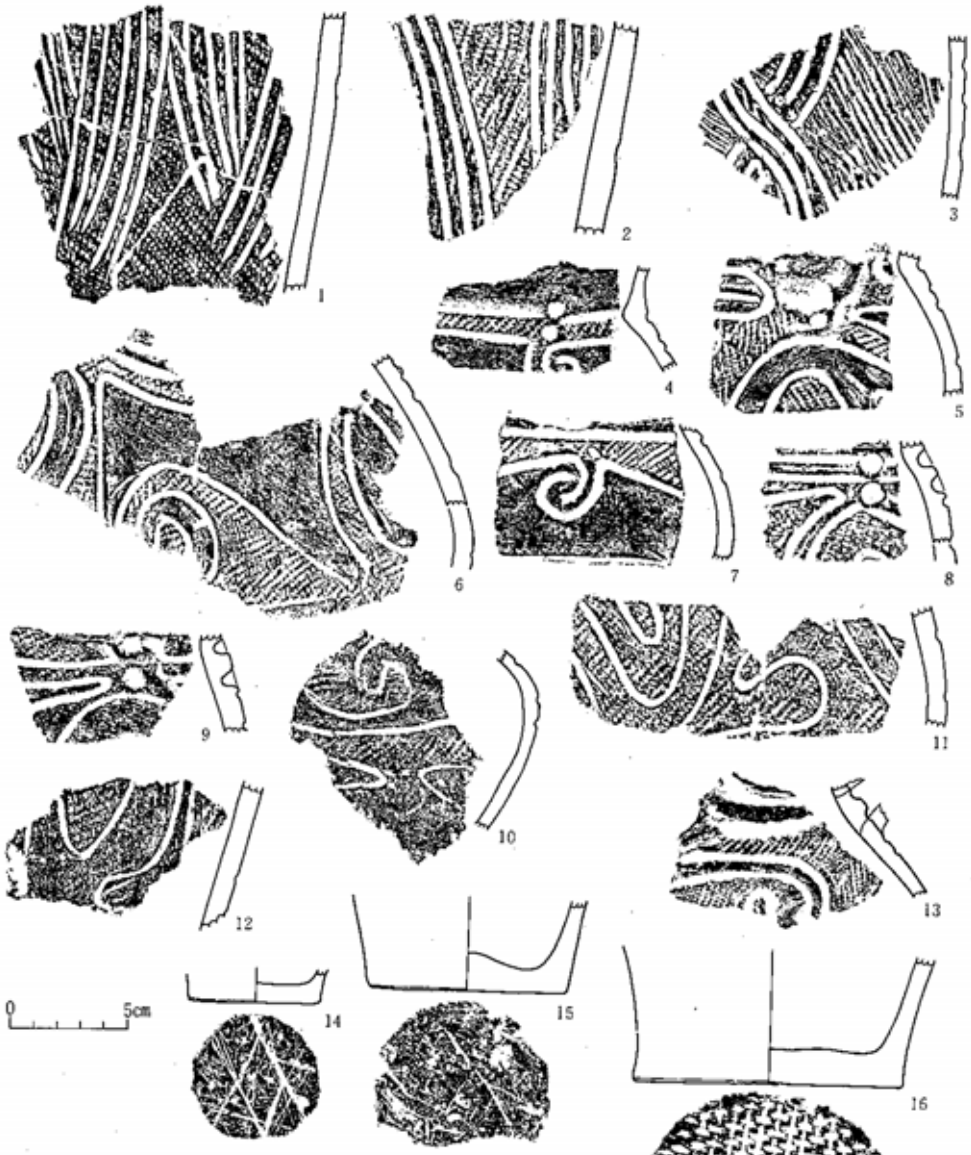
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GL57区，第2層	鉢　C1	胴部	隅付三角文，磨消（充填）縄文（LR）	Pa. 207	100－1
2	GL57区，第2層	壺？	胴部	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Pa. 1696	100－2
3	GL52区，第2層	深鉢（DBb）	（胴部）	多条沈線文，縄文（LR）	Pa. 1457	100－3
4	GL54区，第2層	〃（DBb）	（胴部）	多条沈線文，縄文（LR）	Pa. 1534	100－4
5	GL55区，第2層	〃（DBb）	（胴部）	多条沈線文・鋸文，縄文（LR）	Pa. 1583	100－5
6	GL55区，第2層	〃（DBb）	（胴部）	多条沈線文，縄文（LR）	Pa. 1580	100－7
7	GL，GM50区，第2層	〃（B）	（胴部上半）	連続刺突文	Pa. 1821	100－8
8	GL，GM50区，第2層	〃（OBa？）	（胴部）	（方形区画文？）隅付摩文，縄文（LR）	Pa. 1841	100－9
9	GL51，52区，第2層	〃（HBa）	（胴部）	楕円・弧状文，磨消縄文（LR）	Pa. 208	100－10
10	GL51区，第2層	〃（HB）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Pa. 1419	100－6
11	GL53区，第2層	〃（HB）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Pa. 1509	100－11

第153図　南側遺物包含層出土土器（ＧＬ区第２層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GL53区，第2層	深鉢（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1514	100−13
2	GL55区，第2層	〃（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1594	100−12
3	GL53区，第2層	〃（HIIc$_1$）	（胴部）	多条沈線弧状文，縄文（ＬＲ）	Po. 1517	100−14
4	GL51区，第2層	〃（HIIc$_1$）	（口縁部・胴部）	口縁部：下垂隆線，胴部：多条沈線弧状文，縄文（ＲＬ）	Po. 1740	100−15
5	GL57区，第2層	〃（OIIb$_2$）	（胴部）	波手類似文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1697	100−16
6	GL,GM52区，第2層	〃（OIIb$_2$）	（胴部）	波手類似文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1825	100−20
7	GL53区，第2層	〃（OIIb$_2$）	（胴部）	区画文，ジグザグ文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1507	100−17
8	GL55区，第2層	〃（OIIb$_2$）	（胴部）	楕円文？，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1595	100−22
9	GL,GM52区，第2層	〃（H or O）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1826	100−19
10	GL57区，第2層	〃（H or O）	（胴部）	渦文，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 1692	100−18
11	GL55区，第2層	〃（H or O）	（胴部）	頸部：刺目付隆起線，胴部：多条沈線文，縄文（ＬＲ）	Po. 1584	100−21
12	GL61,62区，第2層	〃（H or O）	（胴部）	「Ｖ」字状沈線，撚糸文（Ｌ）	Po. 1446	101− 1
13	GL51区，第2層	〃（H or O）	（胴部）	多条沈線文，縄文（ＬＲ）	Po. 1417	101− 2
14	GL57区，第2層	〃（H or O）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 1589	101− 3

第154図　南側遺物包含層出土土器（ＧＬ区第２層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴など	登録	図版
1	GL52K，第2層	鉢類(HorO)	(胴部)	多条沈線文，縄文(RL)	Po. 1652	101-6
2	GL52K，第2層	〃 (HorO)	(胴部)	多条沈線文，縄文(LR)	Po. 1764	101-3
3	GL54K，第2層	〃 (HorO)	(胴部)	多条沈線，楕円連続文，橋状文(E)	Po. 1537	101-4
4	GL57K，第2層	鉢 (C1)	(胴部)	区画沈線，格文，磨消(充填)縄文(LR)	Po. 1690	103-5
5	GL57K，第2層	〃 (C1)	(胴部)	区画沈線，磨消(充填)縄文(LR)	Po. 1687	101-8
6	GL-GM58K，第2層	〃 (C1a)	(胴部)	格文，楕円文，磨消(充填)縄文(LR)	Po. 1823	103-13
7	GL58K，第2層	〃 (C1)	(胴部)	格文，磨消(充填)縄文(LR)	Po. 1515	102-9
8	GL58K，第2層	〃 (C1)	(胴部)	区画沈線，磨消(充填)縄文(LR)	Po. 1668	102-10
9	GL59K，第2下層	〃 (C1)	(胴部)	区画沈線，磨消(充填)縄文(LR)	Po. 1701	102-11
10	GL59K，第2層	〃 (C1)	(胴部)	格文，区画沈線，磨消(充填)縄文(LR)	Po. 1686	102-14
11	GL59K，第2下層	〃 (C1)	(胴部)	区画沈線，磨消縄文(LR)	Po. 1700	102-12
12	GL59K，第2層	〃 (C1)	(胴部)	区画沈線，磨消(充填)縄文(LR)	Po. 1513	102-15
13	GL51・52K，第2層	皿口(A)	(胴部)	(入組)格文，磨消(充填)縄文(LR)	Po. 1450	102-16
14	GL52K，第2層			底部：木葉底	Po. 1512	—
15	GL・GM52K，第2層			底部：木葉底	Po. 1833	—
16	GL50K，第2層			底部：網代底	Po. 1739	—

第155図　南側遺物包含層出土土器（ＧＬ区第２層）

b、第 153 図 7：胴上部が張る器形と思われる。胴上部に連続刺突文がみられる。

c、第 153 図 9～第 154 図 4：頚部が「く」字状にくびれる器形と思われる。第 153 図 9 は胴上部が内弯してそれ以下は次第にすぼまる。9 には楕円・弧状文が、10・11 は不明、第 154 図 1～4 には多条沈線文が施文されている。

d、第 154 図 5～8 は口縁部・胴部がわずかな脹みをもって立ち上がる器形と思われる。また第 154 図 9～第 155 図 3 はどの器形か判然としない。

鉢(第 155 図 4～12)

いずれも頚部が「く」字状を呈する器形と思われる。渦文などが施文されている。

注口土器(第 155 図 13)

壺形の注口土器である。渦状の文様がみられる。

《底部資料》(第 155 図 14～16)

15・16 は深鉢と思われるが、14 は不明である。14・15 の底面には木葉痕が、16 には網代痕が認められる。

ＧＫ列（ＧＫ53・56・57 区）

第３層出土土器

《口縁部資料》

深鉢(第 156 図～第 159 図)

a、第 156 図 1・2：頚部が「く」字状にくびれて口縁部が外反する器形である。1 は小波状口縁で、波頂部が内弯気味になる。胴上部はわずかに内弯する。口縁部は無文で、胴部に隆線による重層する楕円文とその中に細かな撚糸文・刺突文が充塡されている。2 は口縁端部が肥厚して段を成し、突起がつくらしい。胴部は上位がいくぶん内弯し、中位以下はわずかに脹みをもって底部にいたる。文様は口縁端部に沈線が、胴部に入組渦文がみられる。

b、第 156 図 3～6、第 157 図 2：口縁部・胴部が直線的に外傾する器形である。口縁端部は削がれたように三角を呈し、窓の開いた突起がつく。第 157 図 2 では大小一対の突起とその対面に幅広く低い突起がみられる。いずれも口縁部は無文、胴部には蕨手文、平行沈線文などがみられる。

c、第 156 図 7～10、第 157 図 1、第 159 図：口縁部・胴部がわずかに脹みをもって立ち上がる器形である。低い山形突起のつくものが多い。

第 156 図 7～10、第 157 図 1、第 158 図、第 159 図 1・3・4 は胴部に文様をもち、口縁部にも突起下に限って簡略な文様のつくものがある。胴部文様は多くが蕨手文、蕨手文類似の文様、ジ

グザグ文など縦長の単位であるが、第157図1、第159図1の文様は幅が広く、前者には大きな山形文と破線文、ジグザグ文の組み合った文様がみられる。4 は頚部・胴上部に隆線がみられ、頂部の肥厚した突起がつくなど他と異なった特徴をもつ。

第159図2は口縁部に文様が施されている。渦文と長楕円文である。

第159図5〜14は口縁部・胴部が地文あるいは無文である。3は頚部を沈線で画している。

鉢(第160図1〜4)

いずれも頚部が「く」字状を呈する器形である。口縁部が外反して端部は段を成す。胴上位が内弯し、以下は強く外傾する。3・4 に突起がつく。3 は破損している。4 は大小一対の突起とその中間の大きさで2個一対の突起が対面に位置し、前者の下部にのみ橋状把手がつく。文様は口縁部と胴部にみられ、胴部文様は渦付三角文などである。

注口土器(第160図5)

壺形の注口土器と思われるが、小破片のため詳細は不明である。

《胴部資料》

深鉢(第160図6・7、第161図、第162図2・3)

ａ、第160図6：頚部が緩やかにくびれ、胴上部が張り出す器形と思われる。横位に連結する文様であろう。

ｂ、第160図7、第161図1〜6：頚部が「く」字状にくびれる器形と思われる。第160図1には縦位の楕円文、他は横位に展開する文様がみられる。

ｃ、第161図7〜11、第162図2・3：口縁・胴部がわずかに脹みをもって立ち上がる器形と思われる。第161図11には胴部上半に方形区画文が、第161図7〜10には「U」字文、蕨手文などの縦に細長い単位の文様がみられ、第162図2・3は頚部に隆線が走る。

鉢(第162図1・4・5)

いずれも頚部が「く」字状を呈する器形と思われる。入組渦文などがみられる。

《底部資料》(第162図6)

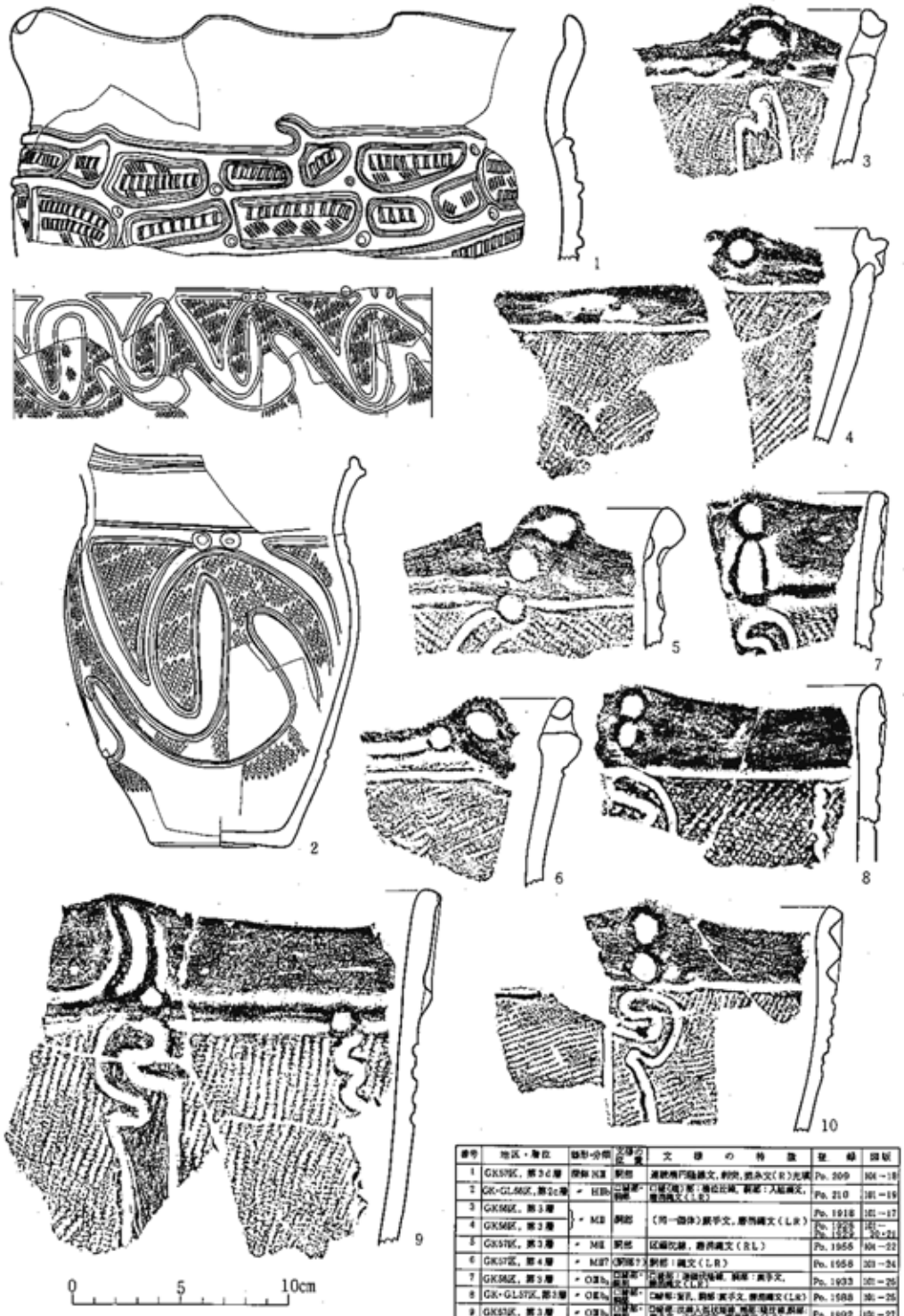
鉢の底部と思われる。底面に木葉痕がみがき残されている。

第２層出土土器

《口縁部資料》

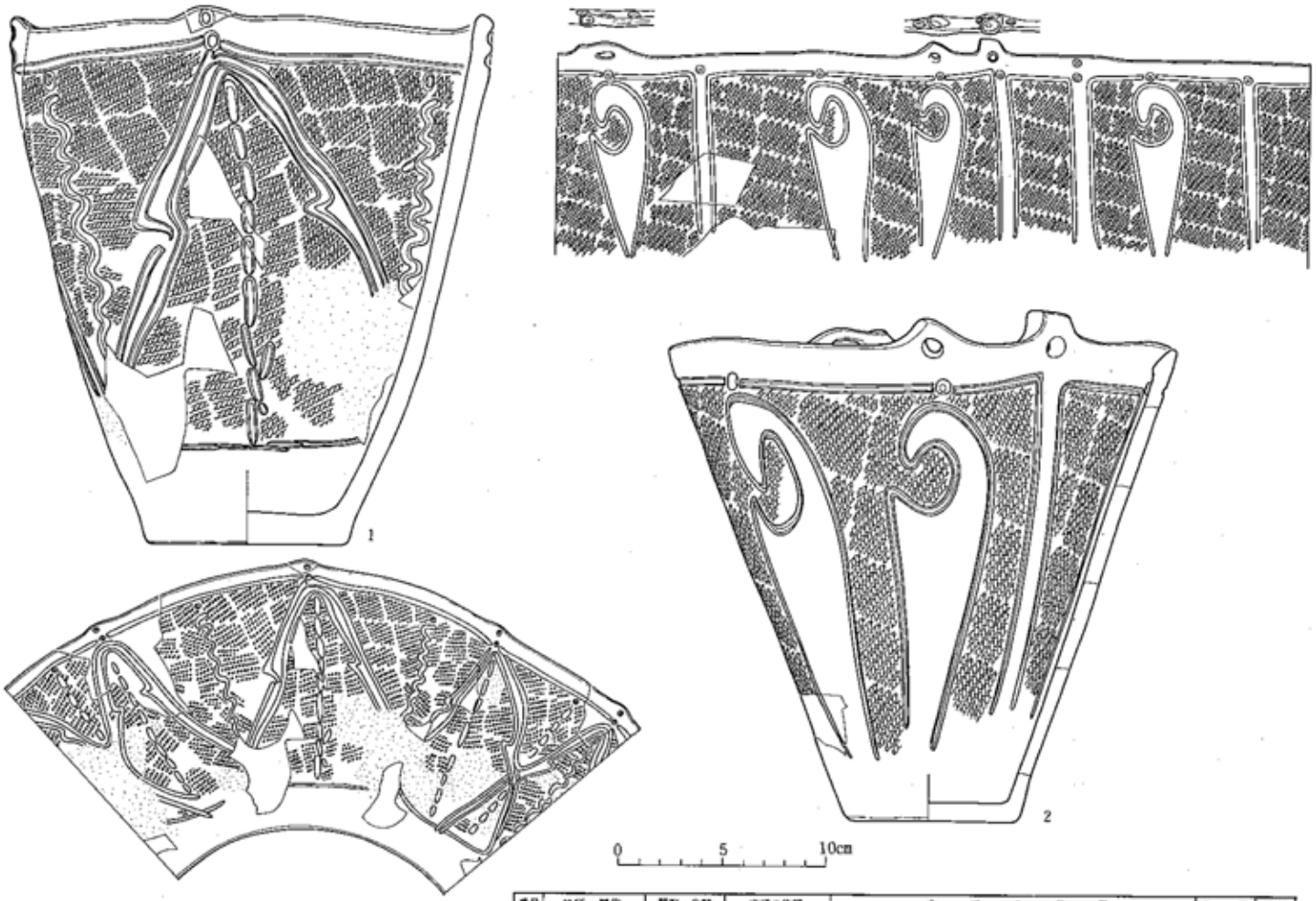
深鉢(第163図〜第166図9)

ａ、第163図1〜3・5・6：胴部中位でくびれ、それ以上が外反する器形である。多条沈線で文様が描かれ、1・2・5・6は下垂線と、その間に弧状文などが配される。2には地文が施されていない。5は磨消縄文（充塡）技法が用いられている。3は渦文がみられる。



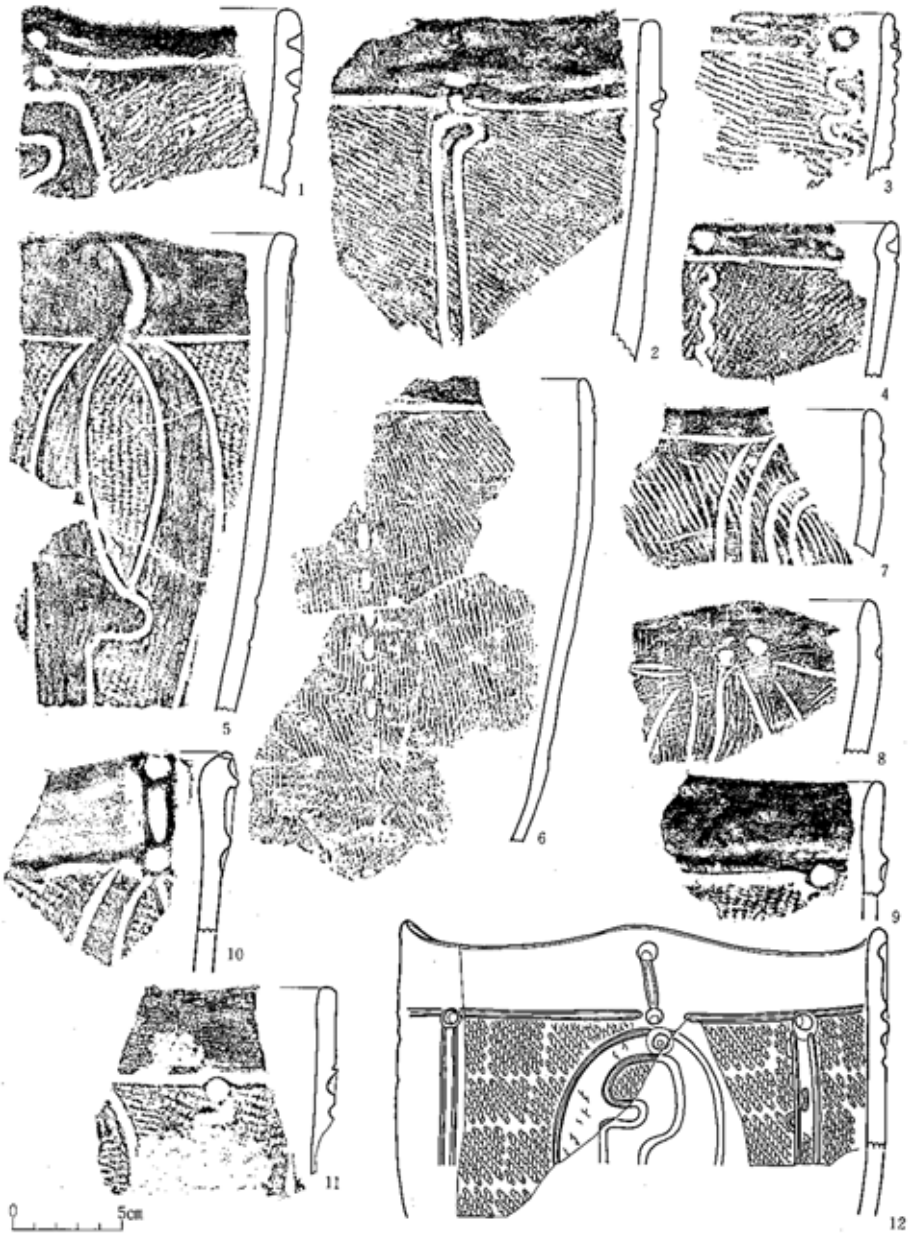
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	図版	図版
1	GK59SK，第3c層	深鉢 IGa	胴部	連続梅門隆線文，刺突，筋糸文（R）充填	Pa. 209	104－18
2	GK・GL56SK，第2c層	〃 IIBb	口縁部・胴部	口縁（端）部：幾何比線，胴部：入組縄文，磨消縄文（LR）	Pa. 210	101－19
3	GK56SK，第3層	〃 IIB	胴部	（同一個体）貼手文，磨消縄文（LR）	Pa. 1918	101－17
4	GK56SK，第3層				Pa. 1928 Pa. 1929	101－ 20・21
5	GK59SK，第3層	〃 IIB	胴部	区画沈線，磨消縄文（RL）	Pa. 1956	104－22
6	GK59SK，第4層	〃 IIB?	胴部?	胴部：縄文（LR）	Pa. 1958	103－24
7	GK56SK，第3層	〃 OIIbb	口縁部・胴部	口縁部：連続刺突線，胴部：貼手文，磨消縄文（LR）	Pa. 1933	101－25
8	GK・GL57SK，第3層	〃 OIIbb	口縁部・胴部	口縁部：貼付，胴部：貼手文，磨消縄文（LR）	Pa. 1988	101－25
9	GK57SK，第3層	〃 OIIbb	口縁部・胴部	口縁部：沈線入区画線，胴部：隆行線，胴部：縄文，ジグザグ文，磨消縄文（LR）	Pa. 1992	101－27
10	GK56SK，第3層	〃 OIIbb	口縁部・胴部	口縁部：貼付，胴部：貼手文，磨消縄文（LR）	Pa. 1999	101－23

第156図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第３層）



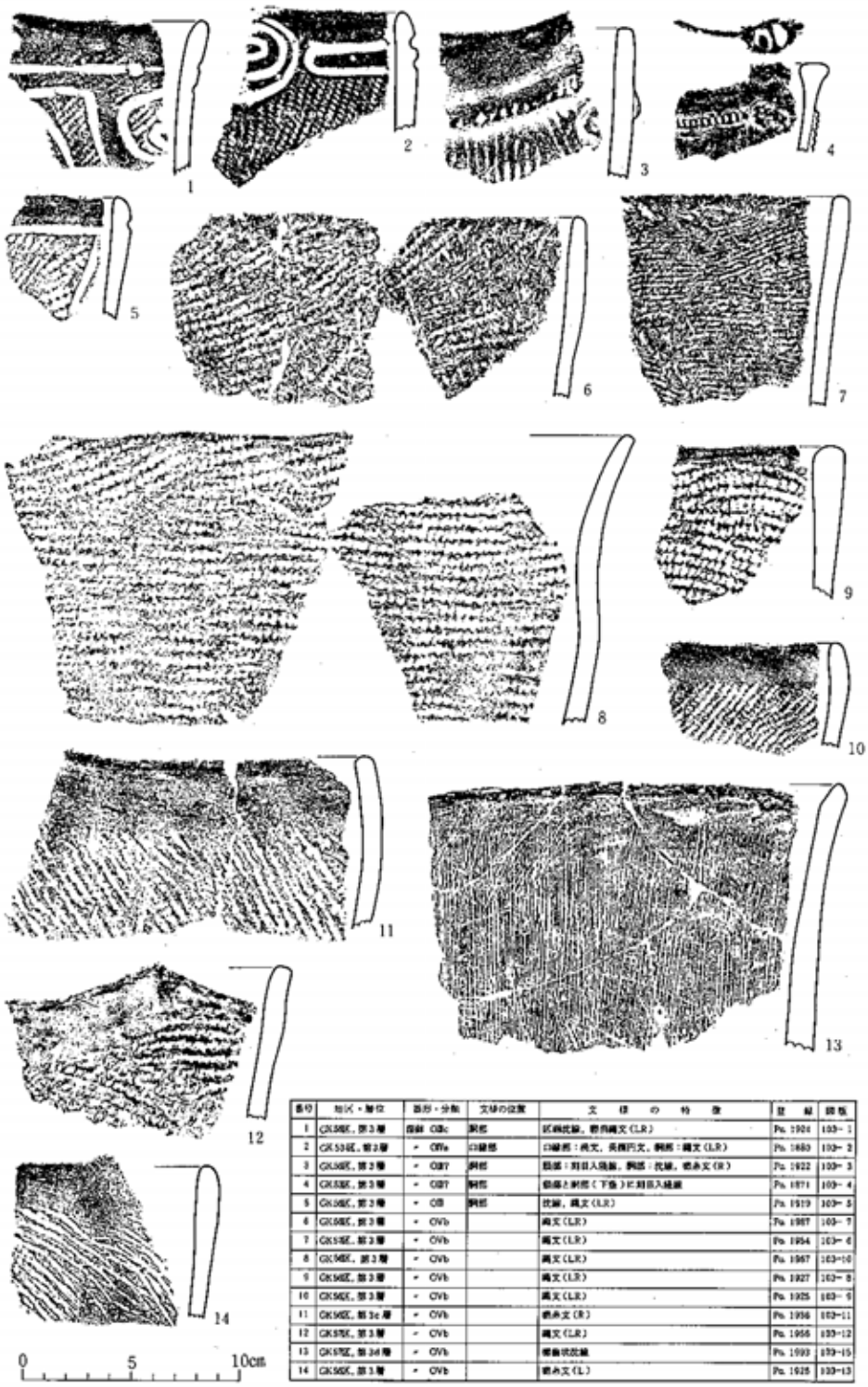
第157図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第３層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GK57区，第3d層	深鉢　Oⅲc	口縁部・胴部	口縁部：ボタン状隆線，胴部：鋸歯文入山形文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 211	102－1
2	GK57区，第3d層	〃　Mⅱ	胴部	蕨手文，平行線文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 212	102－2



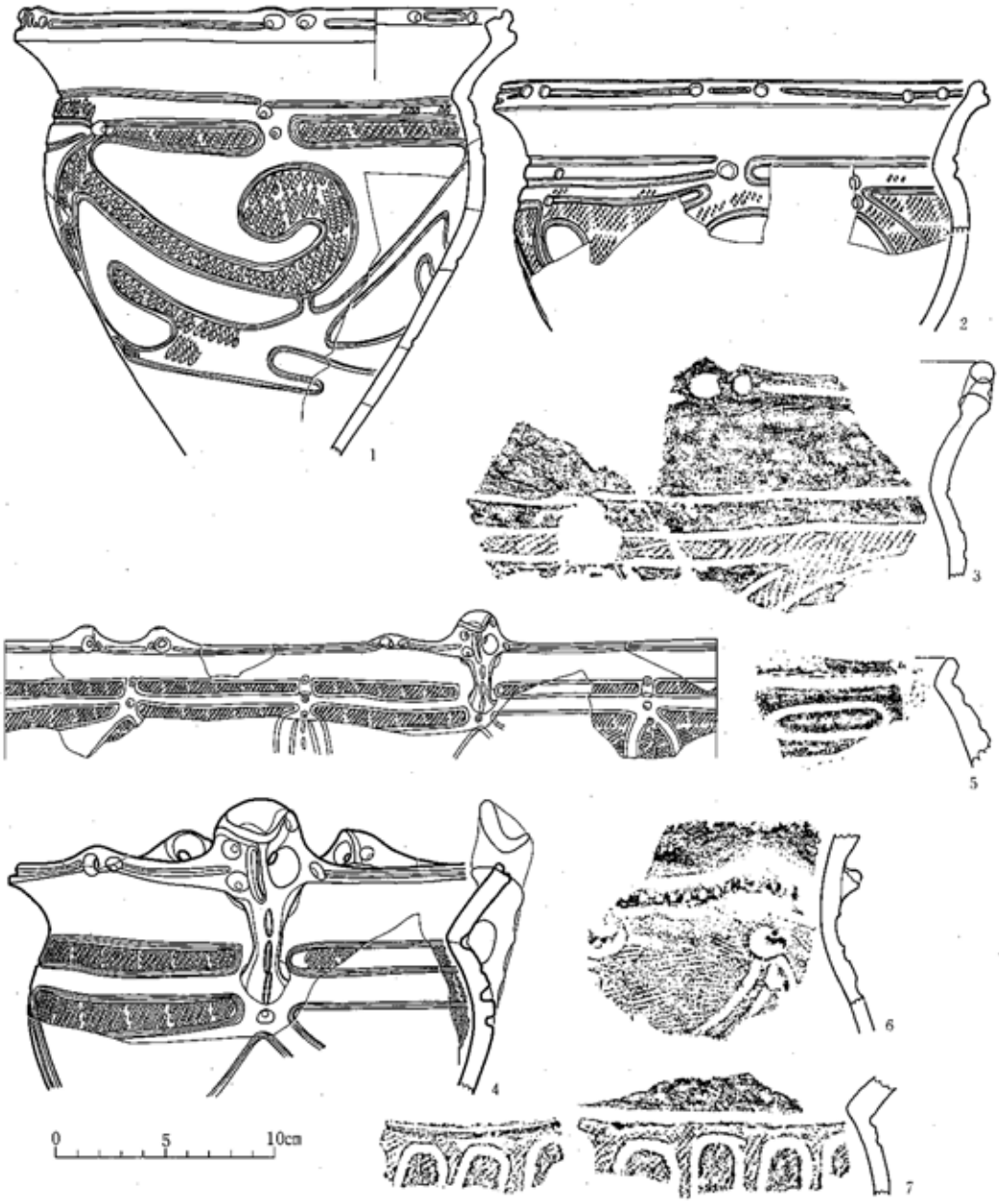
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GK86区，第3層	深鉢 Ⅰ類b_2	胴部	鋸手文，磨消縄文（赤糸文R）	Po. 1920	102－3
2	GK・GL87区，第3層	〃 Ⅰ類b_2	胴部	側部：隆沈線，胴部：平行沈線，磨消縄文（RL）	Po. 1989	102－4
3	GK87区，第3層	〃 Ⅰ類b_2	口縁部・胴部	口縁部：ボタン状隆線，胴部：連続「S」字文，縄文（LR）	Po. 1957	102－5
4	GK86区，第3層	〃 Ⅰ類b_2	口縁部・側部	口縁部：沓孔，側部：ジグザグ文，縄文（LR）	Po. 1932	102－6
5	GK87区，第3d層	〃 Ⅰ類b_2	口縁部・胴部	口縁部：弧状沈線，胴部：楕円文，磨消縄文（LR）	Po. 1979	102－7
6	GK86区，第3層	〃 Ⅰ類b_2	胴部	斜線文，赤糸文（R）	Po. 1986	102－8
7	GK86区，第3層	〃 Ⅰ類b_2	胴部	区画沈線，磨消縄文（赤糸文r）	Po. 1917	102－9
8	GK86区，第3c層	〃 Ⅰ類e？	胴部	斜行沈線，赤糸文（R）	Po. 1935	102－10
9	GK・GL87区，第3層	〃 Ⅰ類	胴部	沈線，縄文（LR）	Po. 2008	102－11
10	GK・GL87区，第3層	〃 Ⅰ類b_2	口縁部・胴部	口縁部：連鎖状隆線，胴部：楕円文？，磨消縄文（RL）	Po. 2010	102－12
11	GK87区，第3d層	〃 Ⅰ類b_2	側部	区画沈線，ジグザグ文，磨消縄文（LR）	Po. 1969	102－13
12	GK87区，第3d層	〃 Ⅰ類b_2	口縁部・胴部	口縁部：沈線入隆線，胴部：鋸手文，平行線文，磨消縄文（RL）	Po. 213	102－14

第158図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第３層）



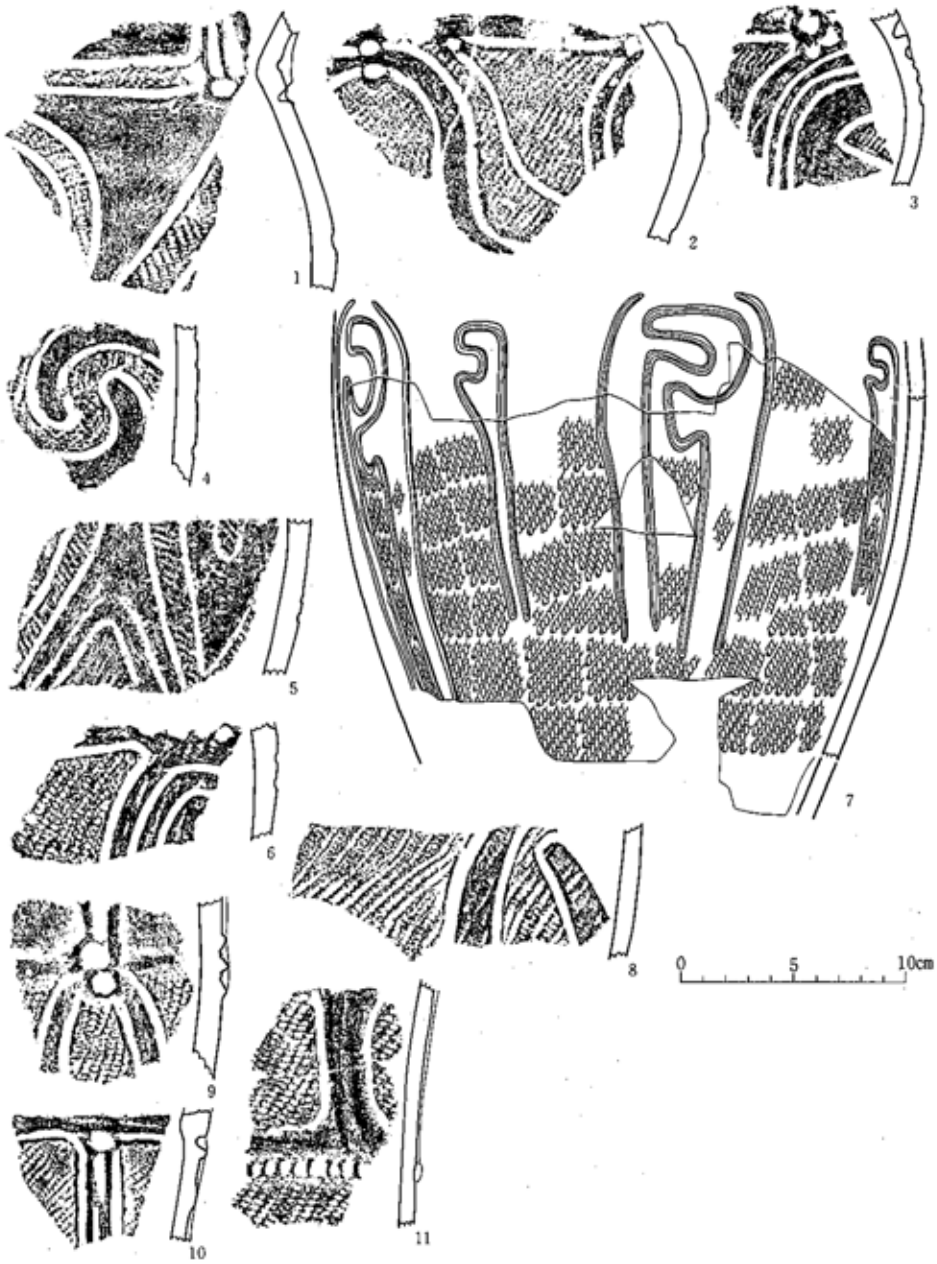
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GK58区，第3層	深鉢 OBc	胴部	沈線間充填，斜行縄文（LR）	Po. 1924	103-1
2	GK53区，第3層	〃 OVa	口縁部	口縁部：縄文，楕円文，胴部：縄文（LR）	Po. 1880	103-2
3	GK58区，第3層	〃 OBT	胴部	胴部：刺目入隆線，胴部：沈線，櫛条文（R）	Po. 1922	103-3
4	GK58区，第3層	〃 OBT	胴部	胴部と胴部（下位）に刺目入隆線	Po. 1871	103-4
5	GK58区，第3層	〃 OB	胴部	沈線，縄文（LR）	Po. 1919	103-5
6	GK58区，第3層	〃 OVb		縄文（LR）	Po. 1887	103-7
7	GK58区，第3層	〃 OVb		縄文（LR）	Po. 1954	103-6
8	GK58区，第3層	〃 OVb		縄文（LR）	Po. 1967	103-10
9	GK58区，第3層	〃 OVb		縄文（LR）	Po. 1927	103-8
10	GK58区，第3層	〃 OVb		縄文（LR）	Po. 1925	103-9
11	GK58区，第3c層	〃 OVb		櫛条文（R）	Po. 1936	103-11
12	GK58区，第3層	〃 OVb		縄文（LR）	Po. 1966	103-12
13	GK58区，第3d層	〃 OVb		櫛条状沈線	Po. 1993	103-15
14	GK58区，第3層	〃 OVb		櫛条文（L）	Po. 1928	103-13

第159図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第３層）



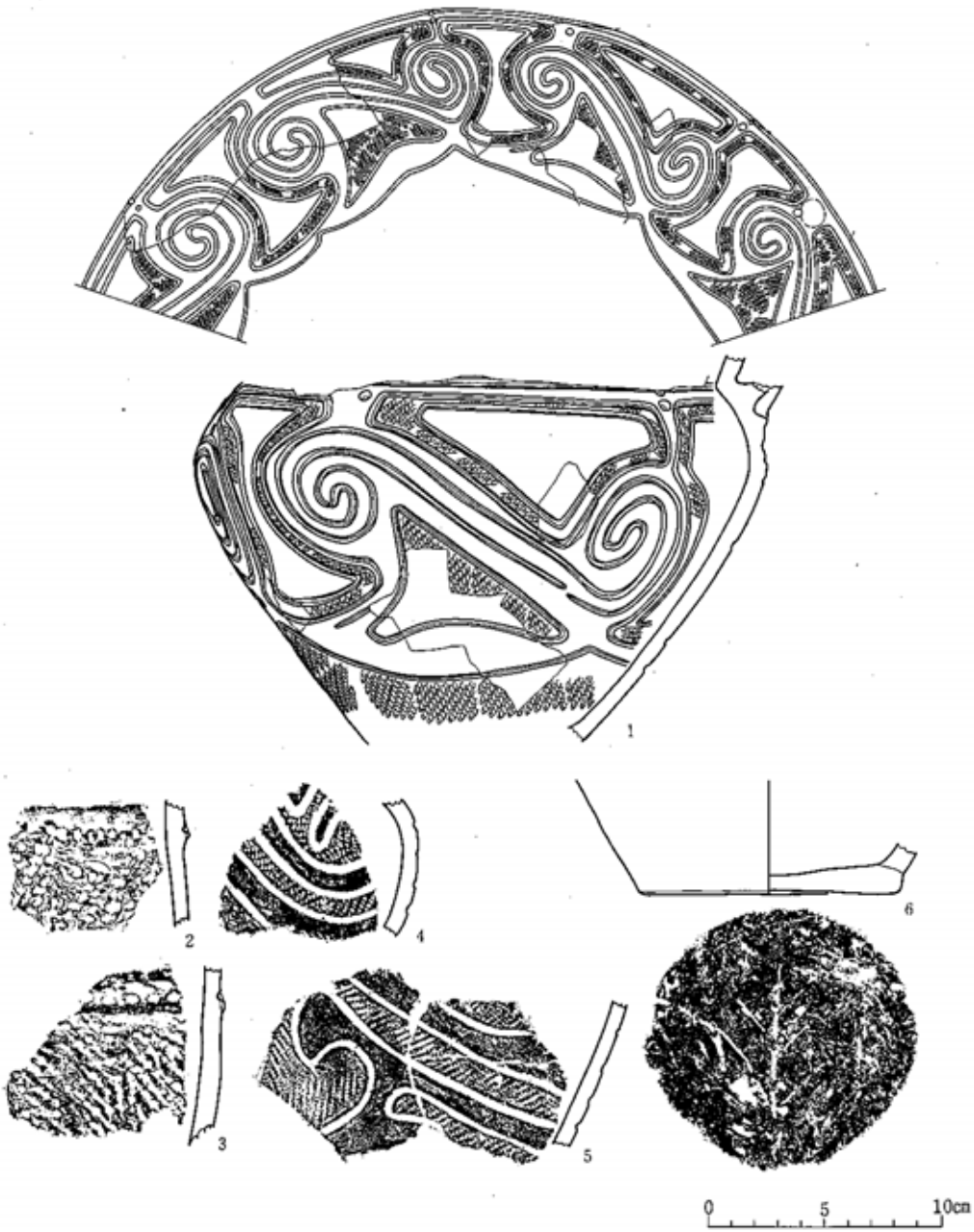
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GK57区，第3層	鉢 CIa	口縁部・胴部	口縁（端）部：横位沈線，盲孔，胴部：横付三角文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 214	103−16
2	GK57区，第3層	〃 CI	口縁部・胴部	口縁（端）部：横位沈線，盲孔，胴部：区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 215	103−18
3	GK56区，第3層	〃 CI	口縁部・胴部	口縁（端）部：横位沈線，盲孔，胴部：区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 1974	103−14
4	GK56・57区，第3b〜c層	〃 CI	口縁部・胴部	口縁（端）部：横位沈線，盲孔，胴部：区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 216	103−17
5	GK53区，第3層	注口？	胴部	楕円文，区画文	Po. 1872	104− 1
6	GK56区，第3層	鉢脚（GI）	（胴部）	脚部：刻目入隆線，胴部：弧状連結文？，縄文（LR）	Po. 1923	104− 2
7	GK56区，第3層 GK55区，第3層	〃（HI）	（胴部）	楕円文，磨消縄文（LR）	Po. 1891 Po. 1897	104−3・4

第160図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第３層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GK56区，第3層	深鉢（HIIb）	（口縁部・胴部）	口縁部：沈線入隆・沈線，胴部：渦文？，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 1921	104－5
2	GK57区，第3d層	〃（HIIb）	（胴部）	渦文？，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1991	104－6
3	GK57区，第3d層	〃（HIIb）	（胴部）	渦文？，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 1961	104－7
4	GK56区，第3層	〃（HIIb）	（胴部）	渦文，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 1930	104－8
5	GK56区，第3層	〃（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 1890	104－10
6	GK55区，第3層	〃（HIIb）	（胴部）	渦文？，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1870	104－9
7	GK57区，第3d層	〃（OIIb$_2$）	（胴部）	蕨手文？，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 217	104－12
8	GK56区，第3c層	〃（OIIb$_2$）	（胴部）	「ＵＪ字文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1939	104－13
9	GK57区，第3d層	〃（OIIb$_2$）	（口縁部・胴部）	口縁部：沈線入隆線，胴部：楕円文？，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1960	104－11
10	GK56区，第3層	〃（OIII）	（胴部）	破線文入平行線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 1931	104－15
11	GK・GL56区，第3層	〃（OIIa）	（胴部上半）	方形区画文，連続例突文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2004	104－17

第161図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第３層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴など	登録	図版
1	GH56・57区，第3層	鉢（C1a）	（胴部）	多条沈線風入組渦文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 218	104-20
2	GK57区，第3d層	深鉢（OVa）		頸部：刺突付隆線，胴部：縄文（RLR）	Po. 1954	104-14
3	GK57区，第3d層	〃（OVa）		頸部：刺突付隆線，胴部：撚糸文（R）	Po. 1952	104-18
4	GK57区，第3d層	鉢（CI）	（胴部）	渦文？，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 1963	104-15
5	GK56・57区，第3b・c層	〃（CI）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 1984	104-19
6	GK56区，第3層			底部：木葉痕	Po. 1916	—

第162図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第３層）

b、第163図4：頸部が「く」字状にくびれる器形である。突起下に橋状把手の基部が残る。胴部を欠いている。

c、第163図7：口縁部から胴部まで直線的に外傾する器形である。口縁端部は肥厚して内面に段、外面に沈線が巡る。大小の突起が対面に位置している。口縁部から胴部にかけて渦入三角文が施文されている。

d、第163図8：口縁・胴上部が内弯する器形である。口縁部から胴部にかけて文様がみられる。

e、第164図～第166図9：口縁部・胴部がわずかに脹みをもって立ち上がる器形である。第164図、第165図2～6・10は胴部に縦長単位の蕨手文、破線文、平行線文、連続「S」字文などがみられ、第165図6の単位は幅が広い。第165図6～9は胴部に文様をもつが単位が不明である。第165図1、第166図1～9は口縁部・胴部が地文あるいは無文である。

鉢(第166図10・11、第167図1)

頸部が「く」字状を呈する器形である。口縁部は外反、外傾して窓の開いた突起がつく。10の胴部には入組渦文が、1には渦文がみられる。

注口土器(第167図2)

壺形の注口土器と思われる。

《胴部資料》

深鉢(第167図3～第169図5)

a、第167図3～5：胴部中位がくびれてそれ以上が外反する器形と思われる。多条沈線で文様が描かれており、4・5は磨消縄文（充塡）技法が用いられている。

b、第167図6：胴上部が張る器形と思われる。連続刺突文がみられる。

c、第167図7～14、第168図1～6・8、第169図1：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。このうち第167図7～14は横位に展開する文様が描かれており、第168図1～3・6は縦位の単位と思われる。また第168図4・5、第169図1には多条沈線文様がみられ、特に第169図1は楕円と弧状・斜行線を組み合わせた三角文が施文されている。

d、第168図7・9～15、第169図2・3は口縁部・胴部がわずかに脹みをもって立ち上がる器形と思われる。蕨手文などの文様がみられる。

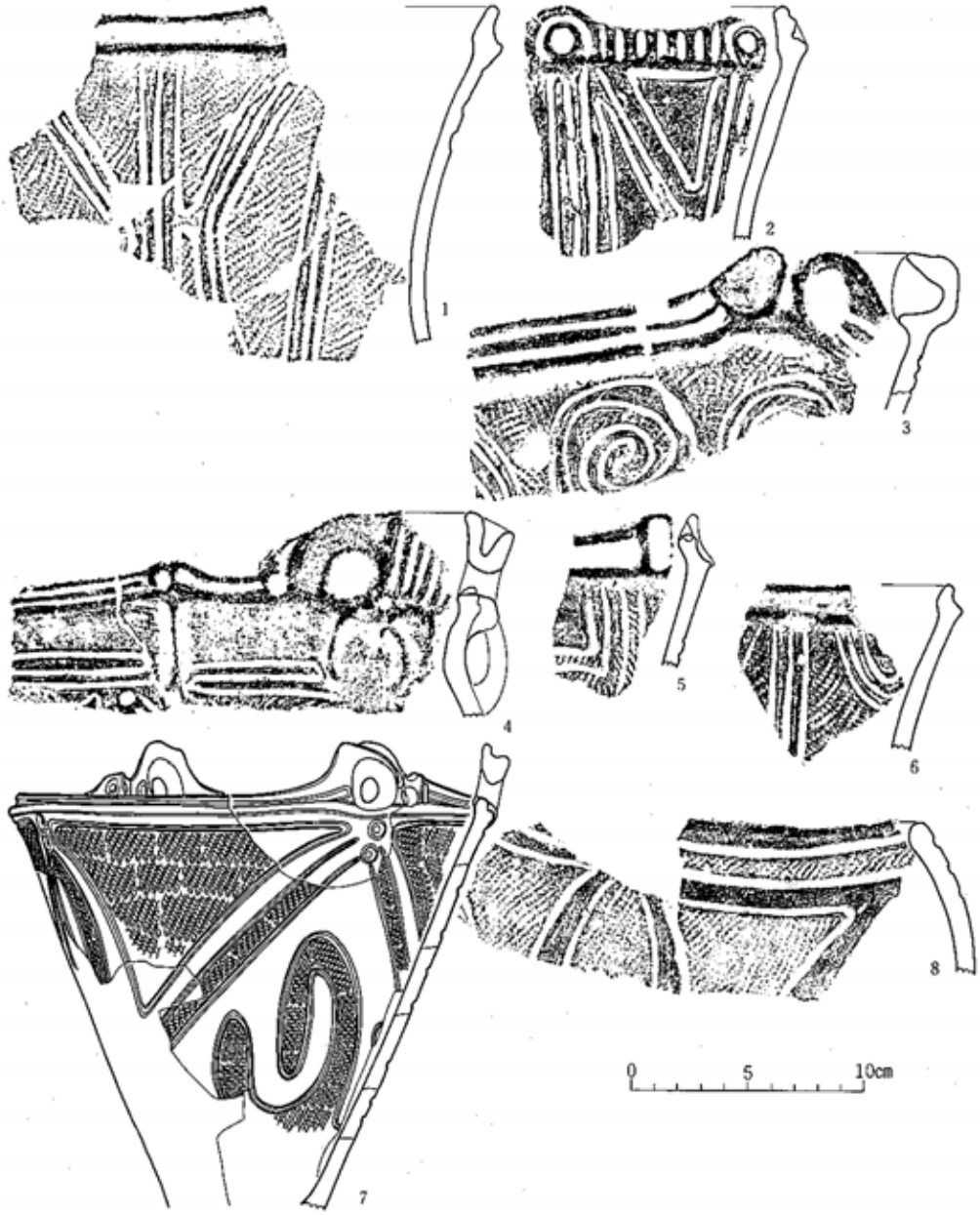
鉢(第169図4・5)

胴下部の破片である。三角文などがみられる。

壺(第169図6)

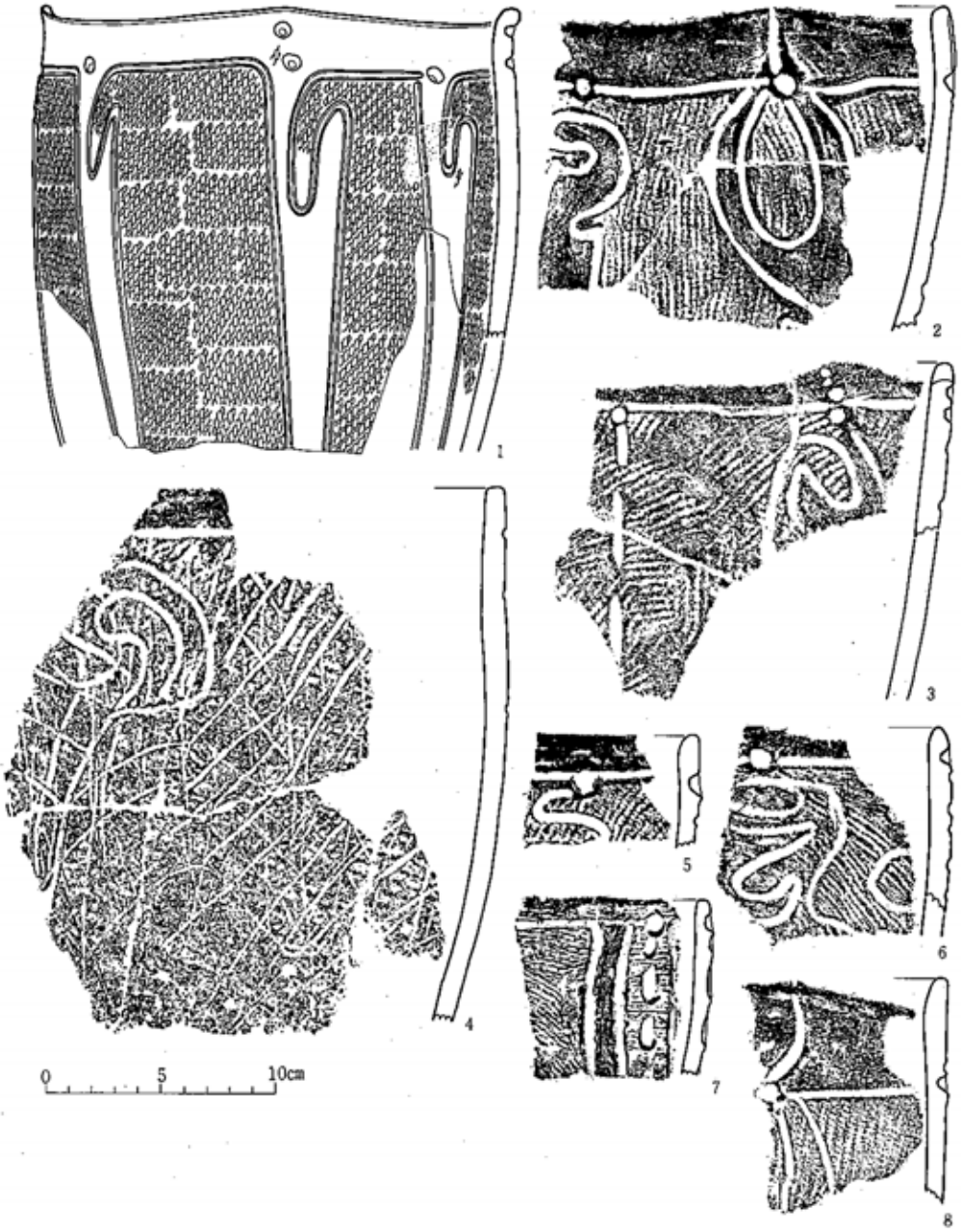
小形の壺と思われる。

《底部資料》(第169図7)



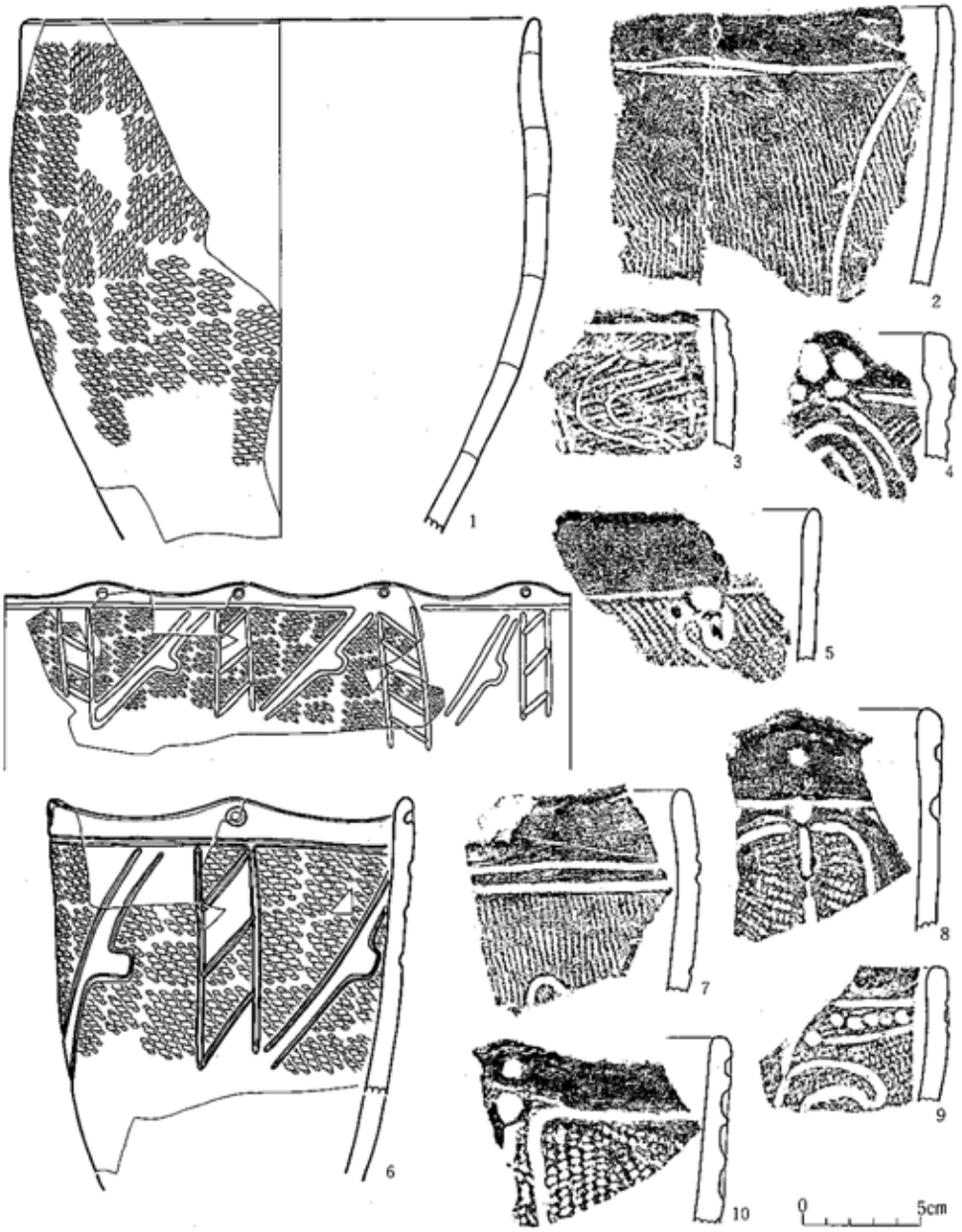
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GK53区，第2下層	深鉢 DⅡb	口縁部から胴部	多条沈線下垂・弧状文，縄文（LR）	Po. 1996	104−21
2	GK56区，第2層	〃 DⅡb	口縁部から胴部	多条沈線鋸線文入下垂・弧状文	Po. 1886	104−22
3	GK56区，第2層	〃 DⅡ	口縁部から胴部	渦文？，縄文（LR）	Po. 1937 Po. 1930	105− 1
4	GK56・57区，第2層	〃 HⅡ	（口縁部）	横位沈線，下垂隆線	Po. 1975	105− 2
5	GK56区，第2層	〃 DⅡb	口縁部から胴部	多条沈線文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 1893	105− 4
6	GK53区，第2下層	〃 DⅡb	口縁部から胴部	多条沈線下垂・弧状文，縄文（RL）	Po. 1869	105− 3
7	GK53区，第2下層	〃 MⅠb	口縁部から胴部	貼入三角文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 219	105− 6
8	GK56区，第2層	〃 Ja	口縁部から胴部	楕円文？，磨消縄文（LR）	Po. 1905	105− 5

第163図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第２層）



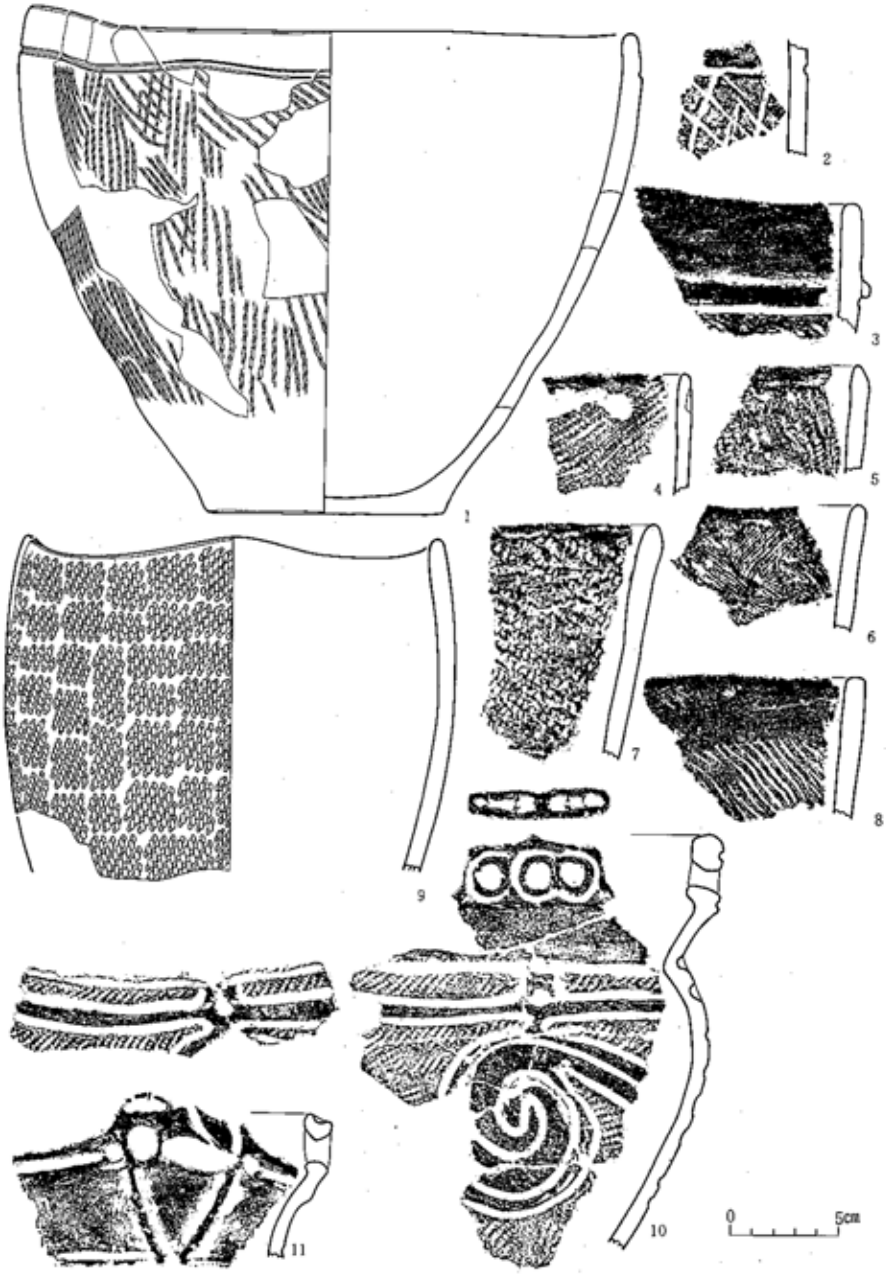
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GK56区，第2層	深鉢 OⅢb₂	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：角状文，磨消縄文（LR）	Po. 220	105−10
2	GK56区，第2層	〃 OⅢb₂	口縁部・胴部	口縁部：弧状沈線，胴部：楕円文，蕨手文，磨消縄文（LR）	Po. 1887	105− 7
3	GK57区，第2層	〃 OⅢb₂	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：蕨手文，破線文，磨消縄文（LR）	Po. 1977	105−11
4	GK57区，第2層	〃 OⅢb₂	胴部	蕨手文，格子状条線	Po. 2001	105−13
5	GK57区，第2層	〃 OⅢb₂	胴部	蕨手文？，縄文（LR）	Po. 1953	105− 8
6	GK53区，第2層	〃 OⅢb₂	胴部	蕨手風似文，磨消縄文（絡糸文R）	Po. 1906	105− 9
7	GK56区，第2層	〃 OⅢb₂	胴部	破線文入平行線文，磨消縄文（絡糸文R）	Po. 1894	105−12
8	GK56区，第2層	〃 OⅢb₂	口縁部・胴部	口縁部：弧状沈線，胴部：区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 1904	105−14

第164図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第２層）



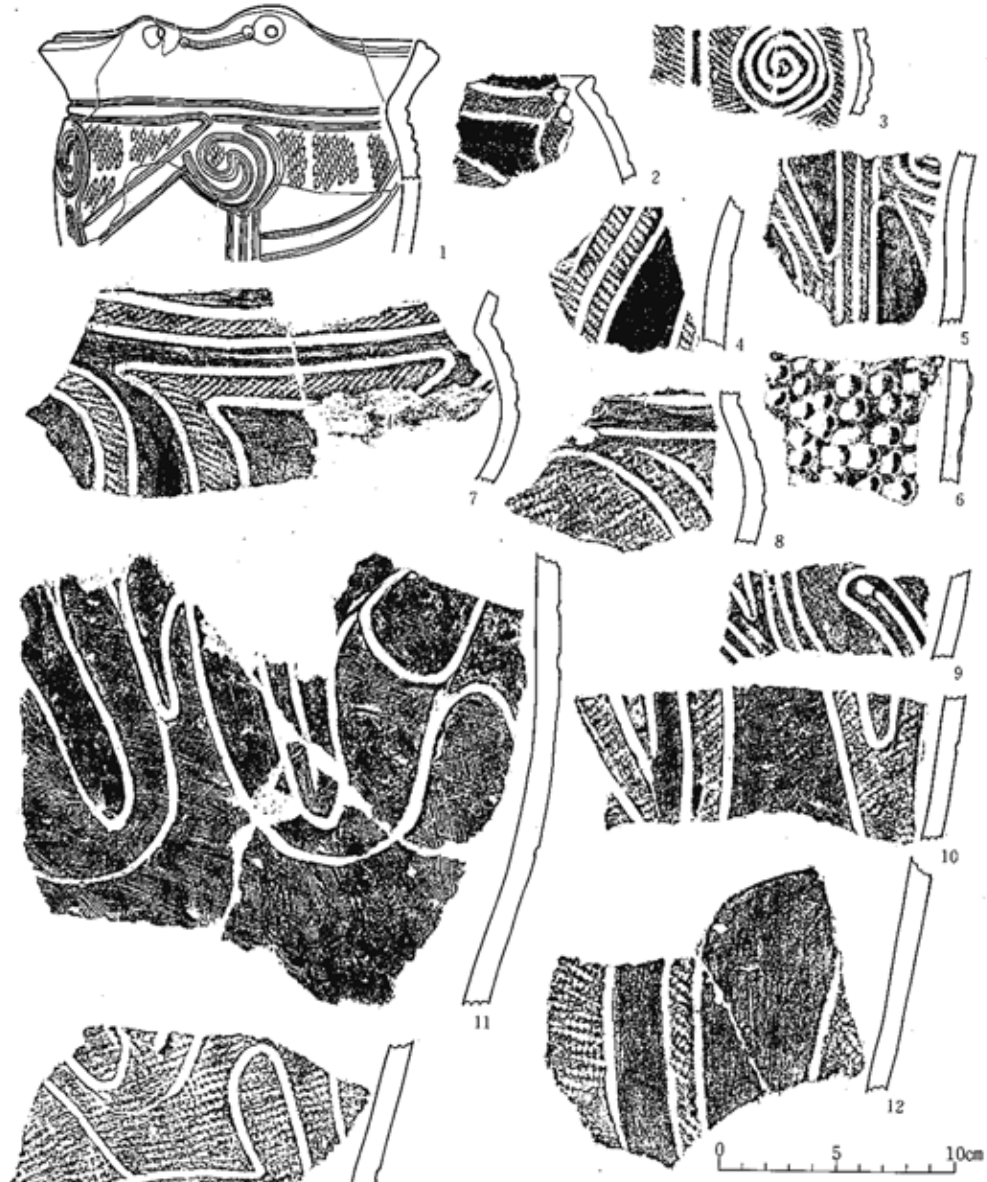
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GK56区，第2層	深鉢 OVb		縄文（LR）	Po. 221	105-15
2	GK56区，第2層	〃 OⅢb₂	胴部	区画沈線，横糸文（R）	Po. 1914	106-1
3	GK53区，第2層	〃 OⅢb₃	胴部	区画沈線，破線文，縄文（LR）	Po. 1864	106-2
4	GK56区，第2層	〃 OⅢb₂	胴部	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 1909	106-4
5	GK56区，第2層	〃 OⅢb₃	胴部	連続「S」字文，縄文（RL）	Po. 1892	106-3
6	GK56区，第2層	〃 OⅢc	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：ハシゴ状文，「トJ字文，磨消縄文（LR）	Po. 222	106-5
7	GK56区，第2層	〃 OⅢ	胴部	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 1915	106-6
8	GK56区，第2層	〃 OⅢ	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：破線文，区画沈線，磨消縄文（RL）	Po. 1940	106-7
9	GK55区，第2下層	〃 OⅢ	胴部	頸部：列点刺突入平行線，胴部：区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 1867	106-8
10	GK57区，第2層	〃 OⅢb₃	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：破線文入平行線文，縄文（RL）	Po. 1947	106-9

第165図　南側遺物包含層出土土器（GK区第2層）



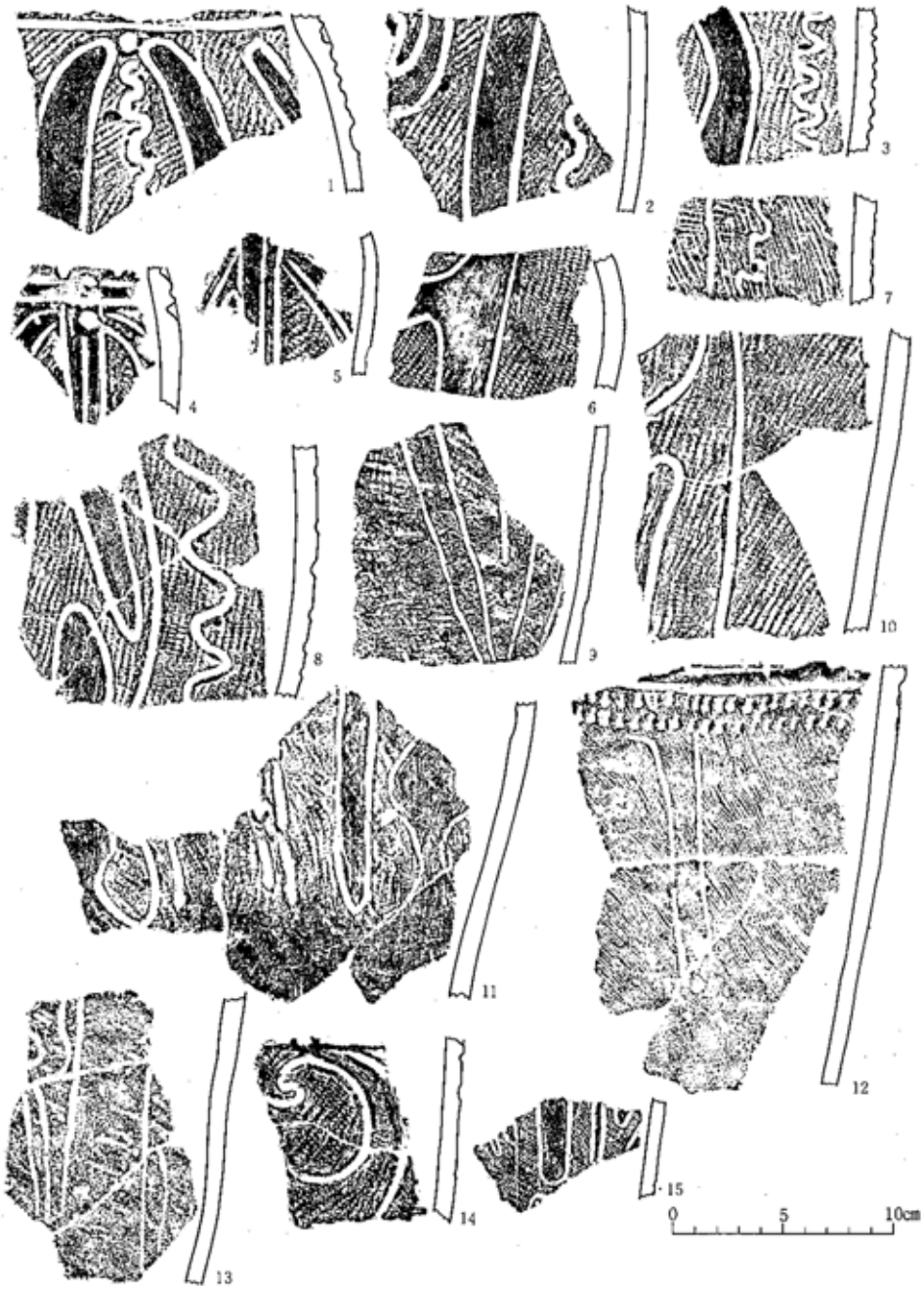
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GK56区，第2層	深鉢 OVa		頸部：沈線，胴部：撚糸文（R）	Po. 223	106−14
2	GK56区，第2層	〃 OVa		頸部：沈線，胴部：斜目状撚糸文（R）	Po. 1885	105−10
3	GK53区，第2下層	〃 OVa		頸部：隆沈線，胴部：撚糸文（R）	Po. 1861	106−11
4	GK56区，第2層	〃 OVb		縄文（LR）	Po. 1943	106−12
5	GK56区，第2層	〃 OVb		縄文（RL）	Po. 1889	106−13
6	GK57区，第2層	〃 OVb		撚糸文（R）	Po. 1966	106−15
7	GK57区，第2層	〃 OVb		縄文（RLR）	Po. 1981	106−17
8	GK56区，第2層	〃 OVb		撚糸文（R）	Po. 1891	105−16
9	GK57区，第2上層	〃 OVb		縄文（LR）	Po. 224	106−19
10	GK56区，第2層	鉢 CIa	（口縁突起部）・胴部	入組渦文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2000	105−21
11	GK56区，第2層	〃 CI	（口縁部）	横位沈線，「V」字隆線	Po. 1888	106−20

第166図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第２層）



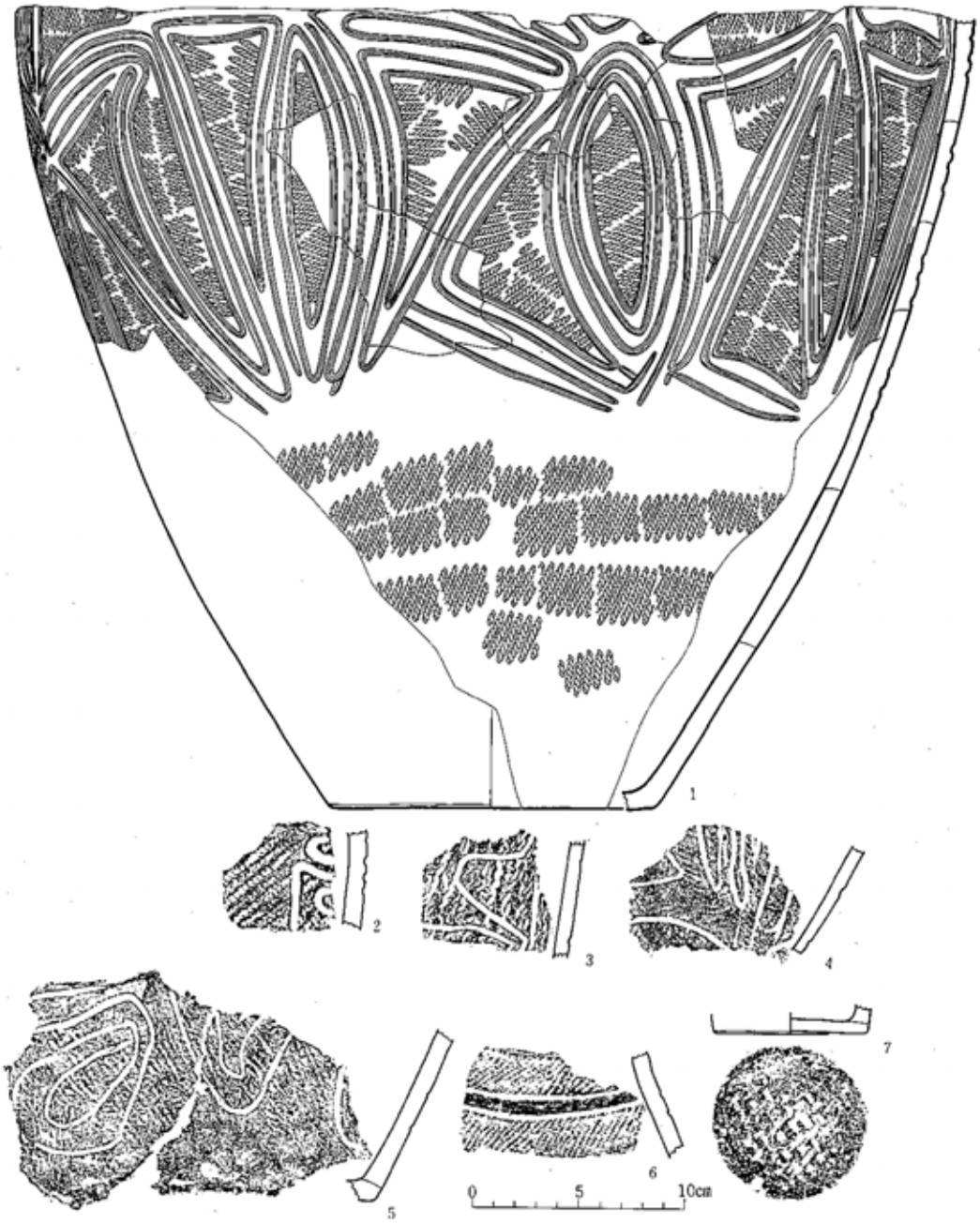
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GK96区，第2層	鉢　C1	口縁部・胴部	口縁部肥厚；横位沈線，胴部；連続渦文，縦消縄文（LR）	Pn. 225	107- 1
2	GK53区，第2層	位不？	胴部	鼎文，磨消（充填）縄文（LR）	Pn. 1858	107- 2
3	GK37区，第2層	鉢類（DBb）	（胴部）	鼎文，縄文（LR）	Pn. 1952	107- 3
4	GK53区，第2下層	〃（DBb）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Pn. 1860	107- 4
5	GK53区，第2層	〃（DBb）	（胴部）	多条沈線文，磨消（充填）縄文（LR）	Pn. 1856	107- 6
6	GK53区，第2下層	〃（BB ）	（胴部上半）	連続刺突文	Pn. 1859	107- 5
7	GK56区，第2層	〃（HBb）	（胴部）	楕円 or 鼎文，磨消（充填）縄文（LR）	Pn. 1972	107- 7
8	GK56区，第2層	〃（HBb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Pn. 1865	107- 8
9	GK37区，第2層	〃（HBb）	（胴部）	横位連続文	Pn. 1949	107-10
10	GK56区，第2層	〃（HBb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Pn. 1884	107- 9
11	GK56区，第2層	〃（HBb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（鼎系文R）	Pn. 1973	107-14
12	GK56区，第2層	〃（HBb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Pn. 1912	107-11
13	GK56区，第2層	〃（HBb）	（胴部）	区画沈線，鼎文（LR）	Pn. 1930	107-13
14	GK37区，第2層	〃（HBb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Pn. 1946	107-12

第167図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第２層）



番号	地区・層位	器形・分類	法量(cm)長・幅	文様の特徴	登録	図版	番号	地区・層位	器形・分類	法量(cm)長・幅	文様の特徴	登録	図版
1	GK36区、第2層	深鉢(HBa)	(断面)	ジグザグ文入隆円文ヲ、磨消縄文(LR)	Po. 1908	107-17	9	GK36区、第2層	深鉢(OBb)	(断面)	結節文入「V」字文ヲ、磨消縄文(LR)	Po. 1898	107-24
2	GK36区、第2層	深鉢(HBa)	(断面)	区画化線、磨消縄文(LR)	Po. 1911	107-18	10	GK36区、第2層	深鉢(OBb)	(断面)	蕨手文、磨消縄文(LR)	Po. 1881	107-23
3	GK36区、第2層	深鉢(HBa)	(断面)	区画化線、ジグザグ文、磨消縄文(LR)	Po. 1903	107-19	11	GK35区、第2層	深鉢(OBa)	(断面)	区画化線、平行線縄文、磨消縄文(LR)	Po. 1971	108-1
4	GK35区、第2下層	深鉢(HBc)	(断面)	区画化線、磨消縄文(LR)	Po. 1853	107-21	12	GK37区、第2層	深鉢(OBb)	(断面)	結節・刺突縄文 胴部：平行線文、磨消縄文(撚糸文主)	Po. 1970	108-2
5	GK33区、第2下層	深鉢(HBc)	(断面)	多条化線文、縄文(RL)	Po. 1965	107-22	13	GK37区、第2層	深鉢(OBb)	(断面)	区画化線、磨消縄文(LR)	Po. 1948	108-3
6	GK33区、第2下層	深鉢(HBa)	(断面)	蕨手文ヲ、磨消縄文(LR)	Po. 1864	107-13	14	GK37区、第2層	深鉢(OBb)	(断面)	蕨手文、磨消縄文(LR)	Po. 1950	108-4
7	GK34区、第2層	深鉢(OBb)	(断面)	ジグザグ文、撚糸文(R)	Po. 1879	107-16	15	GK36区、第2層	深鉢(Oa)	(断面)	区画化線、磨消縄文(LR)	Po. 1899	108-5
8	GK36区、第2層	深鉢(HBa)	(断面)	区画化線、連続「S」字文、磨消縄文(LR)	Po. 1882	107-20							

第168図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第２層）



番号	地区・層位	器形・分部	文様の位置	文様の特徴など	登録	図版
1	GK56区，第2b層	深鉢（HEa）	（胴部）	多条沈線楕円・三角文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 225	108-11
2	GK57区，第2層	〃（OEb）	（胴部）	鉤手文，縄文（LR）	Po. 1951	108-6
3	GK・GL56区，第2層	〃（OE）	（胴部）	区画沈線，蕨巻文（L）	Po. 2203	108-8
4	GK56区，第2層	鉢（C）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 1900	108-7
5	GK53区，第2下層	〃（C）	（胴部）	鉤文，三角文，縄文（LR）	Po. 1997	108-10
6	GK53区，第2下層	壺？	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 1863	108-9
7	GK55区，第2層			底部：網代痕	Po. 1913	—

第169図　南側遺物包含層出土土器（ＧＫ区第２層）

底面に網代痕がみられる。

ＧＪ列（ＧＪ53・54、56・57区）

第３層出土土器

《口縁部資料》

深鉢(第170図～第174図9)

ａ、第170図1・2：頸部が「く」字状にくびれる器形である。口縁部は外傾して端部が段を成す。突起がみられる。1には窓の開いた山形の突起が3個つき、口縁部は無文、胴部に楕円と三角文を連続させた文様が6単位施文されている。

ｂ、第170図3：頸部が緩やかにくびれる器形である。口縁部は外反し、肥厚した山形突起がつく。頸部は沈線で画され、口縁部が無文、胴部縄文である。

ｃ、第170図4：口縁部が内傾する器形である。突起がつくものと思われる。頸部に稜がつき、胴上部は直線的に外傾する。胴部にジグザグ文がみられる。

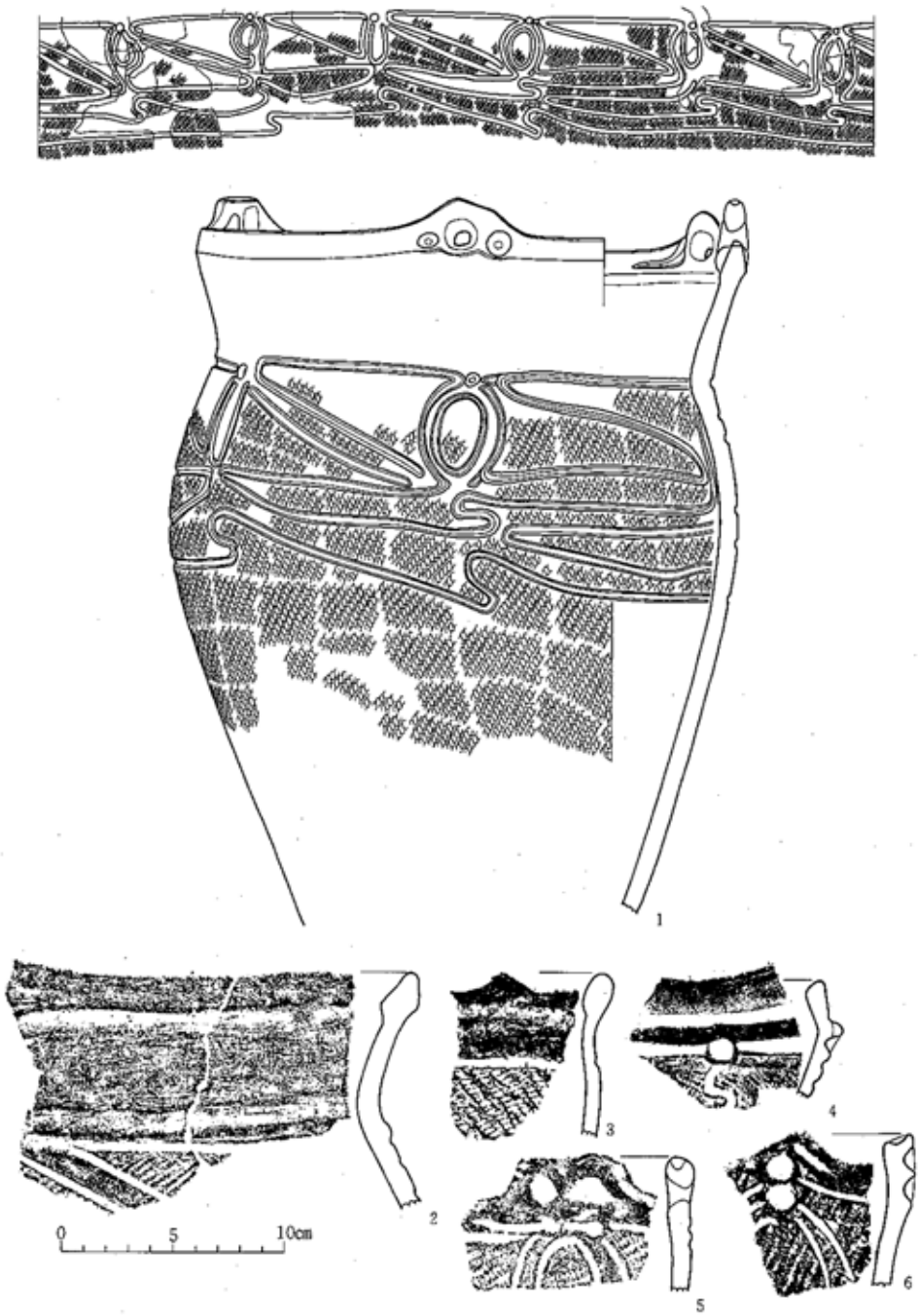
ｄ、第170図5・6、第171図2：口縁部から胴部まで直線的に外傾する器形である。口縁端部は削がれたように三角を成し、窓の開いた突起がつく。第171図2の突起は大小一対となっている。いずれも口縁部は無文、胴部に楕円文が施文されており、2 では下端で横に連絡されている。

ｅ、第171図1、第172図～第174図8：口縁部・胴部がわずかな脹みをもって立ち上がる器形である。山形小突起をもつものが多い。第171図1、第172図、第173図1～13・15は胴部に文様がみられ、また突起がつくものでは、口縁部の突起下に限って盲孔、沈線などがみられる。胴部文様は、縦位平行線の上部が肥大して「∪」字状、蕨手文、蕨手類似の文様を成すもの、単に下垂する破線文、ジグザグ文などが施文されている。また第173図4は単位は不明であるが、幅広い文様と思われる。第173図15には多条沈線による対称の弧状文がみられる。

第173図14、第174図1～8は口縁部、胴部が地文あるいは無文である。第173図14、第174図1～4は沈線や隆線で頸部を画し、1ではその一部が入組む渦を成す。

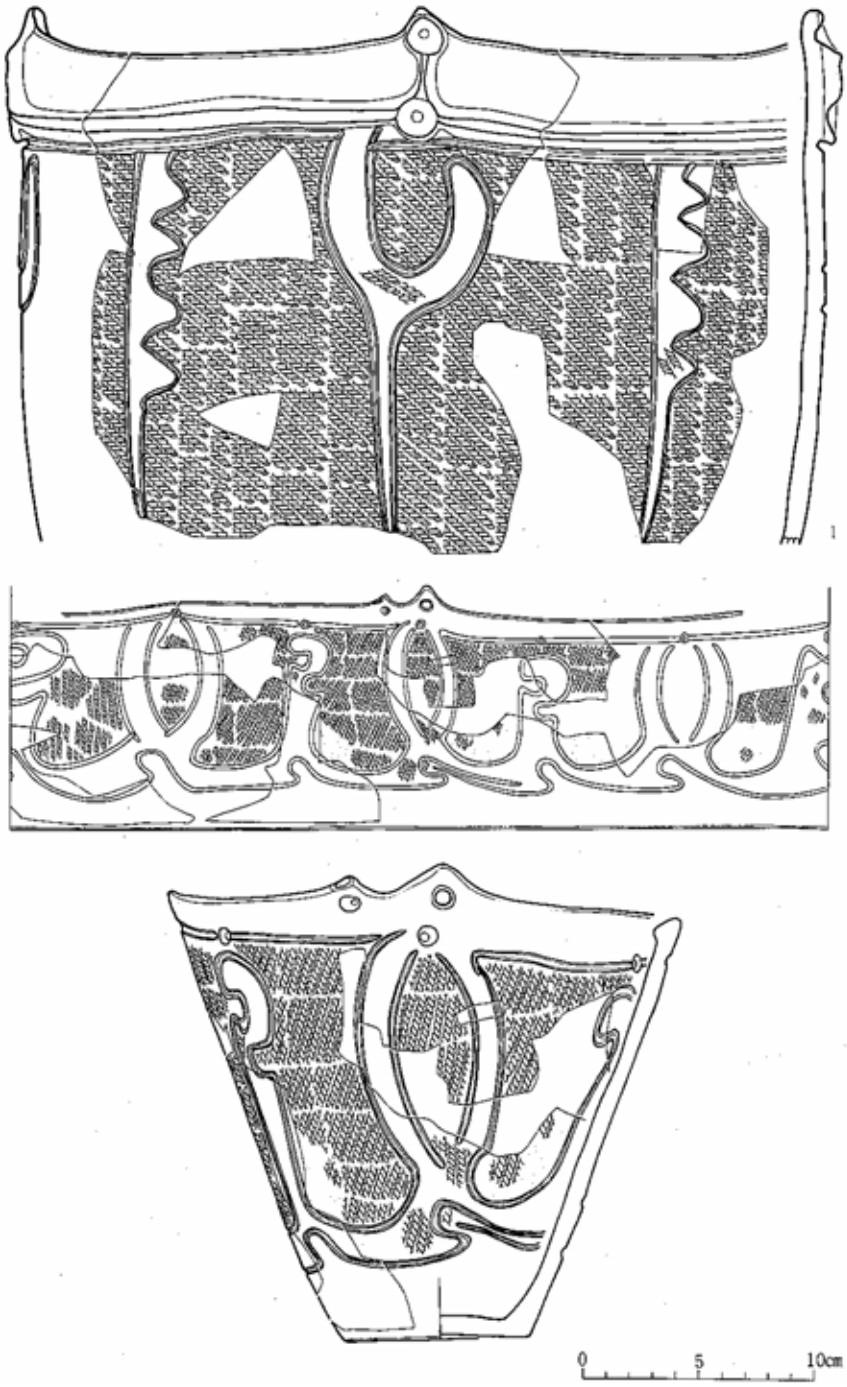
鉢(第174図9～11、第175図1)

頸部が「く」字状を呈する。口縁部は外反・外傾し、端部が肥厚して 9・11・1 は段を形成する。9・11には窓の開いた大小一対の突起がつき、1は突起部を欠くが、その下に橋状把手がつく。9～11の胴部文様は明らかでない。第175図1には胴部に角ばった渦文が施文されている。



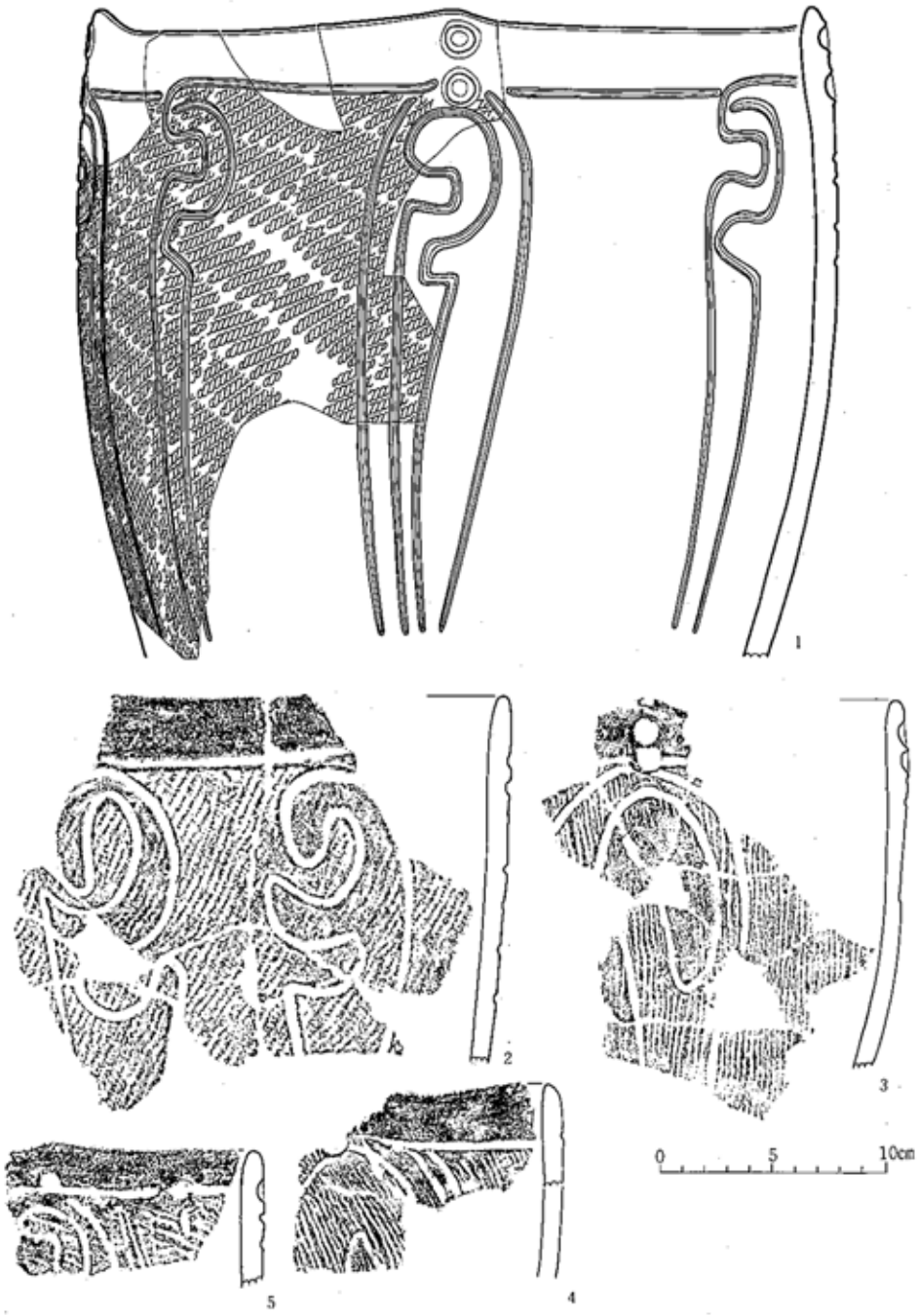
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GJ57区，第3b層	深鉢 HIIb	胴部	楕円入菱形文，縄文（LR）	Po. 227	109－1
2	GJ56区，第3層	〃 HIIb	胴部	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2065	109－2
3	GJ57区，第3b層	〃 GIIb		頸部：沈線，胴部：縄文（LR）	Po. 2101	109－3
4	GJ57区，第3b層	〃 L	胴部	ジグザグ文，縄文（LR）	Po. 2096	109－6
5	GJ57区，第3層	〃 MII	胴部	楕円文？，磨消縄文（LR）	Po. 2082	109－4
6	GJ57区，第3b層	〃 MII	胴部	楕円文？，磨消縄文（LR）	Po. 2103	109－5

第170図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第３層）



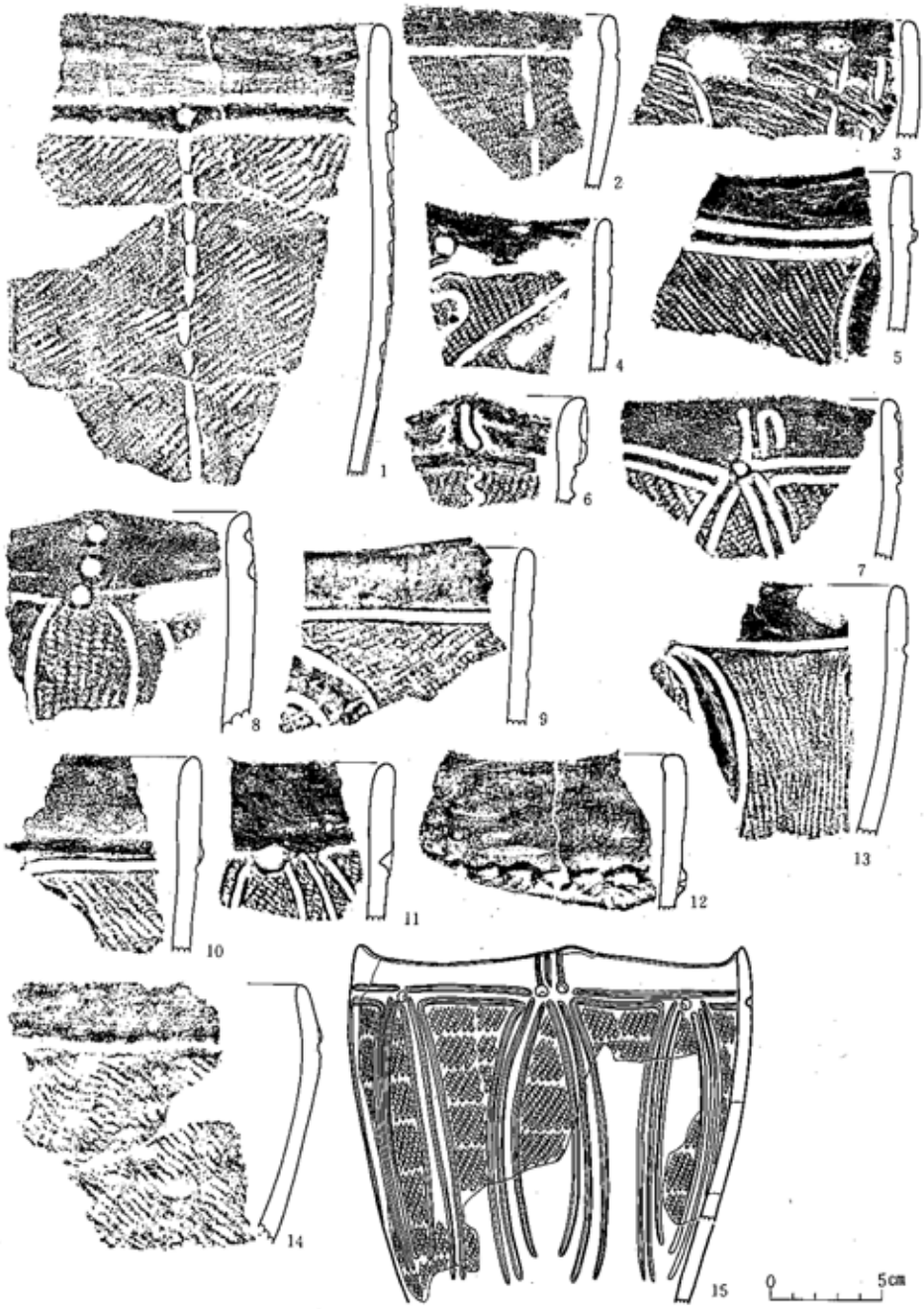
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GJ56区，第3層	深鉢 OIIIb₂	口縁部・胴部	口縁部：下垂隆帯，胴部：「U」字文，磨消縄文（LR）	Po. 228	109－8
2	GJ57区，第3b層	〃 MII	胴部	楕円文，磨消縄文（LR）	Po. 229	109－7

第171図　南側遺物包含層出土土器（GJ区第3層）



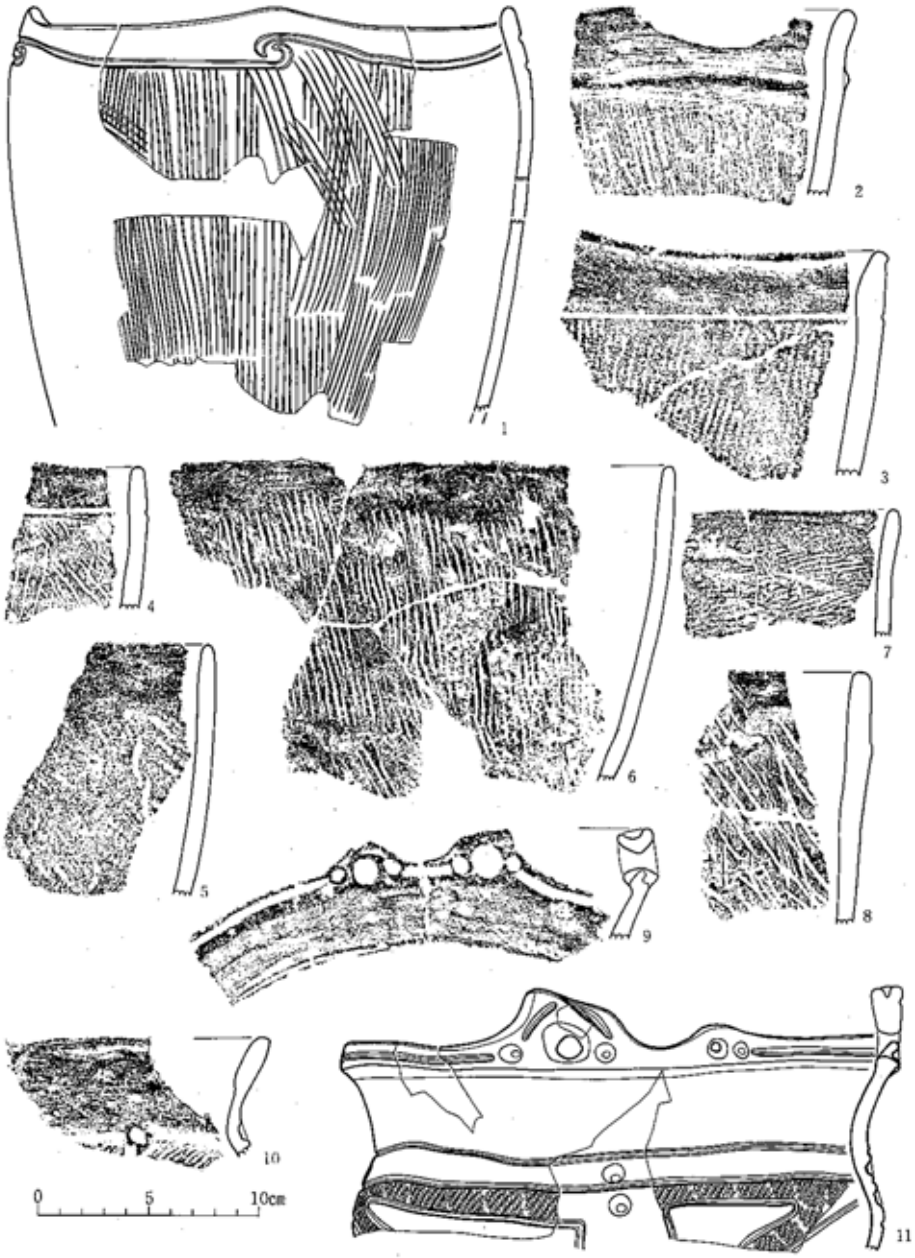
番号	地区・層位	部形・分類	文様の位置	文　様　の　特　徴	登　録	図版
1	GJ57区，第3b層	深鉢　Ⅰ類b_2	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：蕨手文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 230	109—10
2	GJ57区，第3b層	〃　Ⅰ類b_2	胴部	蕨手文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2117	109—9
3	GJ56区，第3層	〃　Ⅰ類b_1	口縁部・胴部	（同一個体）蕨手状似文，磨消縄文（結糸文Ｒ）	Po. 2118	110—1
4	GJ56区，第3層				Po. 2120	110—3
5	GJ56区，第3層	〃　Ⅰ類b_1	胴部	蕨手文，横線文，磨消縄文（結糸文Ｒ）	Po. 2057	110—2

第172図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第３層）



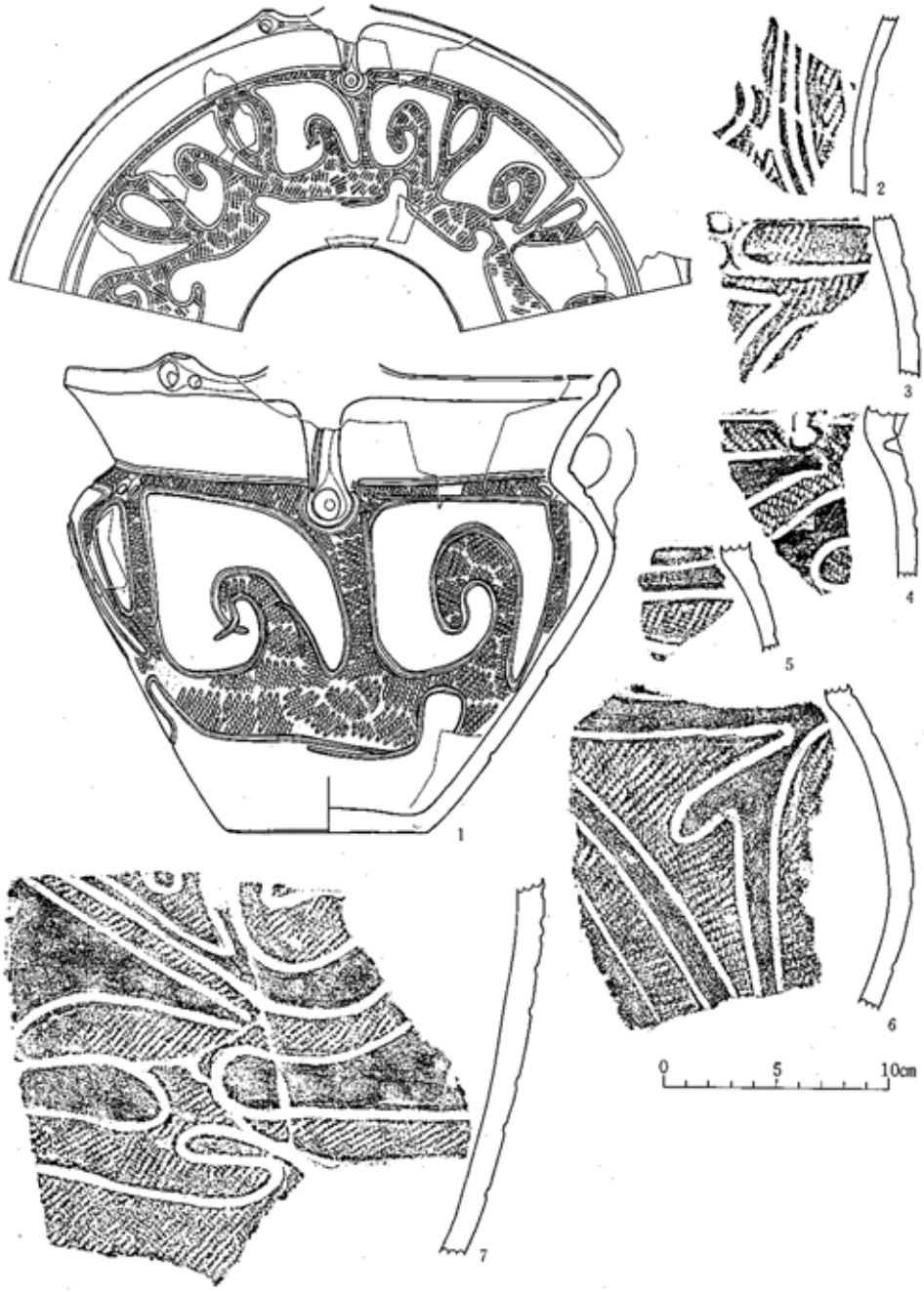
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版	番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GJ59区、第3b層	深鉢 OB_{1a}	胴部	縦形：結束線、胴部：斜縄文、縄文(LR)	Po. 2133	110−11	9	GJ56区、第3層	深鉢 OB_{1a}	胴部	区画沈線、磨消縄文(LR)	Po. 2064	113−12
2	GJ57区、第3層	〃 OB_{1a}	胴部	斜縄文、縄文(LR)	Po. 2083	110− 5	10	GJ59−67区、第3b層	〃 OB_{1}	胴部	結束：隆沈線、胴部：沈線、縄文(LR)	Po. 2070	110−13
3	GJ56区、第5層	〃 OB_{1b}	胴部	区画沈線、平行斜縄文、跳糸文(L)	Po. 2043	110− 4	11	GJ57区、第3b層	〃 OB_{1}	胴部	沈線、縄文(LR)	Po. 2099	110−10
4	GJ57区、第3層	〃 OB_{1}	胴部	向行沈線、連続「S」字文、縄文(RL)	Po. 2083	113− 6	12	GJ66−67区、第3b層	〃 OB_{1}	胴部	結束：連続状結線、胴部：沈線	Po. 2110	110−17
5	GJ56区、第3層	〃 OB_{1b}	胴部	結束：隆沈線、胴部：三角沈線、磨消縄文(LR)	Po. 2148	110− 7	13	GJ56区、第3層	〃 OB_{1a}	胴部	楕円文？、磨消縄文(RL)	Po. 2068	110−14
6	GJ59区、第3層	〃 OB_{1a}	口縁部？ 胴部	口縁部：連続沈線 胴部：アナダラ文、縄文(LR)	Po. 2149	110− 8	14	GJ56区、第3層	〃 OB_{1a}		結束：隆沈線、胴部：縄文(LR)	Po. 2063	113−15
7	GJ56区、第3層	〃 OB_{1b}	口縁部？ 胴部	口縁部：連続沈線 胴部：区画沈線、磨消縄文(RL)	Po. 2045	110− 9	15	GX54区、第3a層	〃 OB_{1a}	口縁部？ 胴部	多条沈線装飾文	Po. 231	113−19
8	GJ59区、第3層	〃 OB_{1a}	口縁部？ 胴部	口縁部：重ね 胴部：縄文下？、磨消縄文(LR)	Po. 2079	110−10							

第173図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第３層）



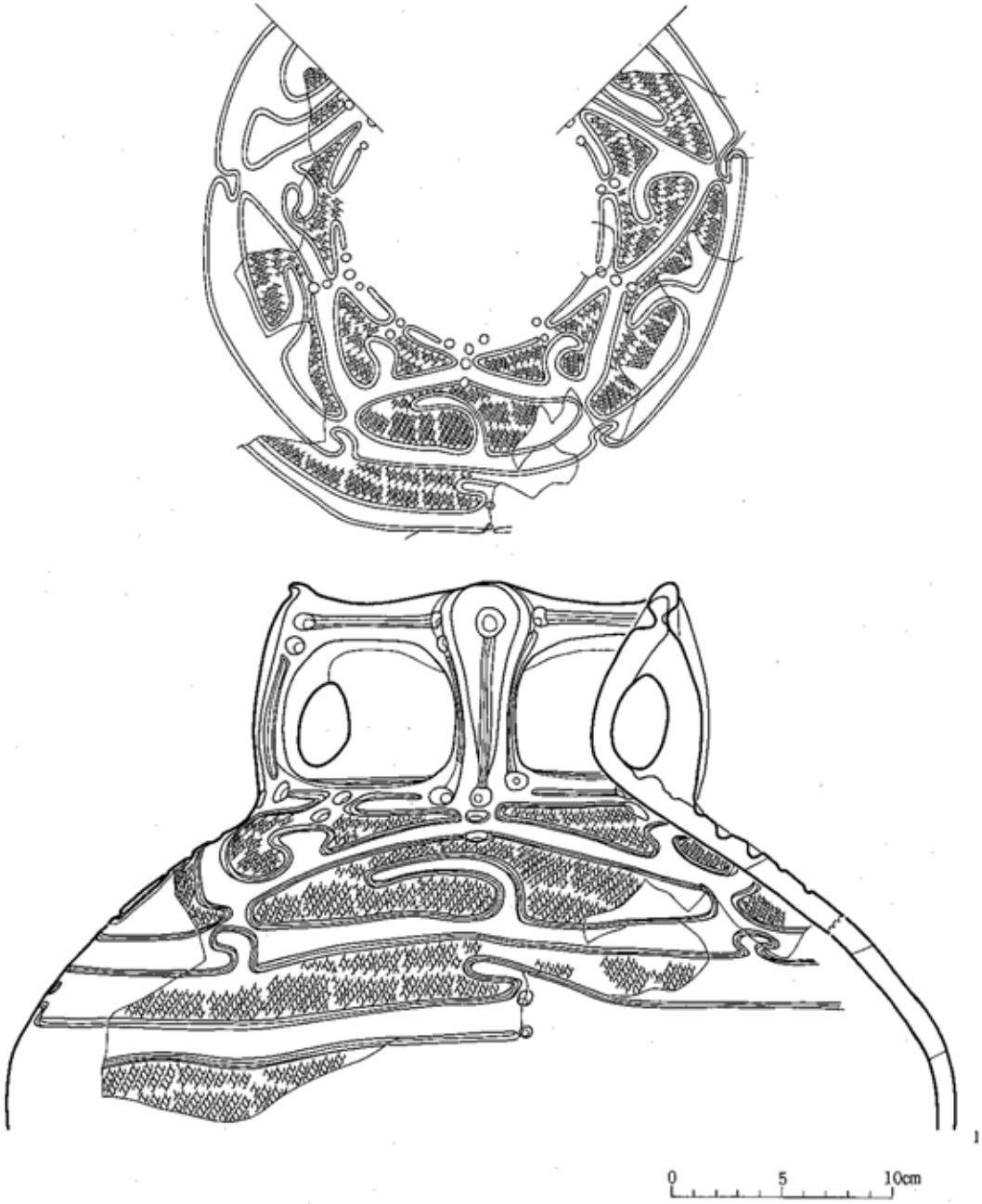
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GJ57区，第3b層	深鉢 OVa		頸部：沈線，突起部で入組鋸文，胴部：捩曲状沈線	Po. 232	110−20
2	GJ57区，第3b層	〃 OVa		頸部：隆線，胴部：条線	Po. 2150	110−21
3	GJ56区，第3層	〃 OVa		頸部：沈線，胴部：縄文（LR）	Po. 2043	110−18
4	GJ56区，第3層	〃 OVa		頸部：沈線，胴部：撚糸文（R）	Po. 2059	111− 1
5	GJ56区，第3層	〃 OVb		綾絡文（L），縄文（RL）	Po. 2143	−
6	GJ56区，第3b層	〃 OVb		撚糸文（R）	Po. 2116	111− 3
7	GJ56区，第3層	〃 OVb		撚糸文（R）	Po. 2144	111− 2
8	GJ57区，第3b層	〃 OVb		撚糸文（R）	Po. 2104	111− 4
9	GJ57区，第3層	鉢 CI	（口縁刻部）	横位沈線	Po. 2113	111− 6
10	GJ57区，第3b層	〃 CI	（胴部）	沈線，縄文（LR）	Po. 2100	111− 5
11	GJ57区，第3b層	〃 CI	口縁部・胴部	口縁（端）部：横位沈線，胴部：区画沈線，撚糸（充填）縄文（LR）	Po. 233	111− 7

第174図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第３層）



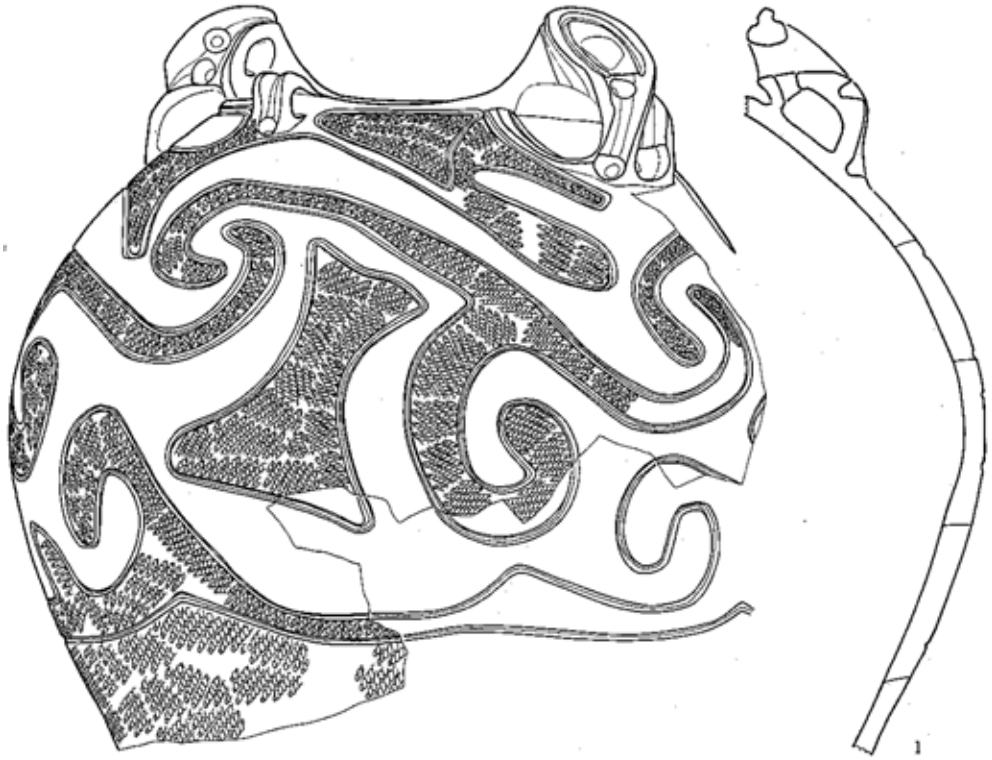
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GJ56・57区，第3層	鉢　CIb	胴部	縄文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 234	111－8
2	GJ56区，第3層	深鉢（DIIb）	（胴部）	多条沈線文，縄文（LR）	Po. 2056	111－9
3	GJ56区，第3層	〃（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2049	111－11
4	GJ57区，第3b層	〃（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（RL）	Po. 2090	111－10
5	GJ56区，第3層	〃（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2042	111－12
6	GJ56区，第3層	〃（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2066	111－13
7	GJ57区，第3b層	〃（HIIb）	（胴部）	入組縄文？，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2114	111－15

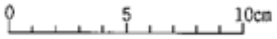
第175図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第３層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GJ56・57区，第3層	鉢 A	胴部	高入三角文，磨消縄文（LR）	Po. 235	111-14

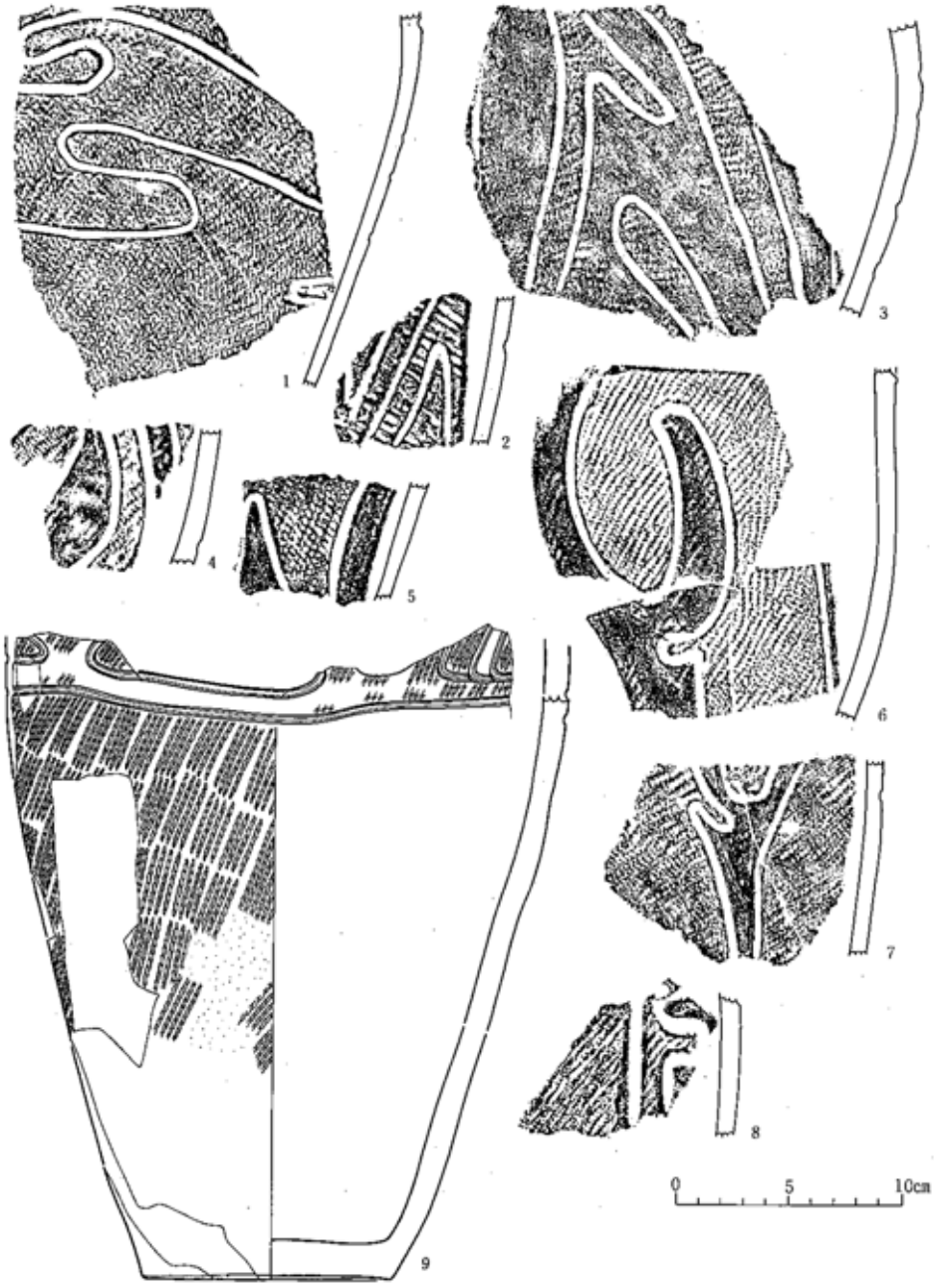
第176図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第３層）





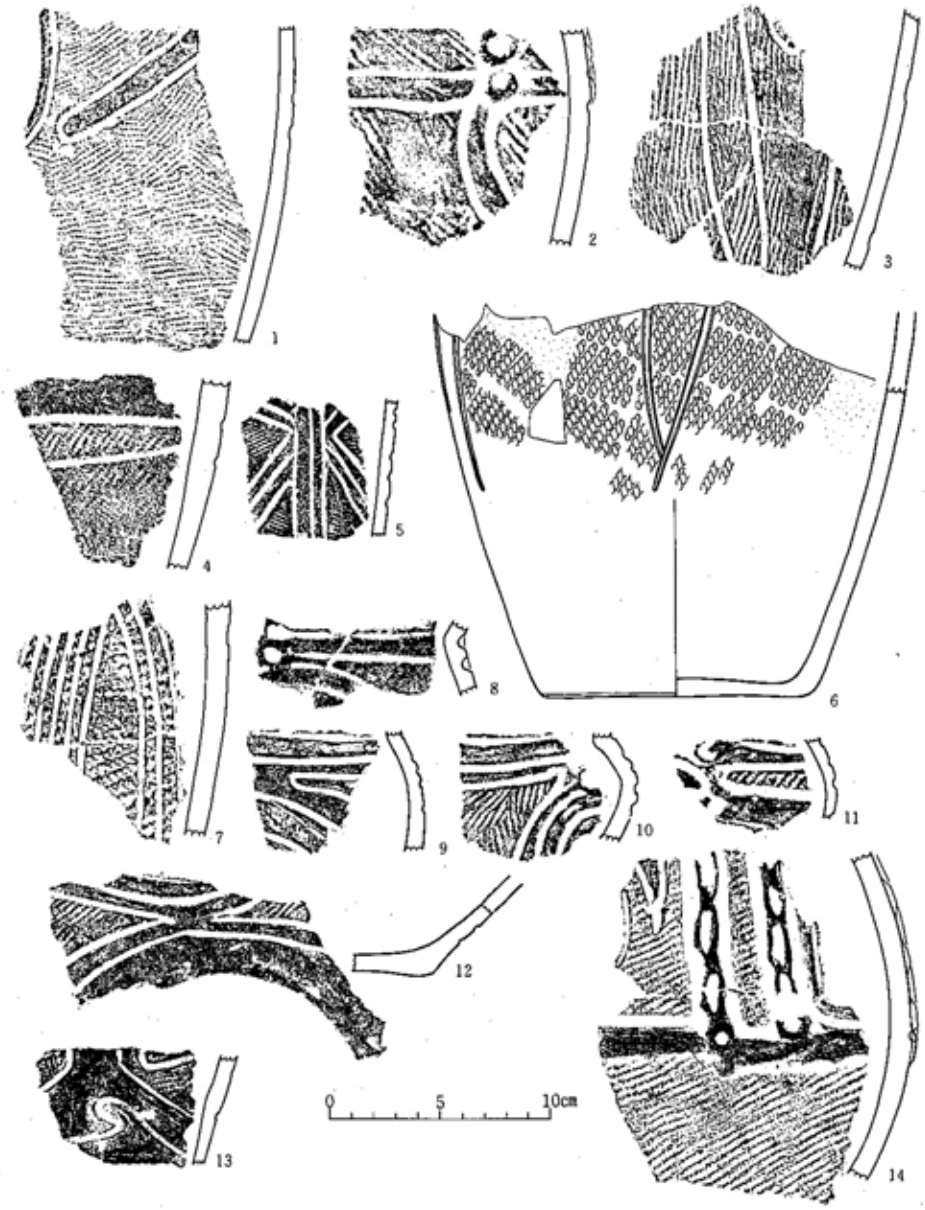
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GJ57区，第3b層	壺 A	胴部	入組渦文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 236	112－1
2	GJ57区，第3b層	〃 BBb	肩部	蕨状文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 237	112－2

第177図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第３層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GJ57区，第3b層	深鉢（HⅡb）	（胴部）	反転沈線，縄文（LR）	Po. 2115	112－6
2	GJ56区，第3層	〃（HⅡb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（L）	Po. 2055	112－10
3	GJ56区，第3層	〃（HⅡb）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2119	—
4	GJ56区，第3層	〃（HⅡb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2046	112－13
5	GJ56区，第3層	〃（H or O）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2047	112－14
6	GJ57区，第3b層	〃（OⅡb$_1$）	（胴部）	「U」字文，磨消縄文（LR）	Po. 2132	—
7	GJ57区，第3b層	〃（OⅡb$_2$）	（胴部）	「U」字 or 楕円文，磨消縄文（LR）	Po. 2094	112－19
8	GJ57区，第3b層	〃（OⅡb$_3$）	（胴部）	波手文，磨消縄文（LR）	Po. 2091	112－9
9	GJ57区，第3b層	〃（OⅡa）	（胴部上半）	方形区画文？，磨消縄文（撚糸文R）	Po. 238	112－17

第178図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第３層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文　様　の　特　徴	登　録	図版
1	GJ57区，第3b層	深鉢（OⅢc）	（胴部）	楕円？＋斜行線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2087	112－3
2	GJ56区，第3層	〃（O？）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2050	112－4
3	GJ56区，第3層	〃（OⅢb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（撚糸文Ｒ）	Po. 2061	112－5
4	GJ56区，第3層	〃（HorO）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 2064	112－8
5	GJ57区，第3b層	〃（HorO）	（胴部）	多条沈線文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2092	—
6	GJ57区，第3層	〃（OⅢb）	（胴部）	平行沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 239	113－1
7	GJ57区，第3b層	〃（HorO）	（胴部）	多条沈線文，縄文（ＬＲ）	Po. 2095	112－12
8	GJ57区，第3b層	鉢（CⅠ）	（胴部）	区画沈線	Po. 2089	112－7
9	GJ57区，第3層	〃（CⅠ）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（ＲＬ）	Po. 2056	112－11
10	GJ57区，第3層	〃（CⅠ）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 2108	112－15
11	GJ56区，第3層	〃（CⅠ）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 2053	112－16
12	GJ57区，第3b層	〃（CⅠ）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2109	—
13	GJ57区，第3b層	〃（CⅠ）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 2066	112－18
14	GJ57区，第3b層	壺（BⅢ）	（胴部上半）	連続状隆線・沈線文下端，横位隆沈線，縄文（ＬＲ）	Po. 2131	113－5

第179図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第３層）

壺(第 176 図、第 177 図)

a、第 176 図、第 177 図 1：大形の壺である。第 176 図は口縁部が外反して 4 個の橋状把手がつく。胴部は肩が張り、上半に渦入三角文が施文されている。第 177 図 1 は口縁部を欠き、胴部は球状で上端部に大形の橋状把手が 2 個、その中間に小形の把手が 2 個つく。文様は胴部のほぼ全体にみられ、渦の張り出した入組渦文が施文されている。

b、第 177 図 2：小形の壺である。頚部は緩やかにくびれて口縁部が長く外反する。胴部は中位に稜がついて上半が内傾、下半が外傾し、算盤珠状を呈する。頚部の孔と胴中位の把手が対になって 2 カ所につく。口縁部は無文、胴部中・上位に文様がみられ、把手から頚部の孔に平行隆線がのびて文様帯を区切り、渦文が 2 単位施文されている。

《胴部資料》

深鉢(第 175 図 2～7、第 178 図、第 179 図 1～7)

a、第 175 図 2：胴部中位がくびれてそれ以上が外反する器形と思われる。多条沈線文様がみられる。

b、第 175 図 3～7、第 178 図 1～4：頚部が「く」字状にくびれる器形と思われる。横位に展開する文様が描かれている。

c、第 178 図 6～9、第 179 図 1～3・6：口縁・胴部がわずかに脹みをもって立ち上がる器形と思われる。第 178 図 9 は胴部上半に方形区画文が、同図 6～8、第 179 図 3・6 は縦に細長い「U」字文、蕨手文などが、第 179 図 1 は縦位の幅広い単位の文様がみられる。

第 178 図 5、第 179 図 2・5・7 は器形が判然としない。

鉢(第 179 図 8～13)

頚部が「く」字状を呈する器形と思われる。小片のため文様単位は不明である。

壺(第 179 図 14)

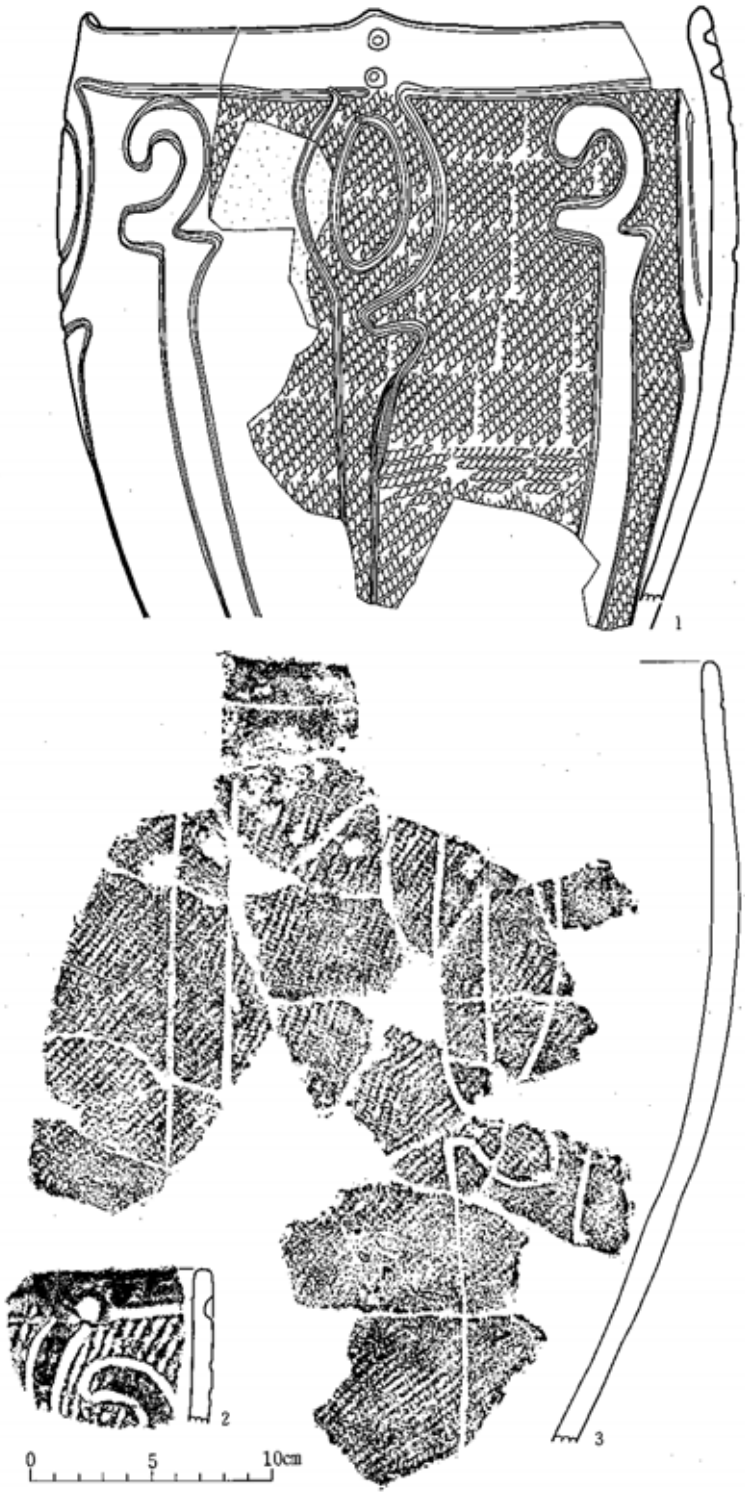
小形の壺である。胴部上半に縦位の平行連鎖状隆線によって区切られた文様がみられる。

第２層出土土器

《口縁部資料》

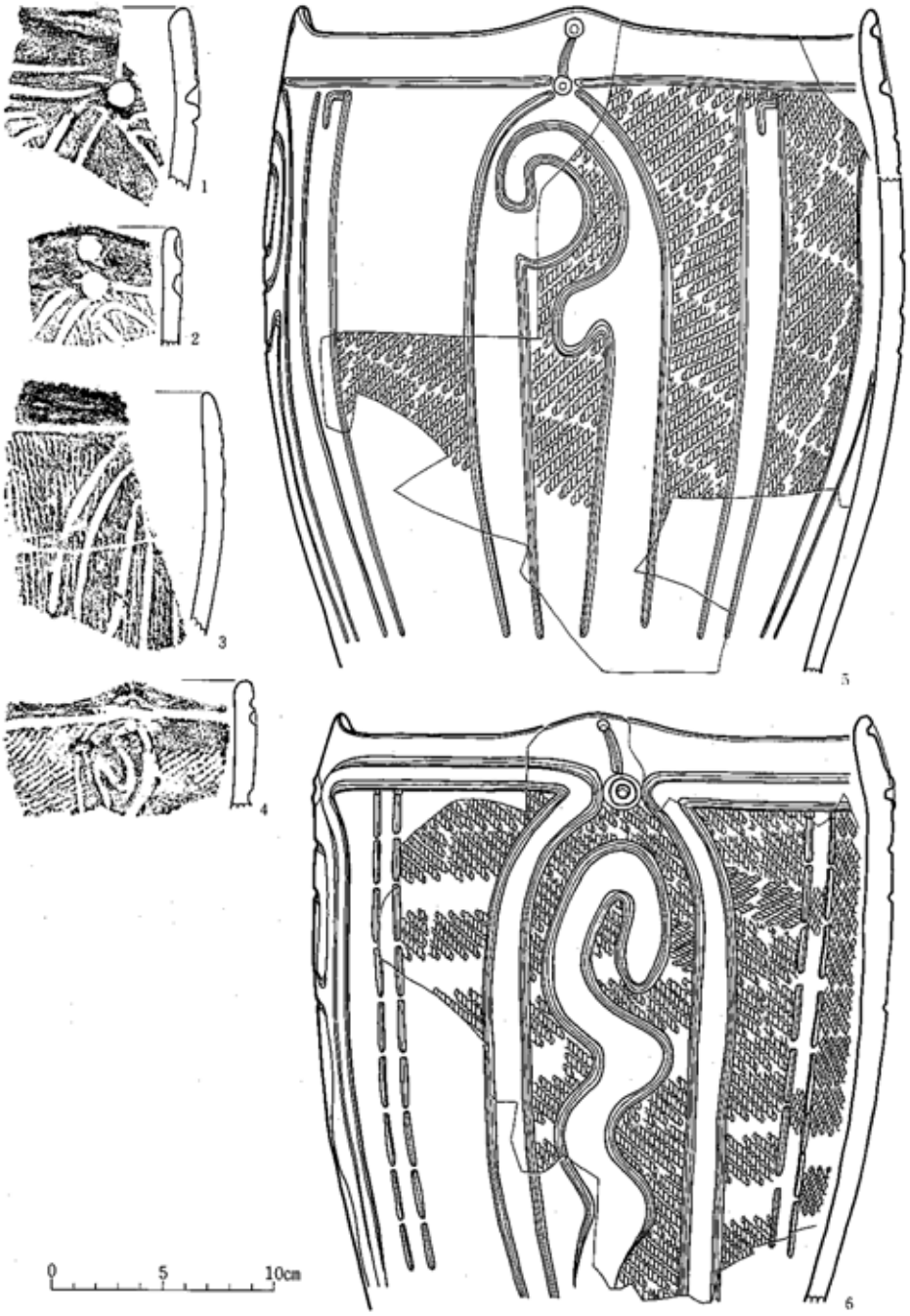
深鉢(第 180 図～第 181 図)

いずれも口縁部・胴部がわずかな脹みをもって立ち上がる器形である。第 180 図、第 181 図、第 182 図 1・2・4・6・9 は胴部に縦位の細長い文様が描かれ、平行線の上部が肥大した「U」字文、蕨手文などと、単に下垂する破線文などがみられる。第 182 図 3・8 は幅の広い単位で、8 には三角文を連続させている。同図 5 は胴部文様の有無が不明、7・9 は口縁部無文、胴部縄文で頚部が沈線、列点刺突で画されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	遺構	図版
1	GJ36・37区、第2層	深鉢 Q3b₂	口縁部・胴部	口縁部：首孔、胴部：楕円文、鎖手文、磨消縄文（LR）	Po. 240	113－9
2	GJ36区、第2層	〃 Q3b₂	胴部	楕円or「U」字文、磨消縄文（LR）	Po. 2025	113－2
3	GJ37区、第2層	〃 Q3b₂	胴部	鎖手文、磨消縄文（LR）	Po. 2129	113－7

第180図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第２層）

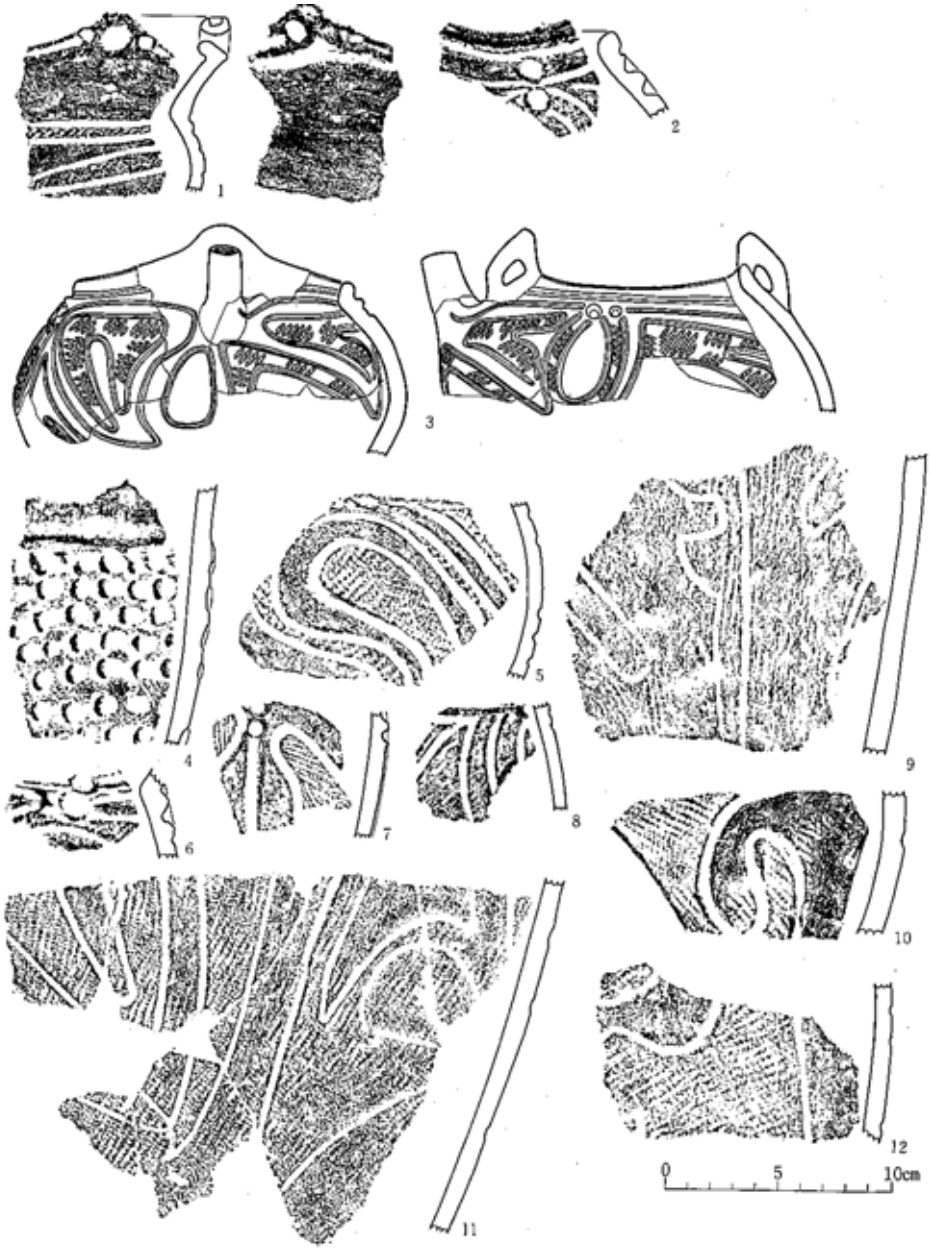


番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GJ56区，第2層	深鉢 Ob$_3$	胴部	楕円文？，磨消縄文（LR）	Po. 2037	113－3
2	GJ56区，第2層	〃 Ob$_3$	胴部	楕円文？，磨消縄文（撚糸文R）	Po. 2027	113－6
3	GJ56区，第2層	〃 Ob$_3$	胴部	波手状沿文，磨消縄文（撚糸文R）	Po. 2018	113－8
4	GJ56・57区，第2層	〃 Ob$_3$	胴部	波手文，磨消縄文（LR）	Po. 2134	113－10
5	GJ57区，第2層	〃 Ob$_3$	口縁部・胴部	口縁部：弧状沈線，胴部：波手文，磨消縄文（LR）	Po. 241	113－4
6	GJ56・57区，第2層	〃 Ob$_3$	口縁部・胴部	口縁部：弧状沈線，胴部：波手状沿文	Po. 242	114－1

第181図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第２層）

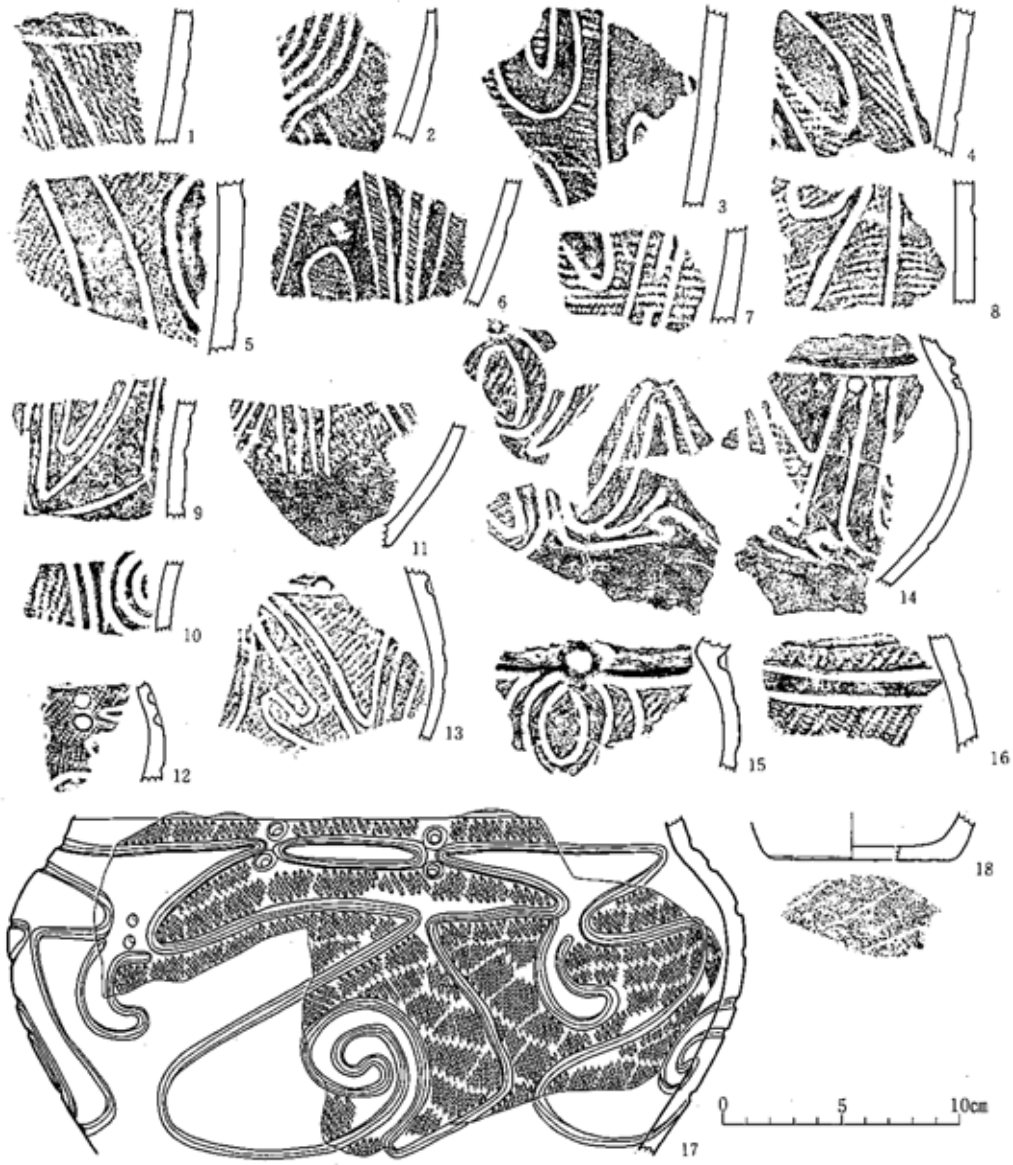
番号	地区・層位	器種・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GJ51C, 第2層	深鉢 OBb₁	口縁部・胴部	口縁部：結孔，胴部：素手文，磨消縄文（LR）	Po. 243	114－2
2	GJ51C, 第2層	〃 OBb₁	胴部	低隆文，撚糸文（R）	Po. 2077	114－3
3	GJ54C, 第2下層	〃 OBc	胴部	斜行低線，撚糸文（R）	Po. 2140	114－4
4	GJ51C, 第2層	〃 OBb₁	胴部	楕円文？，磨消縄文（LR）	Po. 2076	114－5
5	GJ54C, 第2層	〃 OB	胴部	沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2026	114－7
6	GJ51C, 第2下層	〃 OBb₁	口縁部・胴部	口縁部：下端沈線，胴部：縄手文	Po. 2011	114－8
7	GJ54C, 第2層	〃 OVa		胴部：沈線，胴部：縄文（R）	Po. 2019	114－6
8	GJ51C, 第2層	〃 OBc	口縁部・胴部	口縁部：沈線直線，胴部：三角文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 243	114－10
9	GJ54C, 第2層	〃 OBb₁	胴部	楕円文？，磨消縄文（RL）	Po. 2128	114－11
10	GJ51C, 第2層	〃 OVa		胴部：円孔刺突，胴部：縄文（LR）	Po. 2125	114－13

第182図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第２層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文　様　の　特　徴	登　録	図版
1	GJ57区，第2層	鉢　C1	胴部	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2072	114−14
2	GJ53区，第2下層	注口？	胴部	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2012	114−17
3	GJ56・57区，第2層	注口　A1	胴部	楕円・三角文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 245	114−15
4	GJ53区，第2下層	深鉢（BII）	（胴部上半）	連続刺突文	Po. 2014	114−18
5	GJ54区，第2層	〃（HIIb）	（胴部）	糸文，磨消縄文（LR）	Po. 2135	114−19
6	GJ56区，第2層	〃（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2022	114−16
7	GJ54区，第2下層	〃（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2141	114−20
8	GJ56・57区，第2層	〃（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（燃糸文R）	Po. 2111	114−21
9	GJ57区，第2層	〃（OIIb）	（胴部）	斜手脚彫文，磨消縄文（燃糸文L）	Po. 2074	115− 1
10	GJ56区，第2層	〃（HIIb）	（胴部）	爪文，磨消縄文（RL）	Po. 2030	115− 2
11	GJ57区，第2層	〃（HIIb）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2127	115− 3
12	GJ56区，第2層	〃（OIIb$_2$）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2123	115− 4

第183図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第２層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文 様 の 特 徴 な ど	登 録	図版
1	GK 57GC，第2層	深鉢（Ser O）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（結束文R）	Pa. 2076	105－7
2	GJ 56EC，第2層	〃（Ser O）	（胴部）	多条沈線文，縄文（RL）	Pa. 2035	105－8
3	GJ 56EC，第2層	〃（Ser O）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Pa. 2034	105－9
4	GJ 56EC，第2層	〃（Ser O）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Pa. 2032	105－10
5	GJ 56EC，第2層	〃（Ser O）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Pa. 2028	105－13
6	GJ 57EC，第2層	〃（Ser O）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Pa. 2073	105－12
7	GJ 57EC，第2層	〃（Ser O）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Pa. 2075	105－11
8	GJ 56EC，第2層	〃（Ser O）	（胴部）	区画沈線，縄文（LR）	Pa. 2033	105－14
9	GJ 56EC，第2層	〃（Ser O）	（胴部）	区画沈線	Pa. 2029	105－4
10	GJ 56EC，第2層	〃（Ser O）	（胴部）	多条沈線文，縄文（LR）	Pa. 2024	105－5
11	GJ 56EC，第2下層	〃（Ser O）	（胴部）	多条沈線文，縄文（LR）	Pa. 2139	105－17
12	GJ 57EC，第2層	鉢（Cl）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Pa. 2080	105－16
13	GJ 56EC，第2層	〃（Cla）	（胴部）	入組縄文？，縄文（LR）	Pa. 2054	105－18
14	GJ 57EC，第2層	〃（Cla）	（胴部）	（同一個体）楕円・三角文，磨消（充填）縄文（LR）	Pa. 2147 2148	105－20 21
15	GJ 57EC，第2層				Pa. 2134	105－22
16	GJ 56EC，第2層	〃（Cl）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Pa. 2031	105－24
17	GJ 56EC，第2層	〃（Cla）	（胴部）	楕円三角文，磨消（充填）縄文（RL）	Pa. 248	105－15
18	GJ 53EC，第2下層			底部：木葉痕	Pa. 2016	—

第184図　南側遺物包含層出土土器（ＧＪ区第２層）

鉢(第 183 図 1)

頚部は「く」字状を呈し、口縁部が外反して端部に段を形成する。窓の開いた突起がつく。小片のため胴部文様は明らかでない。

注口土器(第 183 図 2・3)

壺形の注口土器である。口縁部は短く立つ。3 は胴が丸く、肩部に注口の基部が残存する。上向きの細長い注口と思われる。楕円・三角文か施文されている。

《胴部資料》

深鉢(第 183 図 4～12、第 184 図 1～11)

a、第 183 図 4：胴上部が張る器形と思われる。口縁下部無文、胴上部に連続刺突文がみられる。

b、第 183 図 5～8・10・11：頚部が「く」字状にくびれる器形と思われる。横位に展開する文様が施文されている。

c、第 183 図 9・12：口縁部・胴部がわずかに脹みをもって立ち上がる器形と思われる。蕨手文に類した文様がみられる。

第 184 図 1～11 は器形が判明しない。

鉢(第 184 図 12～17)

頚部が「く」字状を呈する器形と思われる。楕円・三角文、渦付三角文などがみられる。

《底部資料》(第 184 図 18)

底面に木葉痕が認められる。

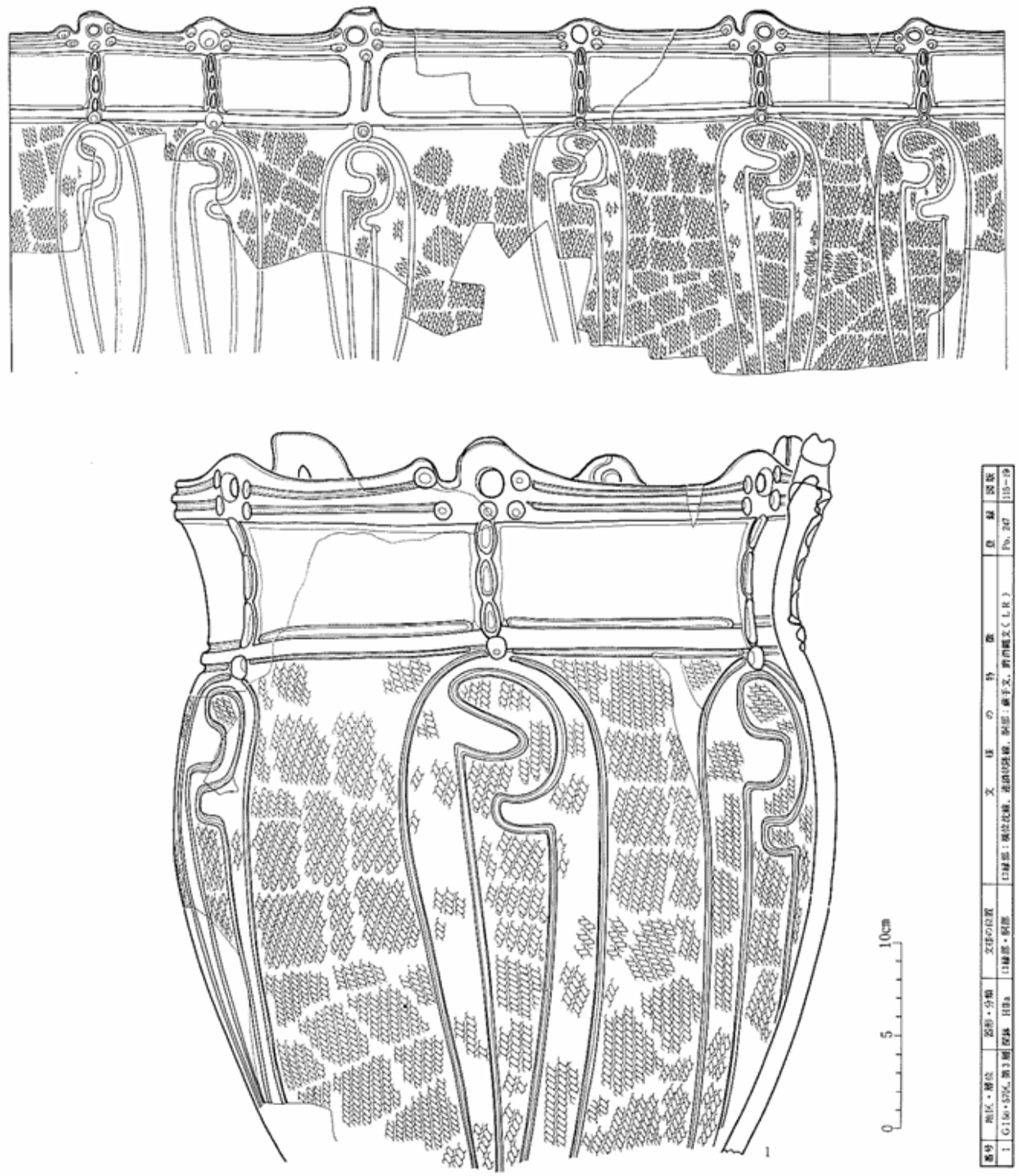
ＧＩ列（ＧＩ55～57 区）

第３層出土土器

《口縁部資料》

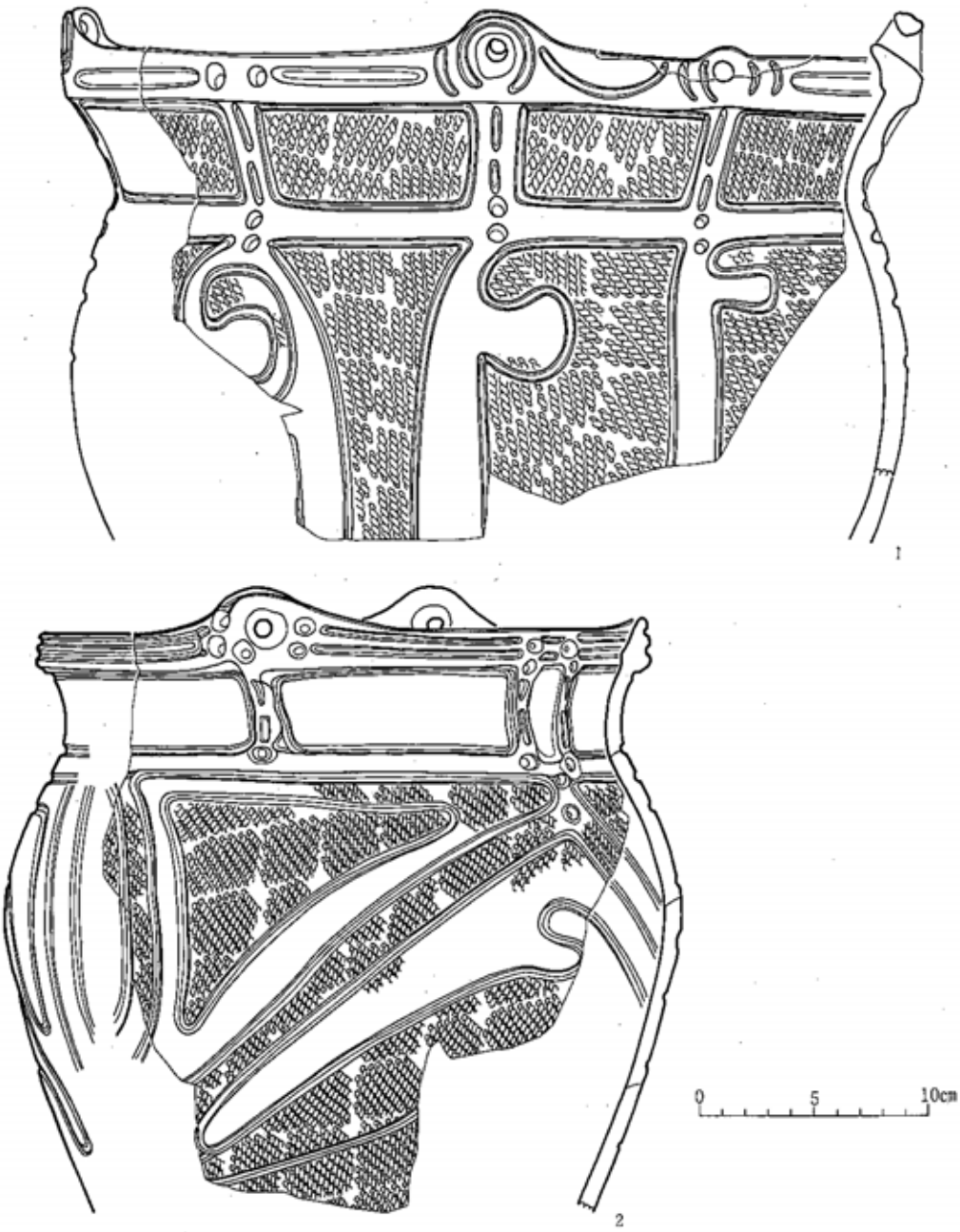
深鉢(第 185 図～第 190 図 2)

a、第 185 図、第 186 図：頚部が「く」字状にくびれる器形である。口縁部は外反し、端部に段がつく。胴上部が内弯し、中・下部は緩やかに外傾する。第 185 図は 6 個の突起がつく。大小一対の突起が 2 個、頂部が凹むものが 2 個、これらより小形の山形突起が 2 個である。口縁端部には突起を結ぶように沈線が走り、また突起下部に橋状把手が 1 個、他の突起からは連鎖状隆線が下垂する。胴部には蕨手文が施文されている。第 186 図 1 は 4 個の突起がつき、口縁部には端部に横位、弧状沈線が、その下には縄文を地文として矩形文がみられ、その間に破線文が施されている。胴部には蕨手文が 8 単位施文されている。第 186 図 2 は頂部に沈線



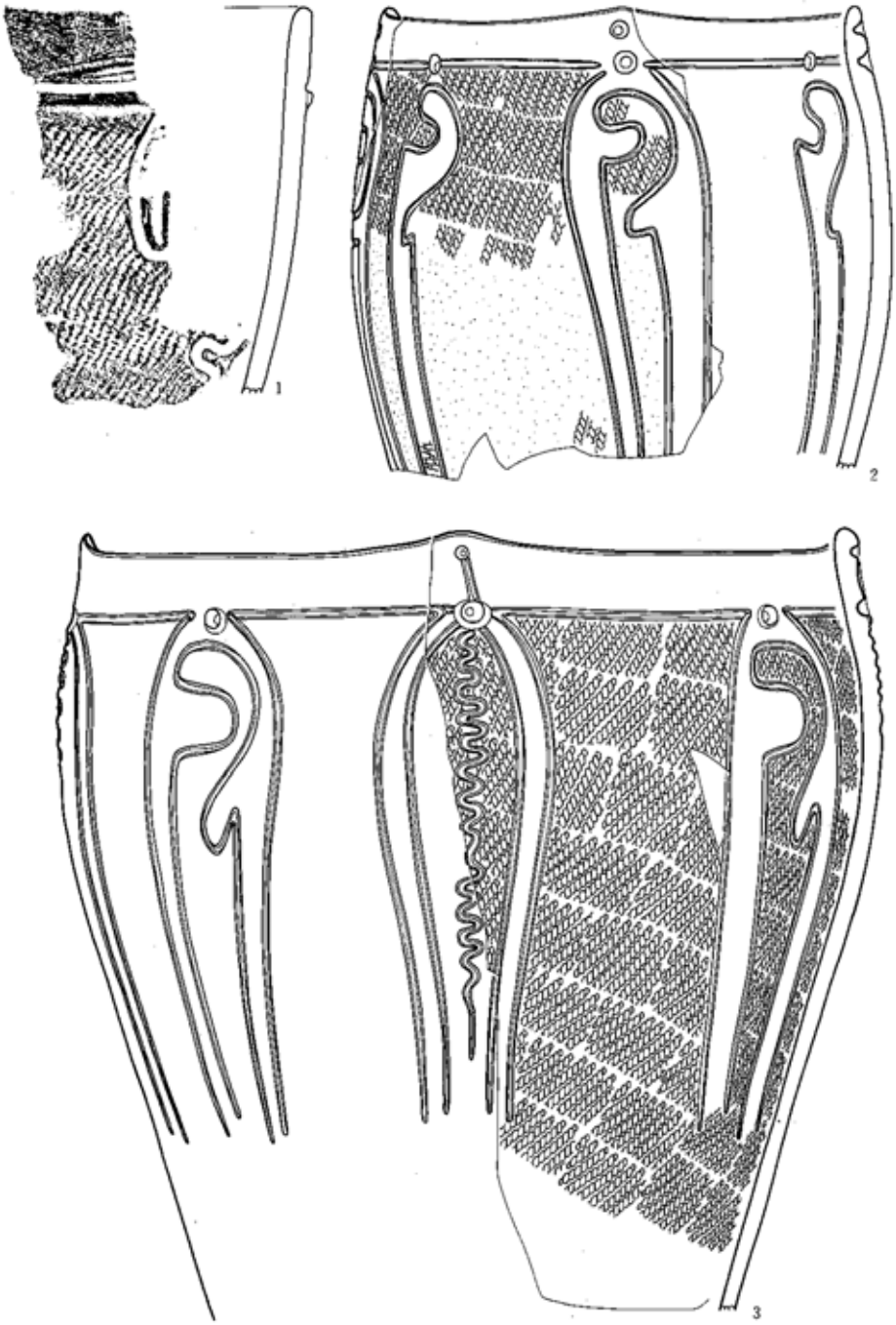
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	色調	図版番号
1	G I 区・SP2、第3層	深鉢	口縁部・胴部	口縁部：横位沈線、連続円形刺突、胴部：縄手文、隆沈線文（L R）	Fb. 247	115－19

第185図　南側遺物包含層出土土器（G Ⅰ区第３層）



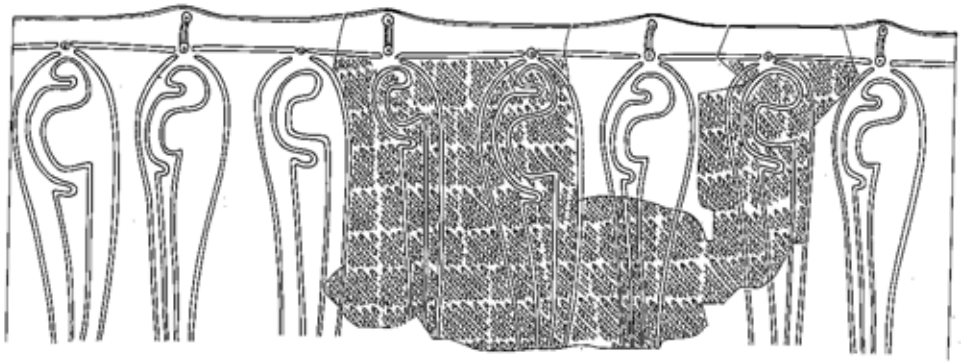
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	G156区，第3層	深鉢 HIIa	口縁部・胴部	口縁部：横位沈線，方形沈線文，縄文（LR），胴部：鋸手文，磨消縄文（RL）	Po. 248	115－1
2	G153区，第3b層	〃 HIIb	口縁部・胴部	口縁部：横位沈線，方形沈線文，胴部：楕円・三角文，磨消縄文（RL）	Po. 249	115－3

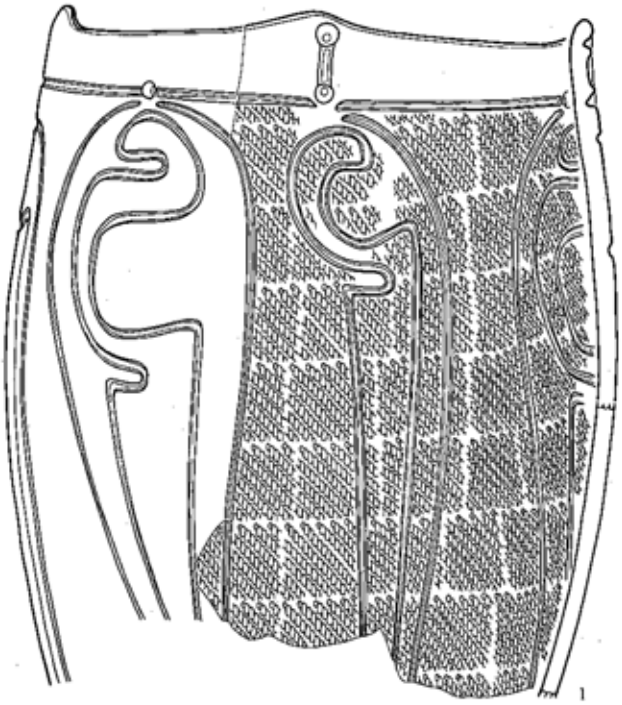
第186図　南側遺物包含層出土土器（G Ⅰ区第3層）

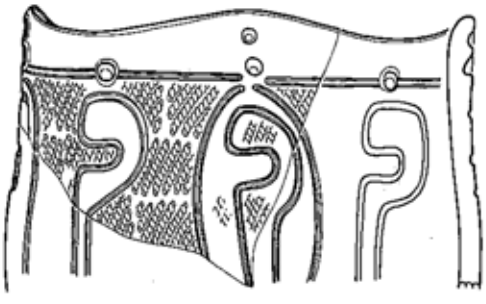


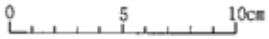
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	G I 56区，第3b層	深鉢 Ob₁	胴部	胴部：強沈線，胴部：上下連結文？，磨消縄文（LR）	Po. 2204	115－6
2	G I 57区，第3b層	〃 Ob₂	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：撚手文，磨消縄文（LR）	Po. 251	115－2
3	G I 56区，第3層	〃 Ob₂	口縁部・胴部	口縁部：弧状沈線，胴部：ジグザグ文入逆楕円文，撚手文，磨消縄文（LR）	Po. 250	116－3

第187図　南側遺物包含層出土土器（G I 区第3層）



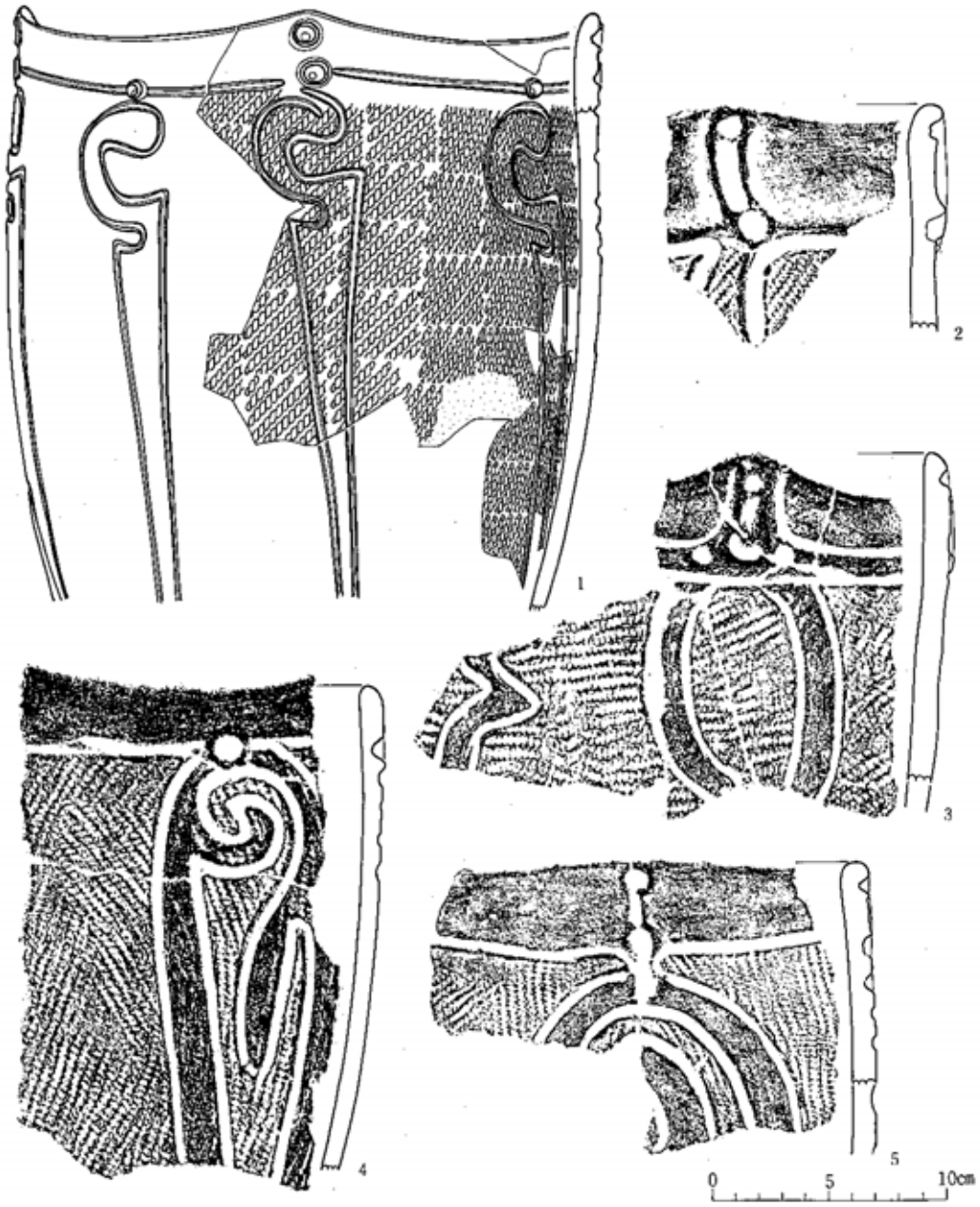






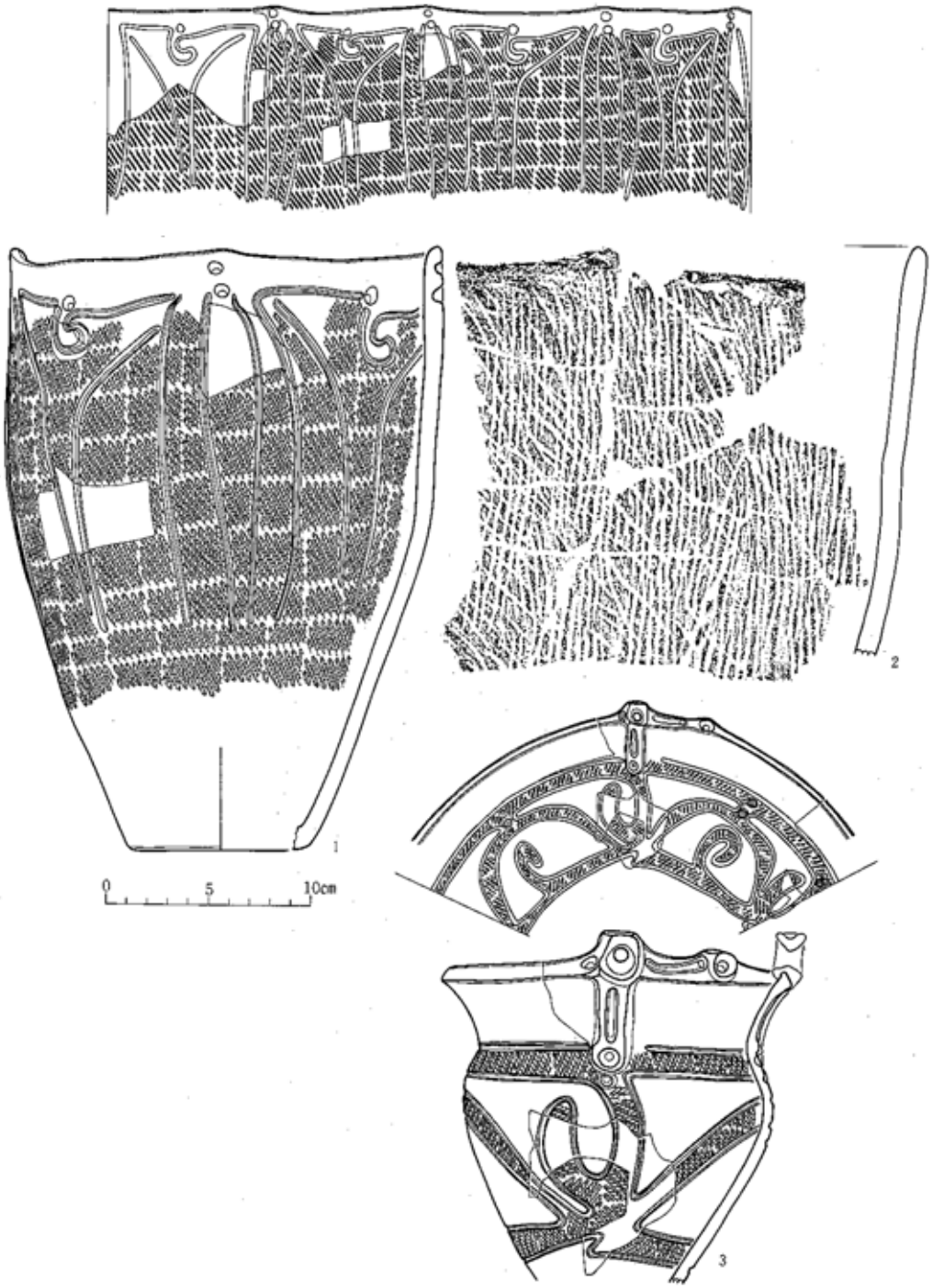
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	G I 57区，第2b層	深鉢 Ob₂	口縁部・胴部	口縁部：波線入格線，胴部：蕨手文，磨消縄文（RL）	Po. 252	117－1
2	G I 57区，第3層	〃 Ob₂	口縁部・胴部	口縁部：有孔，胴部：蕨手文，磨消縄文（LR）	Po. 253	116－5

第188図　南側遺物包含層出土土器（G I 区第3層）



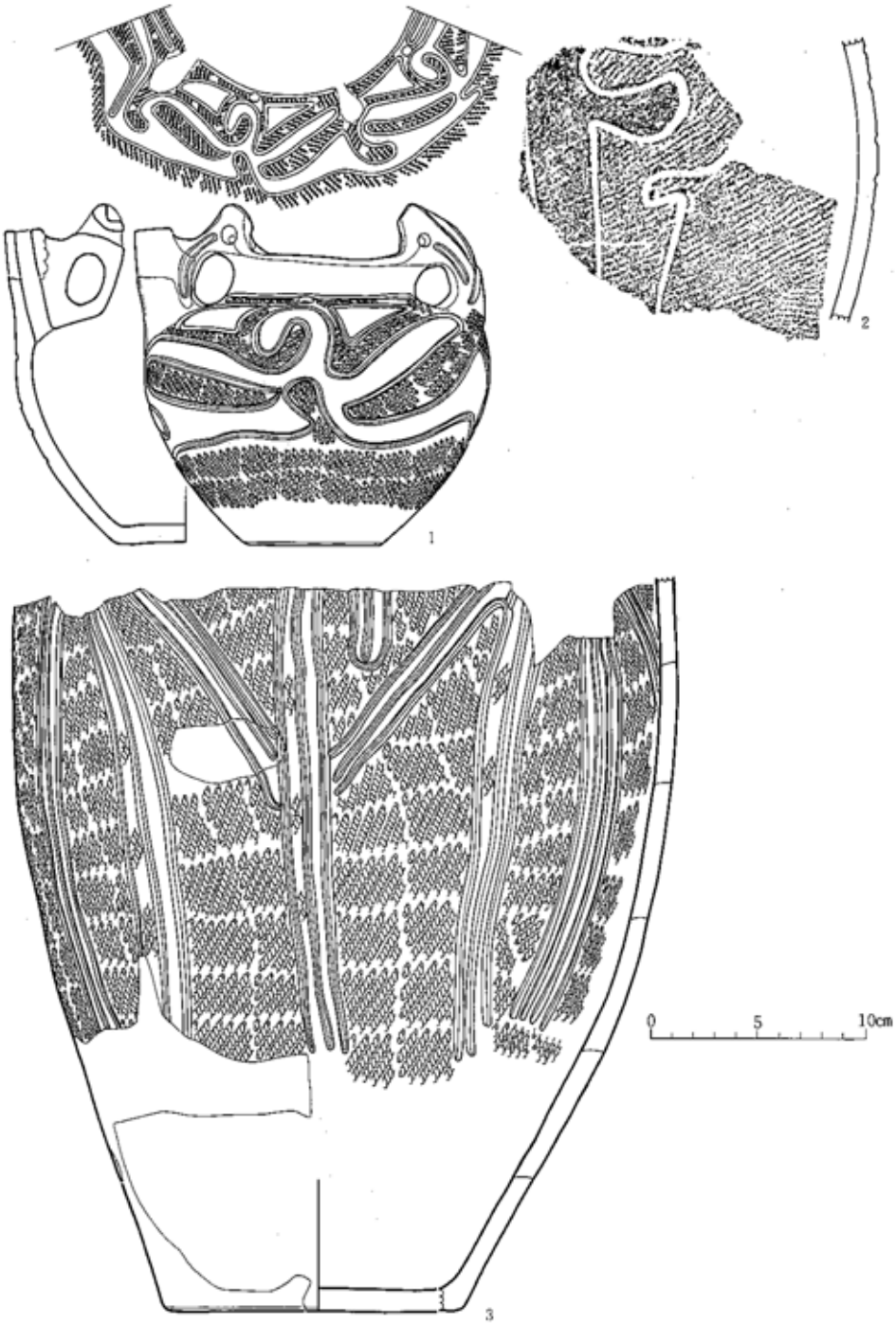
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	G I 57区，第3b層	深鉢 Oⅱb$_2$	口縁部・胴部	口縁部：ボタン状隆線，胴部：無手文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 254	117－ 4
2	G I 56区，第3b層	〃 Oⅱ	口縁部・胴部	口縁部：沈線入弧状隆線，胴部：沈線，縄文（ＬＲ）	Po. 2225	117－ 2
3	G I 57区，第3b層	〃 Oⅱb$_2$	口縁部・胴部	口縁部：弧状沈線，胴部：楕円文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2239	117－ 6
4	G I 57区，第3b層	〃 Oⅱb$_2$	胴部	無手文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2238	117－ 3
5	G I 56区，第3b層	〃 Oⅱb$_2$	口縁部・胴部	口縁部：下垂沈線，胴部：無手文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2224	117－ 5

第189図　南側遺物包含層出土土器（Ｇ Ｉ区第３層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	発掘	図版
1	G I 5区，第3b層	深鉢 OⅢc	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：弧状文・斜付「T」字文，縄文（RL）	Po. 255	118－1
2	G I 5区，第3層	〃 OVb		撚糸文（R）	Po. 2236	118－2
3	G I 6区，第3層	鉢 CⅠb	口縁部・胴部	口縁部：沈線入波線，胴部：斜付三角文，磨消（光沢）縄文（LR）	Po. 256	118－3

第190図　南側遺物包含層出土土器（G Ⅰ区第3層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	G I 56区，第3層	在口 A1	胴部	爪付三角文，磨消（充填）縄文（RL）	Po. 257	138－5
2	G I 57区，第3b層	深鉢（O類b₁）	（胴部）	蕨手文，磨消縄文（LR）	Po. 2237	138－4
3	G I 56区，第3b層	〃（H or O）	（胴部）	多条沈線文，縄文（LR）	Po. 258	138－6

第191図　南側遺物包含層出土土器（G I 区第3層）

の走る突起がつくが個数は不明である。口縁部の端部には平行線が、その下には矩形文と下垂連鎖状文がみられる。胴部には楕円らしい文様と三角文が施文されている。

b、第 187 図～第 190 図 2：口縁部・胴部がわずかな脹みをもって立ち上がる器形である。低い山形突起がつく。第 187 図 1 は胴部に上下連結の文様がみられる。第 187 図 2・3、第 188 図、第 189 図には縦位に細長い「U」字文、楕円文、蕨手文などが胴部に施文され、口縁部にも突起下にボタン状隆線、下垂沈・隆線などがみられる。第 190 図 1 には幅広い単位の弧状・渦付「T」字状文が施される。同図 2 は口縁部・胴部とも地文である。

鉢(第 190 図 13)

頚部が「く」字状を呈し、口縁部は外反して端部に段がつく。大小一対の突起がつき、大きい方の突起から沈線の入った隆線が下垂する。胴部は上部が内弯し、中・下部は直線的である。渦付三角文が施文されている。

注口土器(第 191 図 1)

壺形の注口土器である。口縁部は長く直立し、胴上部が強く内弯して胴中・下部も丸味をもつ。口縁部には橋状把手・突起がつき、一方の下部、胴肩部に上向きの細長い注口がみられる。胴部に渦付三角文が施文されている。

《胴部資料》(第 191 図 2・3、第 192 図 1・2)

いずれも深鉢である。第 191 図 2・3 は口頚部の形態を推定できない。2 には蕨手文が、3 には多条沈線文様がみられる。第 192 図 1・2 は頚部が「く」字状にくびれる器形と思われる。1 に蕨手文と連続「S」字文が、2 に渦文が施文されている。

第２層出土土器

《口縁部資料》

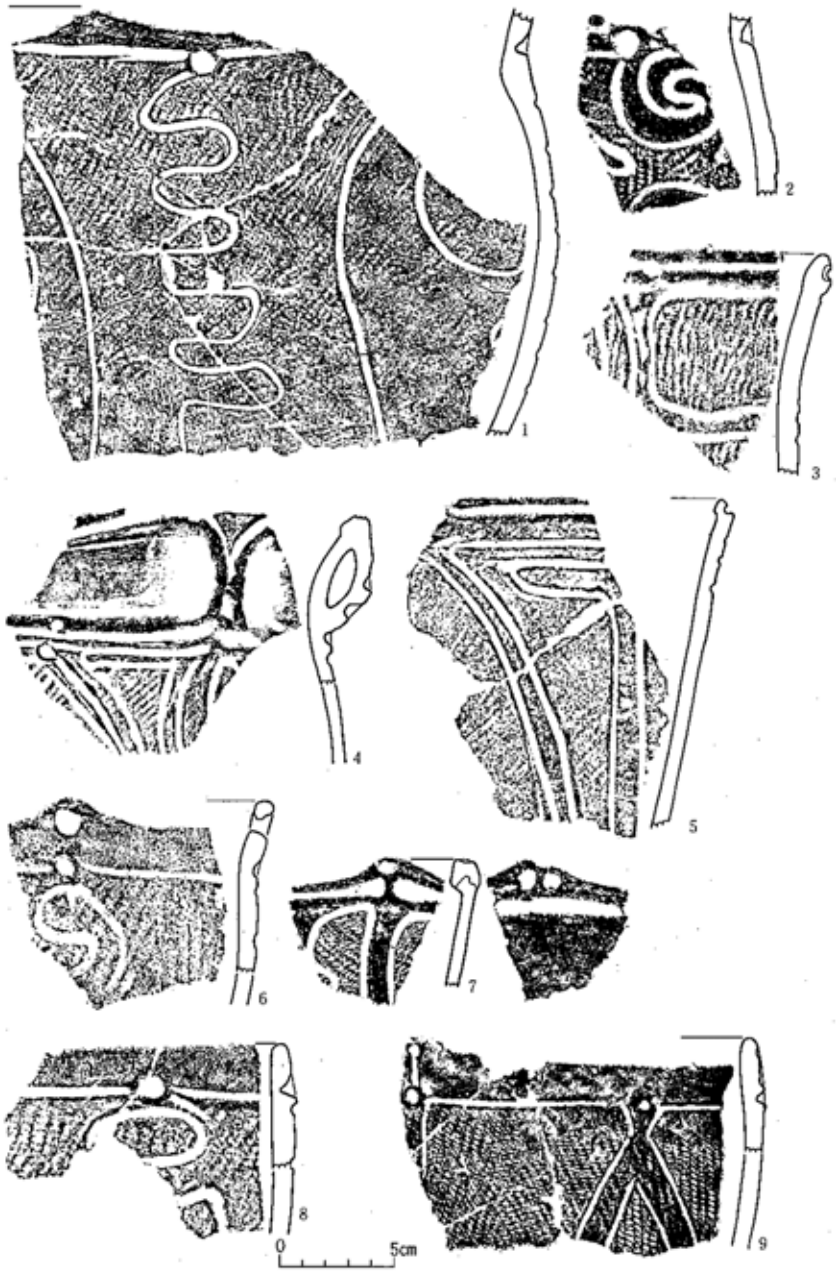
深鉢(第 192 図 3～9、第 193 図 1～5・9～11・13)

a、第 192 図 3：胴部中位に稜がついてそれ以上が外反気味に立ち上がる器形と思われる。方形区画文がみられる。

b、第 192 図 4：頚部が「く」字状にくびれて口縁部が外反する器形である。胴上部は緩やかに内弯する。

c、第 192 図 5～7：口縁部・胴部が直線的に外傾する器形である。5・7 は口縁端部が肥厚して内面に段、外面に沈線が巡る。口縁・胴部に文様がみられるが、単位は不明である。6 は口縁端部が削がれたように三角を成し、窓の開いた突起がつく。口縁部は無文、胴部に蕨手文が施文されている。

d、第 192 図 8・9、第 193 図 1～5：口縁部・胴部がわずかに脹みをもって立ち上がる器形



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	G I 56区，第3層	深鉢（HIIa）	（胴部）	磨手文？，連続「S」字文，磨消縄文（LR）	Po. 2235	119－1
2	G I・GJ57区，第3b層	〃（HIIb）	（胴部）	縄文，磨消（充填）縄文	Po. 2242	119－3
3	G I 56区，第2層	〃 C	口縁部から胴部上半	方形区画沈線文，磨消縄文（RL）	Po. 2229	119－2
4	G I 55区，第2層	〃 HIIb	胴部	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2206	119－4
5	G I 55区，第2層	〃 MIa～b	口縁部から胴部	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2207	119－7
6	G I 57区，第2層	〃 MII	胴部	磨手文，磨消縄文（LR）	Po. 2226	119－8
7	G I 56区，第2層	〃 MIa～b	口縁部から胴部	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2215	119－9
8	G I 56区，第2層	〃 OIIb$_2$	胴部	磨手文，磨消縄文（LR）	Po. 2218	119－5
9	G I 57区，第2層	〃 OIIc	口縁部・胴部	口縁部：下垂沈線，胴部：「ハ」字文，磨消縄文（LR）	Po. 2227	119－6

第192図　南側遺物包含層出土土器（G I 区第3・2層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	G I 55区，第2層	深鉢 OⅢb_2	口縁部・胴部	口縁部：下垂沈線，胴部：菱平文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2208	119−10
2	G I 55区，第2層	〃 OⅢd	口縁部・胴部	多条沈線文，縄文（ＬＲ）	Po. 2210	119−11
3	G I 56区，第2層	〃 OⅤa		頸部：沈線，胴部：連弧文（Ｒ）	Po. 2217	119−12
4	G I 56区，第2層	〃 OⅤa		頸部：沈線，胴部：縄文（ＬＲ）	Po. 2221	119−16
5	G I 55区，第2層	〃 OⅤa		頸部：隆沈線，胴部：縄文（ＬＲ）	Po. 2209	119−13
6	G I 57区，第2層	鉢 C Ⅰa	胴部	鋸付三角文，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 259	119−15
7	G I・GJ55区，第2層	〃 C Ⅰ	胴部	区画沈線，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 2240	119−17
8	G I 56区，第2層	注口？	胴部	入組渦文，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 2220	119−14
9	G I 56区，第2層	深鉢（OⅢ）	（胴部）	連続「Ｓ」字文入平行線文，絡条文（Ｒ）	Po. 2234	119−20
10	G I 56区，第2層	〃（OⅢb_2）	（胴部）	ジグザグ文，縄文（ＬＲ）	Po. 2216	119−18
11	G I 56区，第2層	〃（OⅢb_2）	（胴部）	連続「Ｓ」字文入平行線文，縄文（ＲＬ）	Po. 2222	119−21
12	G I 56区，第2層	鉢（C Ⅰa）	（胴部）	入組渦文?，磨消（充填）縄文（ＬＲ）	Po. 2219	119−19

第193図　南側遺物包含層出土土器（Ｇ Ⅰ 区第２層）

である。8、1 には胴部に蕨手文が施され、1 の突起下口縁部に下垂沈線がみられる。9 は口縁部突起下に下垂沈線、胴部に「ハ」字状の幅広い文様が施文される。2 は多条沈線文様、3〜5 は口縁部無文、胴部地文で頚部を沈線、隆線で画している。

鉢(第 193 図 6・7)

頚部が「く」字状を呈する器形である。6 は口縁部が外反して端部が角ばり、大小一対の突起がつく。胴部は肩が張って以下は直線的である。口縁部は無文、胴部に渦付三角文が施文されている。7 は口縁部が外傾して端部が段を成し、低い突起がつく。胴部は肩が張る。文様は単位が明らかでない。

注口土器(第 193 図 8)

壺形の注口土器である。口縁部は短く立ち、胴上部が内弯する。渦文が認められる。

《胴部資料》

深鉢(第 193 図 9〜11)

口縁部までわずかな脹みをもって立ち上がる器形と思われる。ジグザグ文、連続「S」字文をはさんだ平行線文がみられる。

鉢(第 193 図 12)

頚部が「く」字状を呈する器形と思われる。入組渦文(？)が施文されている。

GH列（GH55〜57 区）

第３層出土土器

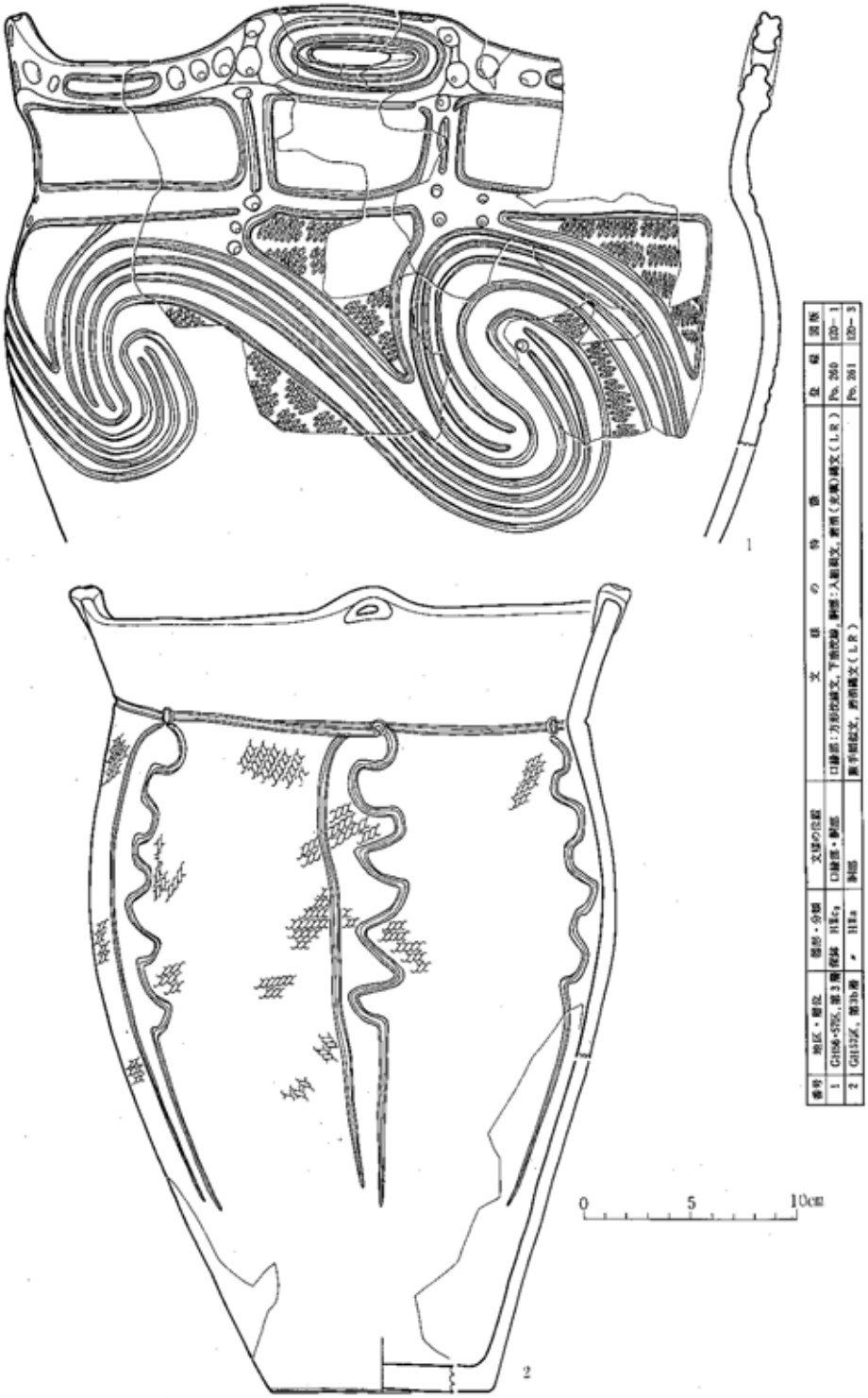
《口縁部資料》

深鉢(第 194 図〜第 198 図)

a、第 194 図、第 195 図 1：頚部が「く」字状にくびれる器形である。口縁部は外傾して突起がつく。第 194 図 1 は口縁端部が肥厚して段を形成し、窓の開いた幅広くて低い突起がつく。4 個と思われる。口縁部には端部に楕円文、盲孔、その下部に矩形文と下垂沈線が、胴部には入組渦文がみられる。第 194 図 2 は口縁端部が角ばり、山形小突起がつく。口縁部は無文、胴部に蕨手文類似の文様と連続「S」字文が施文されている。第 195 図 1 は口縁端部が肥厚して段を成し、窓の開いた突起がつく。口縁部に矩形文、破線文が施されている。

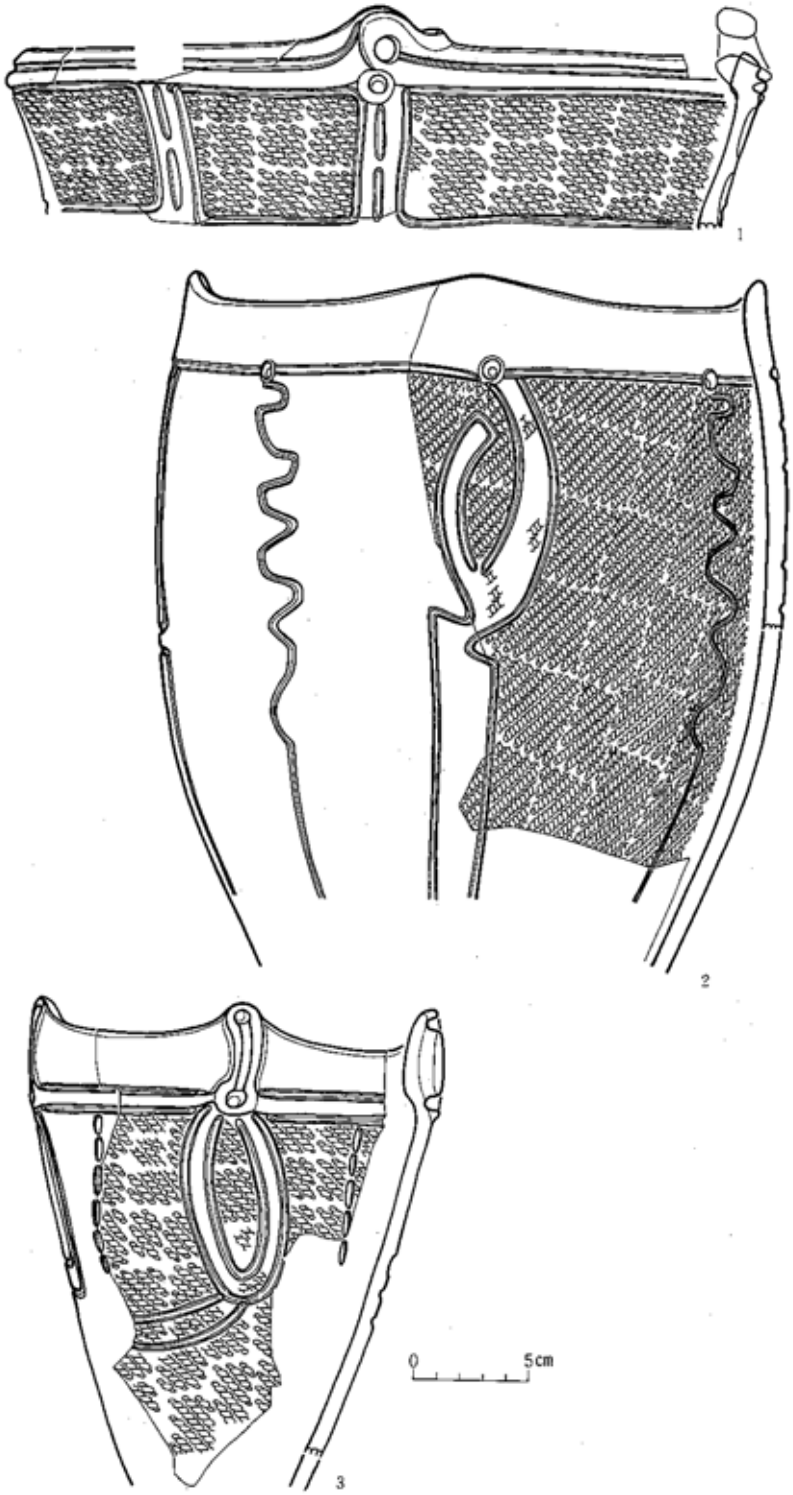
b、第 195 図 3：口縁部が「く」字状を呈し、頚部に稜のつく器形である。胴部は直線的に外傾する。山形突起がついて、頂部から頚部へ沈線の入った隆線が下垂する。胴部には下端で横位に連絡された楕円文が施文されている。

c、第 195 図 2、第 196 図〜第 198 図：口縁部・胴部がわずかな脹みをもって立ち上がる器形で



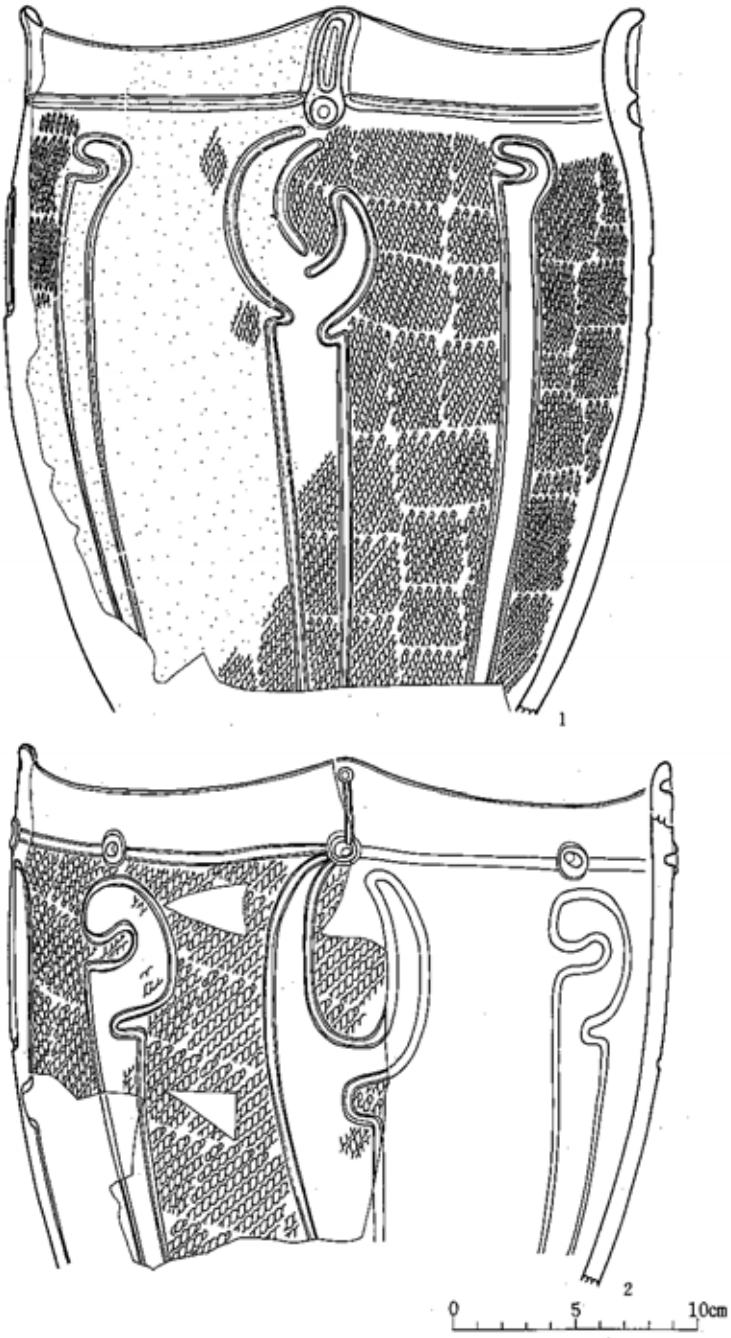
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	位置	図版
1	GH56・57区、第3層掘削	H1E$_2$	口縁部・胴部	口縁部に方形区画文、下胴区画、胴部に入組縄文、胴部（充填）縄文（L R）	Pa. 260	120－1
2	GH57区、第3層	〃 H1E$_3$	胴部	胴部縄文、胴部縄文（L R）	Pa. 261	120－3

第194図　南側遺物包含層出土土器（ＧＨ区第３層）



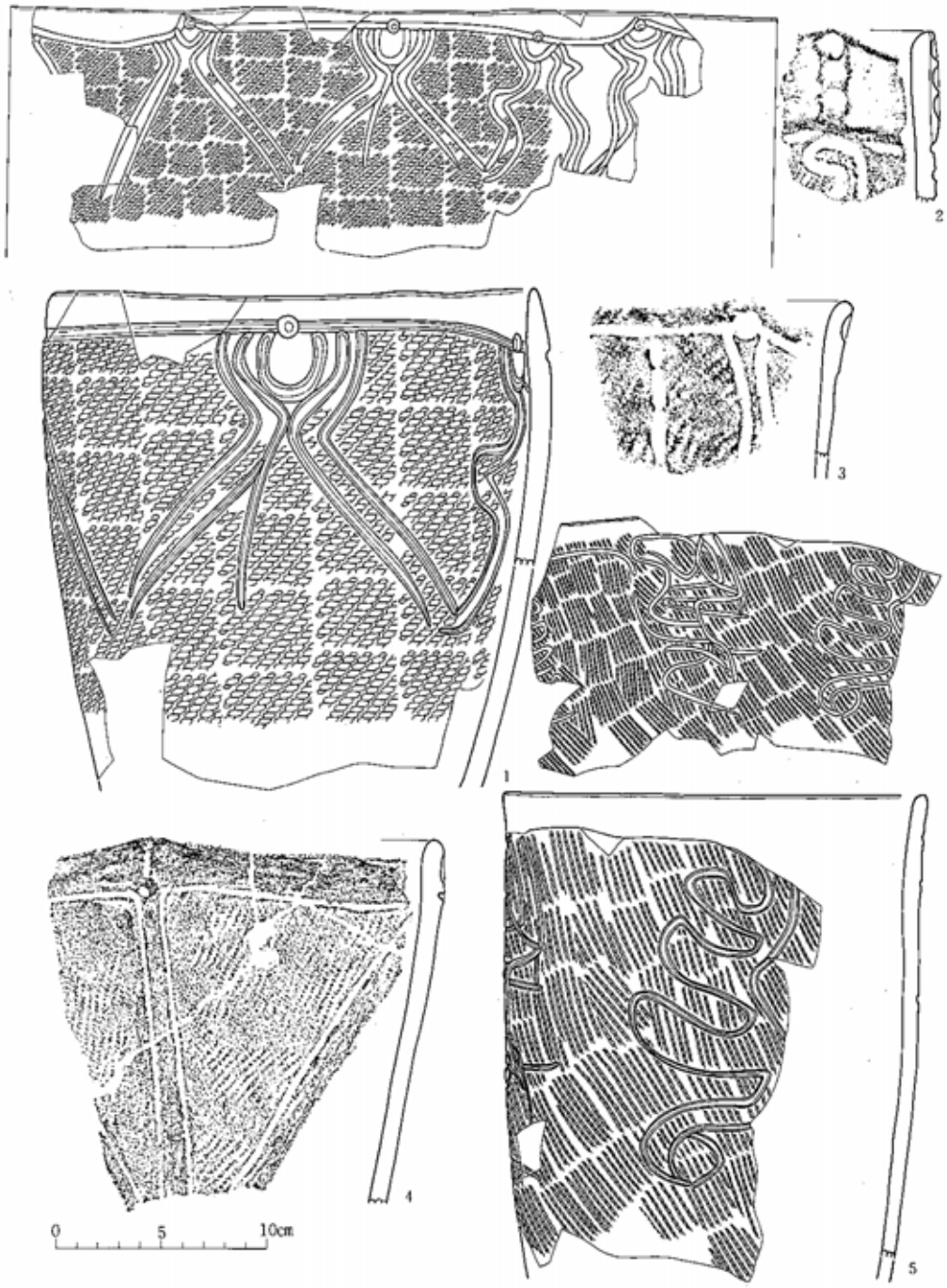
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GH50区、第3b層	鉢類 H II	(口縁部)	方形区画文、縄文(LR)	Po. 262	120-5
2	GH50区、第3b層	〃 GIIIb₁	胴部	「U」字・平行線文、波線「S」字文、斜行縄文(LR)	Po. 263	120-4
3	GH50区、第3層	〃 K1b	口縁部・胴部	口縁部：改線入楕円、胴部：楕円文、斜行縄文(LR)	Po. 264	120-2

第195図　南側遺物包含層出土土器（ＧＨ区第３層）



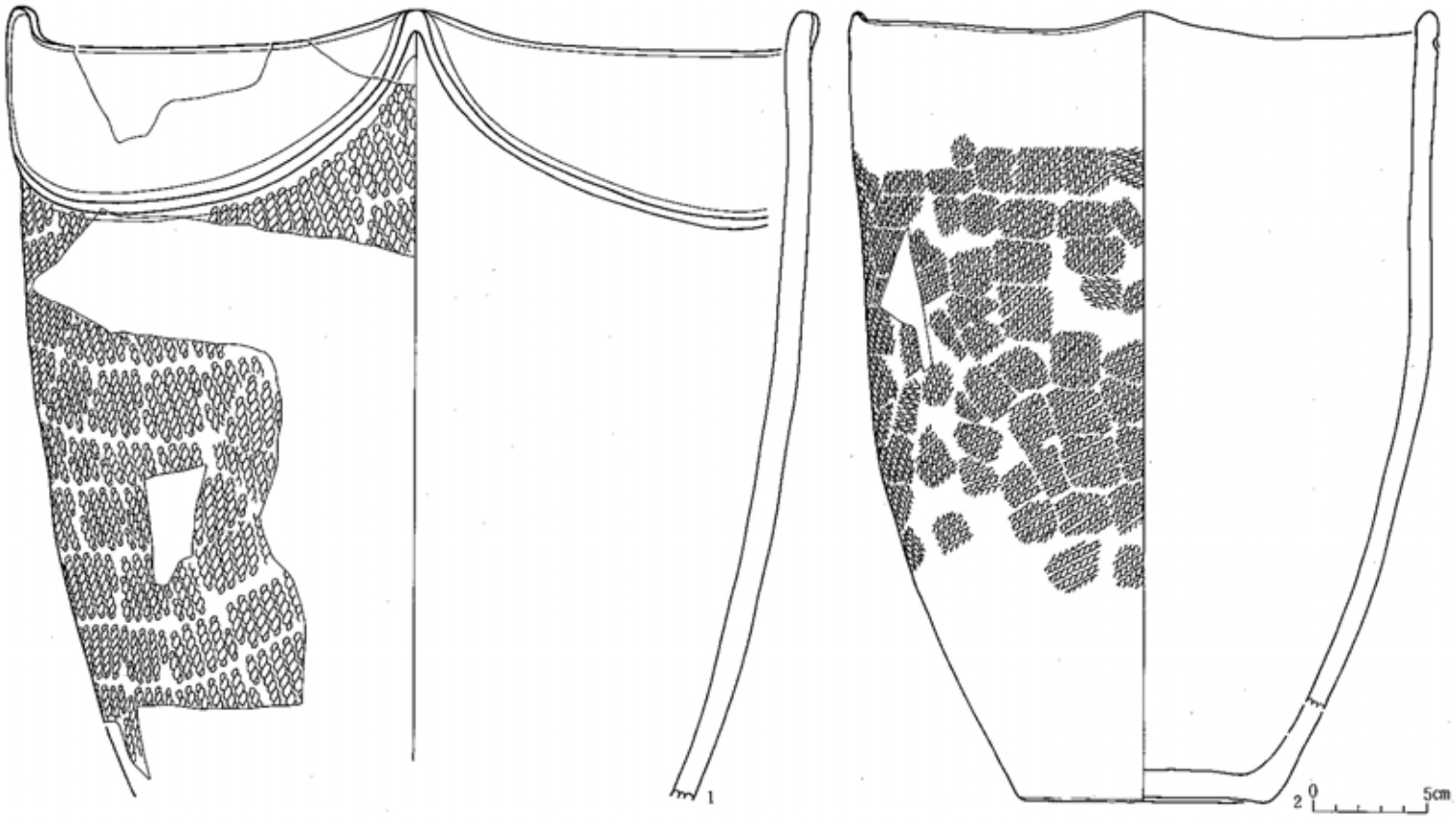
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GH56区，第3b層	深鉢 Oⅱb₂	口縁部・胴部	口縁部：沈線入隆線，胴部：「U」字文，蕨手文，磨消縄文（LR）	Po. 267	121－1
2	GH57区，第3層	〃 Oⅱb₂	口縁部・胴部	口縁部：下垂沈線，胴部：「U」字文，蕨手文，磨消縄文（LR）	Po. 268	121－6

第196図　南側遺物包含層出土土器（ＧＨ区第３層）



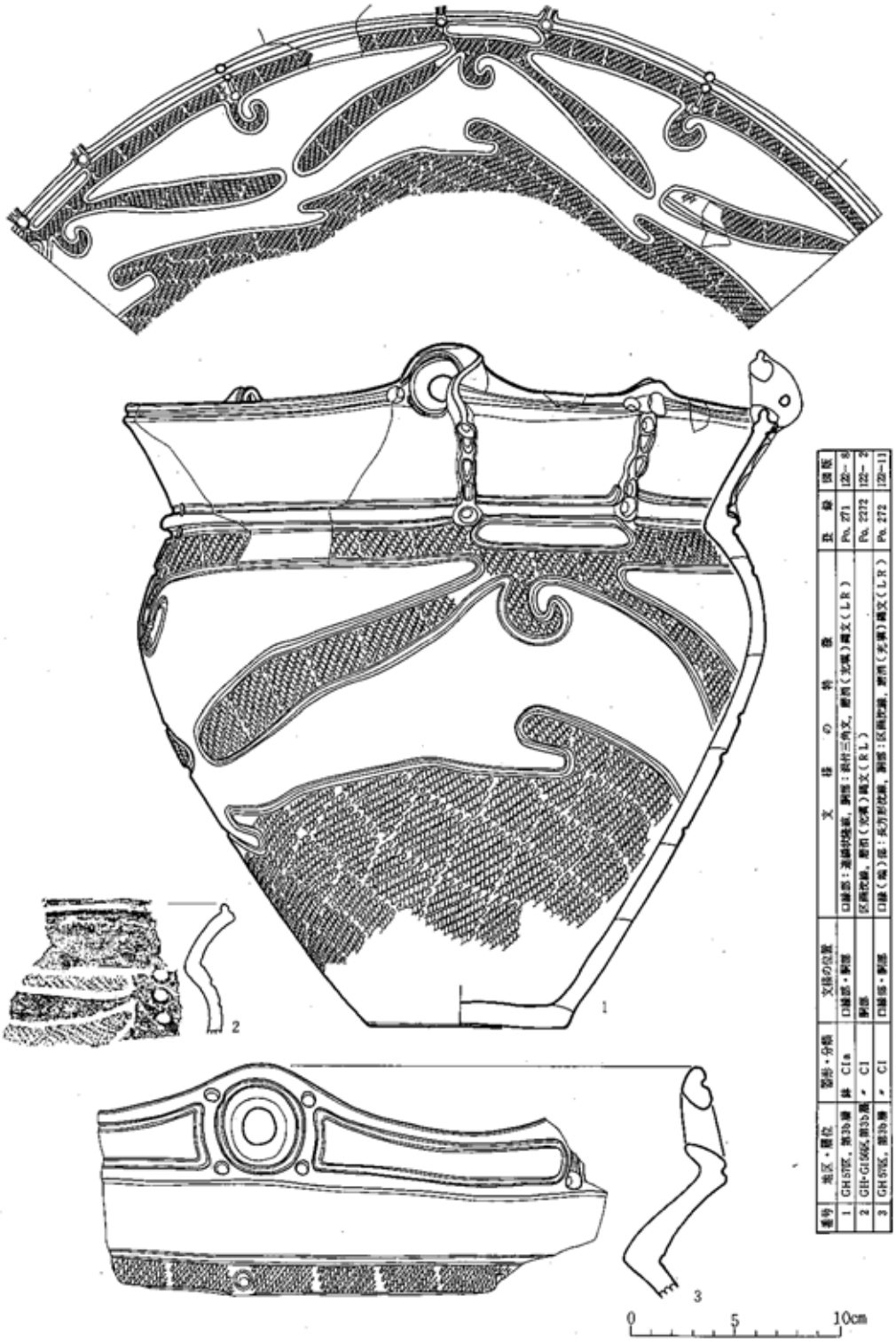
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GH57区，第3層	深鉢 Ⅰ類c	胴部	円・「ハ」字文，磨消縄文（ＲＬ）	Po. 265	121－2
2	GH57区，第3層	〃 Ⅰ類b₁	口縁部・胴部	口縁部：連続状楕円，胴部：扇字文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2256	121－4
3	GH57区，第3b層	〃 Ⅰ類b₁	胴部	平行線文・取線文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2260	121－5
4	GH56区，第3層	〃 Ⅰ類c	口縁部・胴部	口縁部：下垂弧線，胴部：三角文，磨消縄文（ＬＲ）	Po. 2265	121－3
5	GH57区，第3b層	〃 Ⅰ類b₁	胴部	連続「Ｓ」字文，磨消縄文（Ｒ）	Po. 266	121－7

第197図　南側遺物包含層出土土器（ＧＨ区第３層）



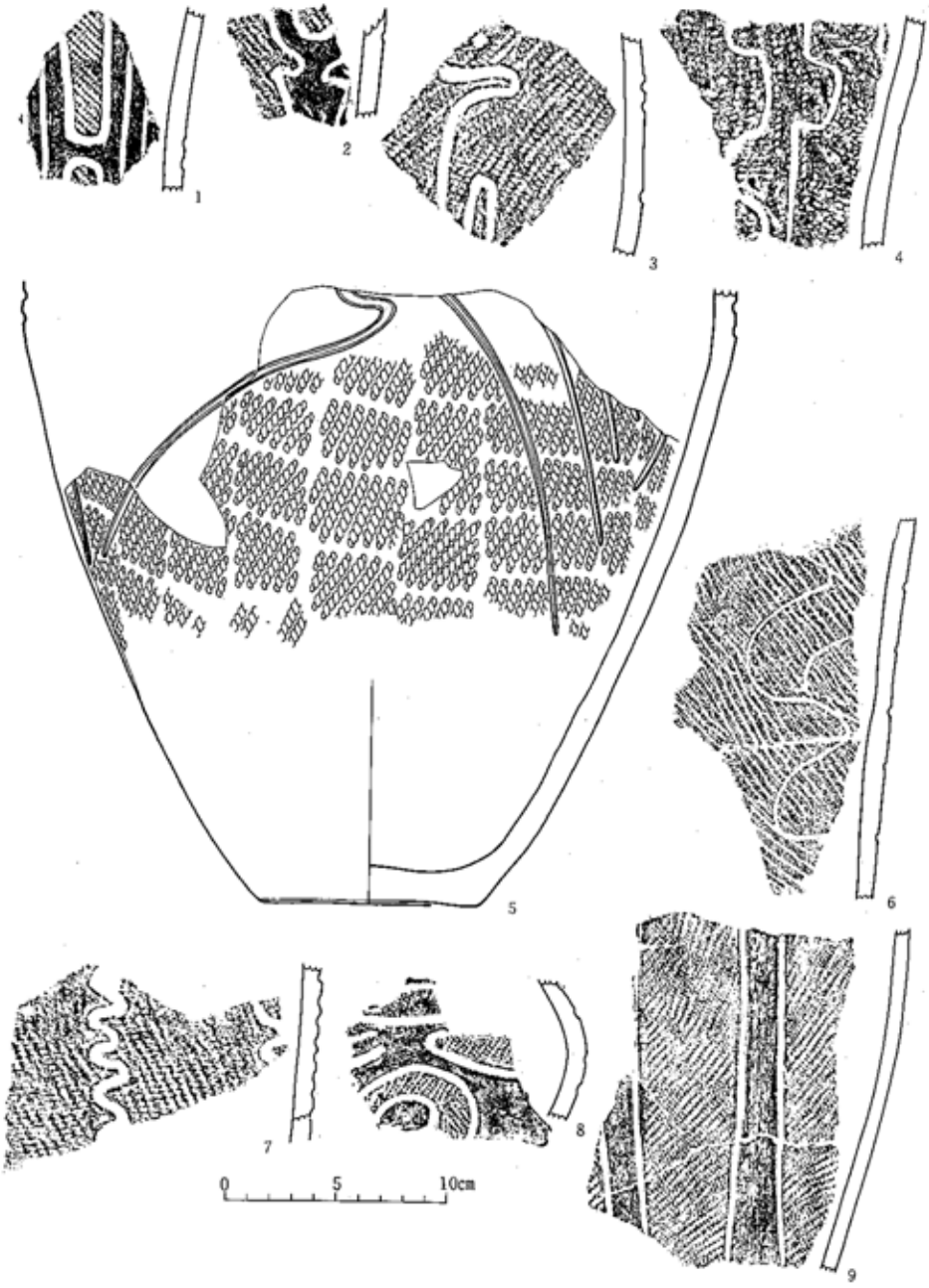
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GH55区，第3c層	深鉢 OWc	口縁部	口縁部～頸部：弧状沈線，胴部：縄文（RL）	Po. 269	122－1
2	GH56区，第3b層	〃 OVb		縄文（LR）	Po. 270	121－8

第198図　南側遺物包含層出土土器（GH区第3層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	出土番号	図版
1	GH57区、第3b層	鉢 C1a	口縁部・胴部	口縁部：連続押捺痕、胴部：斜行三角文、磨消（充填）縄文（L R）	Po. 271	122－8
2	GH-GI56区、第3b層	〃 C1	胴部	区画沈線、磨消（充填）縄文（R L）	Po. 2272	122－2
3	GH57区、第3b層	〃 C1	口縁部・胴部	口縁（縁）部：長方形区画、胴部：区画沈線、磨消（充填）縄文（L R）	Po. 272	122－11

第199図　南側遺物包含層出土土器（ＧＨ区第３層）



番号	地区・層位	器形・分部	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GH56K，第3層	深鉢（DIIb）	（胴部）	多条沈線文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2248	122−3
2	GH57K，第3層	〃（O？）	（胴部）	楕円・「U」字文，磨消縄文（LR）	Po. 2258	122−4
3	GH55K，第3層	〃（O？）	（胴部）	反転沈線，縄文（LR）	Po. 2247	122−6
4	GH57K，第3層	〃（O？）	（胴部）	鼎手脚似文，縄文（RL）	Po. 2257	122−5
5	GH56K，第3b層	〃（HorO）	（胴部）	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 273	122−7
6	GH・GI57K，第3層	〃（O？）	（胴部）	連続「S」字文，撚糸文（R）	Po. 2273	122−9
7	GH57K，第3b層	〃（O？）	（胴部）	ジグザグ文，縄文（LR）	Po. 2261	122−10
8	GH57K，第3b層	鉢（CI）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2262	122−12
9	GH56K，第3層	深鉢（OIIb$_1$）	（胴部）	平行線，磨消縄文（LR）	Po. 2265	122−13

第200図　南側遺物包含層出土土器（ＧＨ区第３層）

ある。第195図2、第196図、第197図2・3・5は胴部に「U」字文、蕨手文、破線文、連続「S」字文といった縦に細長い文様がみられ、第197図1・4は幅の広い単位の円・「ハ」字文、三角文が施文されている。第198図1は頚部の隆線が突起にのびて山形を成す。同図2は口縁部無文、胴部縄文である。

鉢(第199図)

頚部が「く」字を呈する器形で、口縁部は外反・外傾し、端部に段を形成する。胴部は肩が張り、それ以下は外傾する。1 は口縁端部に沈線が走り、大小一対の突起と、その対面に小さい突起がつき、突起から頚部まで連鎖状隆線が下垂する。胴部に渦付三角文が施文されている。2は口縁部が無文で胴部に文様がみられる。3は窓の開いた突起がつき、口縁端部に長方形の沈線文が施される。

《胴部資料》

深鉢(第200図1〜7・9)

1 は胴部中位がくびれる器形と思われ、多条沈線文様がみられ、磨消縄文（充塡）技法が用いられている。2〜7は器形が判然としない。8は口縁部までわずかな脹みをもって立ち上がる器形と思われる。

鉢(第200図8)

頚部が「く」字状を呈する器形と思われる。

《底部資料》(第201図1〜4)

1は鉢、2〜4は深鉢と思われる。3は底面に木葉痕がみがき残されている。

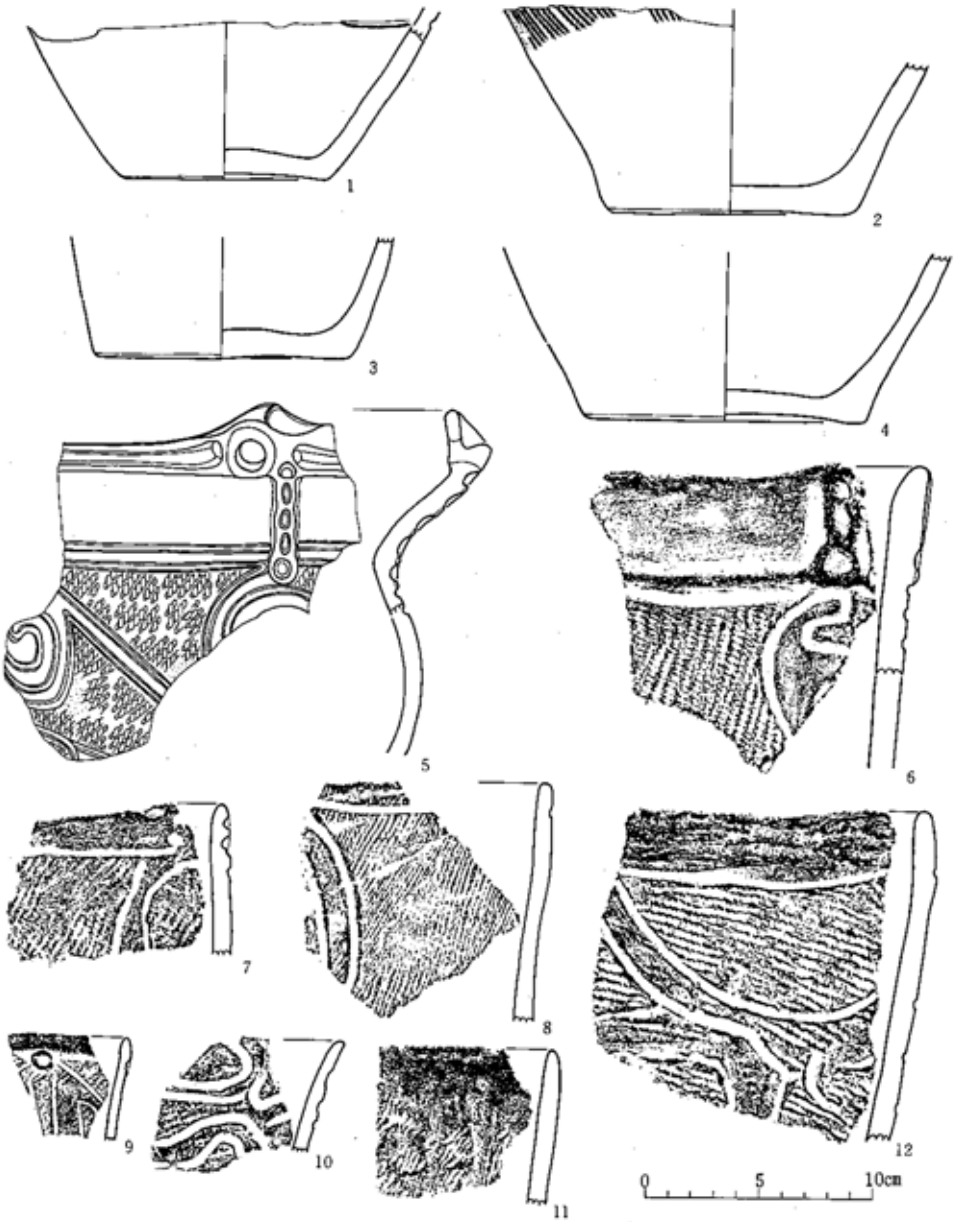
第２層出土土器

《口縁部資料》(第201図5〜12)

いずれも深鉢である。5 は頚部が「く」字状にくびれる器形である。突起がついてその下に連鎖状隆線が下垂する。胴部に渦文が認められる。6〜8・11・12は口縁部までわずかな脹みをもって立ち上がる器形で、6・7・8は蕨手文などの幅の狭い単位が、12は幅の広い単位の文様が胴部に施され、11は口縁部無文、胴部縄文である。9・10は器形を明確にできない。

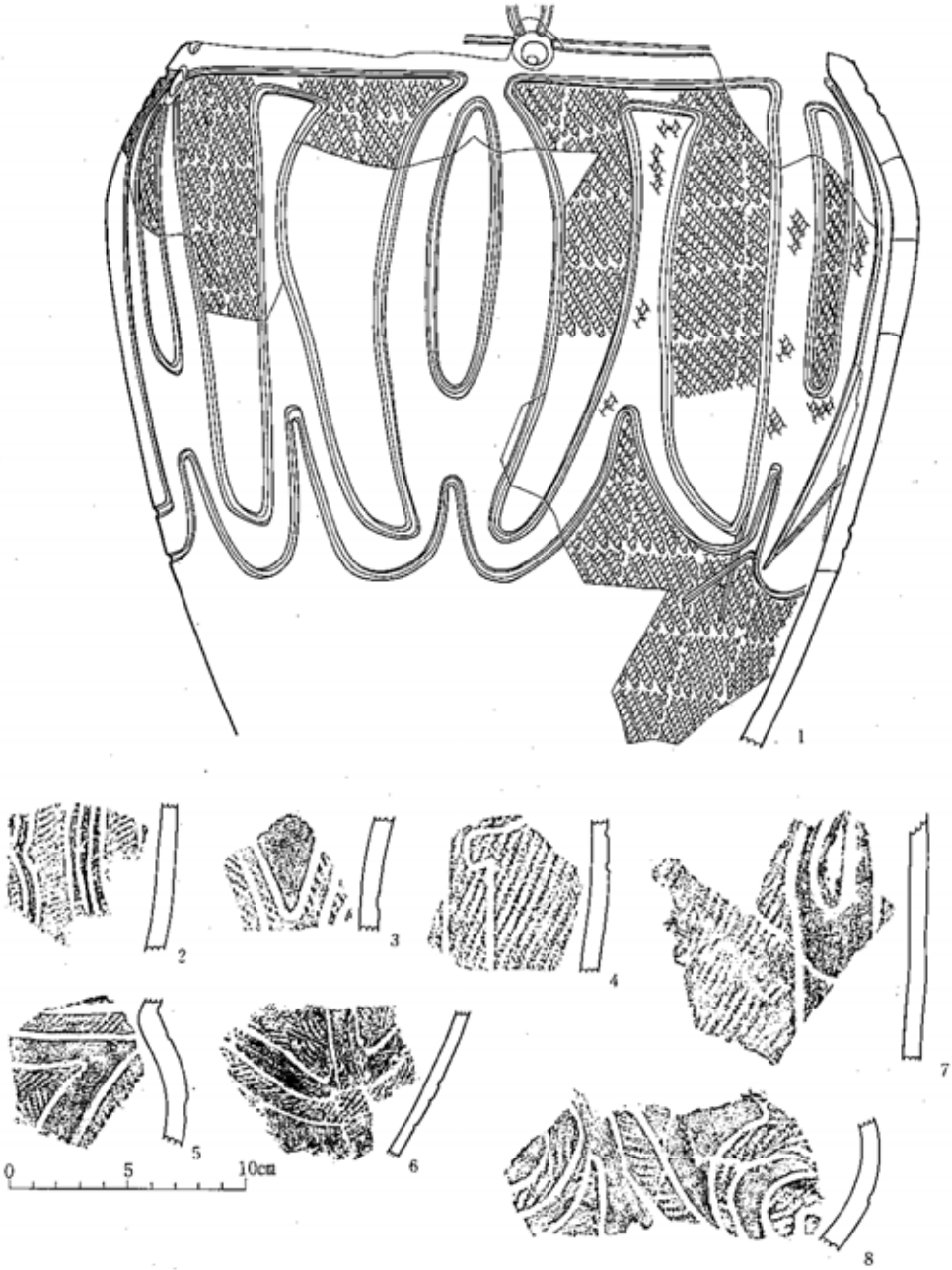
《胴部資料》(第202図)

1〜4・7は深鉢である。1は頚部が「く」字状にくびれる器形と思われ、楕円文がみられる。2・3は胴部中位がくびれる器形と思われ、多条沈線文様が施文されている。4・7は口縁部までわずかな脹みをもって立ち上がる器形と思われ、蕨手文に類似した文様が認められる。5・6・8は鉢である。いずれも頚部が「く」字状を呈する器形と思われ、三角文、渦文的な文様がみられる。



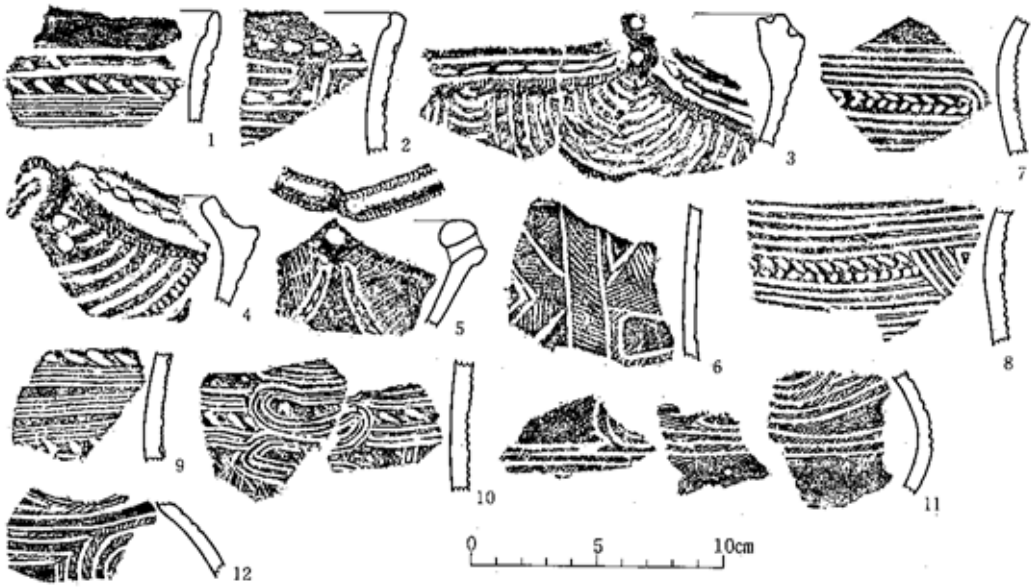
番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GH57区，第3b層				Po. 274	—
2	GH57区，第3b層			胴部：結糸文（R）	Po. 275	—
3	GH57区，第3b層				Po. 276	—
4	GH57区，第3b層				Po. 277	
5	GH53区，第2層	鉢類 HⅢb	口縁部・胴部	口縁部：連鎖状隆線，胴部：入組渦文，磨消縄文（LR）	Po. 278	123－1
6	GH56区，第2層	〃 OⅢb₂	口縁部・胴部	口縁部：連鎖状隆線，胴部：扇手文，磨消縄文（LR）	Po. 2269	123－2
7	GL・GH57区，第2層	〃 OⅢb₂	口縁部・胴部	口縁部：盲孔，胴部：梅戸文？，磨消縄文（LR）	Po. 2278	123－5
8	GL・GH57区，第2層	〃 OⅢb₂	胴部	区画沈線，磨消縄文（結糸文R）	Po. 2275	123－6
9	GH56区，第2層	〃 O？	胴部	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2250	123－4
10	GL・GH57区，第2層	〃 O？	口縁部	区画沈線，磨消縄文（LR）	Po. 2279	123－7
11	GH56・57区，第2層	〃 OVb		結糸文（R）	Po. 2264	—
12	GH56区，第2層	〃 OⅢc	胴部	弧状連続文，磨消縄文（LR）	Po. 2270	123－3

第201図　南側遺物包含層出土土器（GH区第3・2層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GH・GI56K，第2層	深鉢（HIIb）	（胴部）	楕円文，磨消縄文（RL）	Po. 279	123－12
2	GH55K，第2層	〃（DIIb）	（胴部）	多条沈線文，縄文（LR）	Po. 2251	123－ 8
3	GH55K，第2層	〃（DIIb）	（胴部）	多条沈線文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2252	123－ 9
4	GL・GH57K，第2層	〃（OIIIb₂）	（胴部）	蕨手文?，縄文（LR）	Po. 2276	123－10
5	GH56K，第2層	鉢（CI）	（胴部）	区画沈線，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2268	123－11
6	GH56K，第2層	〃（CI）	（胴部）	三角文?，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2254	123－13
7	GH55K，第2層	深鉢（OIIIb₂）	（胴部）	蕨手結び文，磨消縄文（LR）	Po. 2244	123－14
8	GH55K，第2層	鉢（CIa）	（胴部）	入組渦文?，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 2253	123－15

第202図　南側遺物包含層出土土器（ＧＨ区第２層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GL 52区，第2層	深鉢 Ib	胴部	平行沈線，擬縄状沈線，刺突	Po. 1453	172－1
2	GL 51区，第2層	〃 Ib	胴部	沈線，刺突	Po. 1418	172－2
3	GL 56・57区，第2層	〃 II	口縁部，胴部	口縁端：沈線，刺突刻目，口縁部～胴部：弧状多条沈線	Po. 1555 Po. 1590	172－3
4	GL 57区，第2層				Po. 1691	172－4
5	GJ 53区，第2下層	注口	口縁部・胴部	口縁端：沈線，刻目，口縁部～胴部：沈線，刺突，糸線	Po. 2017	172－5
6	GO 55区，第2層	深鉢	（胴部）	三角文，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 635	172－6
7	GO 56区，第2層	〃	（胴部）	横位多条沈線，矢羽根状刺突	Po. 652	172－8
8	GP 55区，第2層				Po. 2322	172－9
9	GK 53区，第2下層	〃	（胴部）	擬縄状沈線，刺突	Po. 1866	172－10
10	GK・GM 53区，第2層	〃	（胴部）	擬縄状沈線，連続「S」字文，刺突	Po. 1187 Po. 1857	172－11
11	GO 56区，第2層	壺	（胴上部）	蕨文？，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 649	172－7・12・13
12	GK 53区，第2層	〃	（胴部）	蕨文？，磨消（充填）縄文（LR）	Po. 1865	172－14

第203図　南側遺物包含層出土土器（後期前葉）

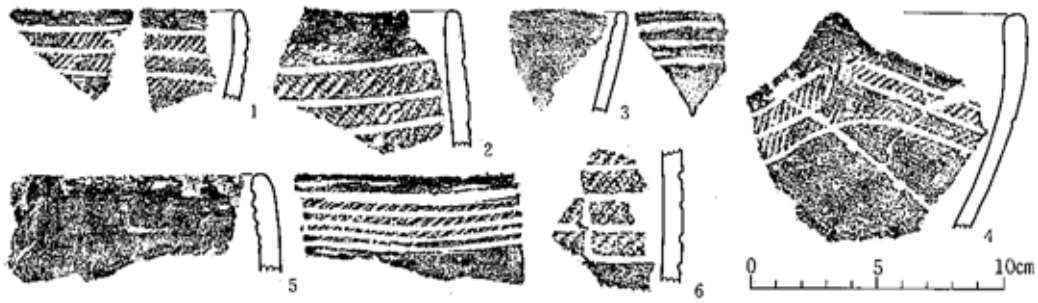
その他の土器(第203図)

前述した縄文時代後期前葉の土器とは著しく特徴の異なるものである。第3層にはみられず、いずれも第2層出土である。微量のため、ここで各区一括して説明する。

1～4・6～10 は深鉢である。口縁部はａ：外傾するもの（1・2）と、ｂ：端部が内傾するもの（3・4）の2種がある。ａは口縁部無文、胴部に文様が描かれ、口縁部内面に一条の沈線が走る。ｂは低い突起がついて刻目付隆線が施され、口縁端部と口縁～胴部に文様が施文されている。6～10 は胴部資料である。

5 は注口土器である。口縁端部は内傾し、短い注口がつく。口縁・胴部は直線的に外傾し、注口を基点として「ハ」字状に隆線文が施される。

11・12 は壺の胴部資料である。胴部上半に文様がみられる。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版	番号	地区・層位	器形・分類	文様の位置	文様の特徴	登録	図版
1	GL53区、第2層	深鉢 I		横位平行沈線→帯状縄文（LR）	Po. 1773 Po. 1775	173−1・2	4	GL53区、第2層	深鉢 IV		横位沈線、長楕円文→帯状縄文（LR）	Po. 1774	173−5
2	GP55区、第2層	〃 I		横位平行沈線→帯状縄文（LR）	Po. 2326	173−3	5	GO53区、第2層	〃 I		外面：無文 内面：横位平行沈線→斜条文（R）	Po. 585	173−6
3	GK52区、第2層	〃 II		外面：無文、内面：沈線	Po. 1850	173−4	6	GL56区、第2層	〃 (1)		横位平行沈線、横位沈線→帯状縄文（LR）	Po. 1593	173−7

第204図　南側遺物包含層出土土器（後期中葉）

後期中葉の土器(第204図)

いずれも深鉢と思われる。1・2・5は口縁部が直立する(ａ)。3は外傾し(ｂ)、4は内弯気味に立ち上がり、突起がつく(ｃ)。6は胴部資料である。